

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表内	小学校・同学年の児童で編制する学級 第1, 2, 3学年 35人 → (削除) 小学校・同学年の児童で編制する学級 第4学年～第6学年 40人 → (削除)
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表下	※ 小学校の同学年の児童で編制する学級編制の基準は、令和3年度から令和7年度にかけて、段階的に40人から35人に引き下げられる。 → (追加)
学校及び学校事務	1 - 6	(5) 2段落目2文目	運営に関し相互に → 運営に関し、相互に(コンマ追加)
学校及び学校事務	1 - 7	1行目	取り組み → 取組
学校及び学校事務	1 - 8	2(2)ア 中点3つ目 2文目	地教行法は教育機関である → 地教行法は、教育機関である(コンマ追加)
学校及び学校事務	1 - 8	2(2)ア 中点4つ目	・ → イ
学校及び学校事務	1 - 9	1～2行目	ただし指定都市 → ただし、指定都市 事務は当該指定都市 → 事務は、当該指定都市 (コンマ追加)
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目の前	ウ 学校事務職員の職務規定 → (追加)
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目	平成29年4月の改正 → 平成29年4月の学校教育法の改正
学校及び学校事務	1 - 9	イ 見出し	イ → エ
学校及び学校事務	1 - 10	(4) 1文目	職務の範囲は自治体や → 職務の範囲は、自治体や (コンマ追加)
学校及び学校事務	1 - 10	下部 四角囲み内 6文目	職務を遂行して行けるよう → 職務を遂行して、いけるよう
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 1文目	学校のうちその指定する → 学校のうち、その指定する (コンマ追加)
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 全文	(文章修正)
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 根拠	地教行法施行令第7条の2 → (追加)
文書・公印	1 - 15	1(1)ア 2文目	意思決定が行われ統一的な → 意思決定が行われ、統一的な (コンマ追加)
文書・公印	1 - 15	1(2)ア(イ) 1文目	何れか → いずれか
文書・公印	1 - 16	(3)イ(ア) 1文目	(4字分字下げ)
文書・公印	1 - 17	(5)ア(ア)	(文章修正)
文書・公印	1 - 17	(5)ア(イ) 見出し、1文目	(削除)
文書・公印	1 - 18	(ウ) 見出し	(ウ) → (イ)
文書・公印	1 - 18	(ウ)※公文書の流れの例	(各担当者又は供覧 受付 の線を消す)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
文書・公印	1 - 19	b(b) 1文目	個人の場合は、その氏名 → 個人の場合はその氏名(コンマ削除)
文書・公印	1 - 20	(c) 1文目	かぎ括弧等 → かぎ括弧等(中点削除)
文書・公印	1 - 20	(ウ)a	共に → とともに
文書・公印	1 - 21	エ(ア) 2文目	且つ → かつ
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 2段落目	保管 → 保存
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 3段落目	保管 → 保存
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 1段落目	保存文書が保存期間を経過したとき、 → 保存期間を経過した文書を
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 2段落目	漏洩 → 漏えい
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 ○4つ目	おこない、 → 行い、
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 最終段落	改行しない
文書・公印	1 - 24	2(2) 2段落目 根拠	(各市町教委公印規則の倍率を90%に)
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2行目	(1字分字下げ)
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2文目	改行しない
文書・公印	1 - 25	3(1) 4段落目	保護法(条のあとで改行せずに詰める
文書・公印	1 - 25	3(3)ア 1文目	「情報公開制度」 → 情報公開制度
文書・公印	1 - 25	3(3)イ 見出し	「情報公開制度」 → 情報公開制度
文書・公印	1 - 26	ウ 1文目	文書等に関しては石川県情報公開条例 → 文書等に関しては、石川県情報公開条例(コンマ追加)
文書・公印	1 - 26	ウ(イ) 1文目	磁気的方式その他 → 磁気的方式、その他(コンマ追加) 以下同じ。 → (削除)
文書・公印	1 - 26	ウ(エ)b	個人が識別され、又は識別される情報 → 個人のプライバシーを侵害するおそれのある情報
文書・公印	1 - 28	(4)ア 1文目	取扱 → 取扱い
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(ア) 1文目	もの、 → もの(句点削除)
文書・公印	1 - 29	イ 3段落目	開示請求が増え個人情報保護審査会 → 開示請求が増え、個人情報保護審査会(コンマ追加)
文書・公印	1 - 29	イ 4段落目	請求されていることから地方自治体の → 請求されていることから、地方自治体の(コンマ追加)
文書・公印	1 - 29	ウ 1文目	よく話を聞きその内容が → よく話を聞き、その内容が(コンマ追加)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	手続き → 手続 ふむ → 踏む
文書・公印	1 - 29	ウ 2段落目	また、学校においては → 学校においては、
文書・公印	1 - 29	ウ 3段落目 2文目	関わる → かかわる
文書・公印	1 - 29	ウ(ア)c	(目的外利用)するときや学校以外に提供(外部提出)するときは → (目的外利用)するときや、学校以外に提供(外部提出)するときは、(コンマ追加)
文書・公印	1 - 30	(石川県内の事例)	(1字分字上げ)
調査統計	1 - 31	(1) 2文目	(学校種の追加)
調査統計	1 - 31	四角囲み内 中点1つ目	廃止、教員養成計画等具体的な → 廃止等具体的な
調査統計	1 - 31	(2)	(削除) これに伴い、(3)～(6) は番号を繰り上げる
調査統計	1 - 31	(3) 2文目	(学校種の追加)
調査統計	1 - 31	(3) 根拠	(規則名を1行にする、1行分上げる)
調査統計	1 - 31	(3) 2段落目	この調査には、以下の調査がある。 → (追加)
調査統計	1 - 32	(4)	勤務する教職員 → 籍を置く教職員等
学籍	2 - 1	1 3段落目	手続き → 手続(2か所)
学籍	2 - 1	2 2段落目	転学の場合は、当該児童…(中略)…指定するなど入学の場合と同じである。 → 転学の場合は、入学の場合と同じく当該児童…(中略)…指定する。
学籍	2 - 1	2(1) 見出し	手続き → 手続
学籍	2 - 2	(4) 見出し	手続き → 手続
学籍	2 - 2	(4)イ(イ)	教科用図書給与証明書を、保護者に → 教科用図書給与証明書を保護者に(コンマ削除) 指導要録写 → 指導要録の写
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	すでに → 既に
学籍	2 - 3	4	盲・ろう・知的障害・肢体不自由及び病弱者 → 視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者(2か所)
学籍	2 - 3	4(1) 見出し	手続き → 手続
学籍	2 - 4	5(1)エ	市町教育委員会への、卒業者 → 市町教育委員会への卒業者(コンマ削除)
学籍	2 - 4	5(2)ア	生徒についても中学校卒業程度 → 生徒についても、中学校卒業程度(コンマ追加)
学籍	2 - 5	6	(文章変更)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学籍	2 - 5	6(1)ウ	前項 → イ
学籍	2 - 5	6(2)ア	転入学の際、 → 転入学の際(コンマ削除)
学籍	2 - 5	6(3)	保存期間経過後は、廃棄するなど → 保存期間経過後は廃棄するなど(コンマ削除)
学籍	2 - 6	(2)ア(イ) 1文目	編入学の場合、又は → 編入学した場合又は
学籍	2 - 6	(2)ウ(イ)	退学する場合、又は → 退学する場合又は(コンマ削除)
学籍	2 - 6	(2)ウ(ウ)	場合、又は → 場合又は(コンマ削除)
学籍	2 - 9	備考欄記入例等	流行性感冒 → インフルエンザ(2か所)
学籍	2 - 10	7(3)イ	児童・生徒・学生又は幼児 → 児童・生徒
学籍	2 - 10	7(4)イ 1文目	臨時に、学校の → 臨時に学校の(コンマ削除)
就学援助	2 - 13	1	特別支援教育への → 特別支援教育
就学援助	2 - 13	2(1) 2段落目	窓口を市町教育委員会として → 市町教育委員会が窓口となり
就学援助	2 - 15	(5)表内 修学旅行費	交通費、宿泊費、見学料、並びに均一に負担すべきこととなる記念写真代・医薬品代及び旅行損害保険料 → 交通費、宿泊費、見学料及び均一に負担すべきこととなるその他経費
就学援助	2 - 16	1行目	概ね → おおむね
就学援助	2 - 16	注)1	福祉担当課により → 福祉担当課から
就学援助	2 - 16	(6)	振り込まれる場合と → 振り込まれる場合、 行う場合、又は → 行う場合又は 取り扱い → 取扱い
就学援助	2 - 17	g 2段落目	ただし市町 → ただし、市町 行われることになった場合は補助対象 → 行われることになった場合は、補助対象 (コンマ追加)
就学援助	2 - 18	3 見出し	(特別支援学級への → (特別支援教育
就学援助	2 - 19	(3)表内 修学旅行費	見学料、並びに → 見学料及び
就学援助	2 - 20	(4)イ	校長はこれを、金銭を → 校長は、これを金銭を (コンマ移動)
就学援助	2 - 20	4(1)	窓口を福祉担当課として → 担当福祉課を窓口として
就学援助	2 - 20	4(3)	よりがたいときは厚生労働大臣が → よりがたいときは、厚生労働大臣が (コンマ追加)
就学援助	2 - 21	表上	令和4年4月現在 → 令和5年4月現在
就学援助	2 - 21	(7) 3段落目	もつとも → 最も

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
就学援助	2 - 22	《生活保護の認定》囲み内	【参考】 → (改定) (5) → (削除)
就学援助	2 - 22	福祉事務所一覧表 タイトル行	市町村 → 市町
教科書	2 - 25	(6)ア 根拠	第5条 → 第3条
教科書	2 - 25	(6)イ※	保管。 → 保管する。
教科書	2 - 27	キ(イ)※①	学校には控えがなくなるので → 学校の控えとして
学校保健・給食	2 - 31	ページ番号	(1行下げる)
学校保健・給食	2 - 32	(エ)	行う。 → 行うとともに、
学校保健・給食	2 - 32	エ(ア) 4文目	(1字分字下げ)
学校保健・給食	2 - 32	エ(イ) 5文目	(1字分字下げ)
学校保健・給食	2 - 33	ページ番号	(1行下げる)
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く) → インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く) 新型コロナウイルス感染症 → (追加)
学校保健・給食	2 - 35	(3)イ(イ)b 咽頭結膜熱の次	新型コロナウイルス感染症 発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで → (追加)
学校保健・給食	2 - 35	ページ番号	(1行下げる)
学校保健・給食	2 - 36	イ(イ) 2文目	除く) → 除く。) (句点追加)
学校保健・給食	2 - 37	2(4)	各自治体 → 各市町
学校保健・給食	2 - 39	(8)	支払い → 支払
人事	3 - 1	1(1) 3段落目	「定年退職者等の再任用」 → 「暫定再任用」、「定年前提再任用短時間勤務」
人事	3 - 4	ウ 根拠	育休法__第6条 → 育休法_第6条
人事	3 - 4	オ 見出し	定年退職者等の再任用 → 定年退職者等の暫定再任用
人事	3 - 4	オ 根拠	第28条の4 → 附則第4条 地方公務員法第28条の5 → (削除)
人事	3 - 4	オ 2段落目	(文章変更)
人事	3 - 4	オ(ア) 根拠	定年条例附則第3条 → (追加)
人事	3 - 4	オ(ア)c 根拠	再任用条例第2条 → (削除)
人事	3 - 4	オ(ア)bの次	c 定年前提再任用短時間勤務職員としての任期を満了して退職した者 → (追加)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
人事	3 - 4	オ(ア)c	c → d
人事	3 - 4	オ(ア)c(b)	(a)に該当する者として再任用されたことがある者→(a)に該当する者として <u>暫定再任用または旧地方公務員法の規定による再任用をされたことがある者</u>
人事	3 - 5	(イ) 根拠	地方公務員法第28条の4 → 定年条例附則第3条
人事	3 - 5	(エ) 根拠 (オ) 根拠	再任用条例第3条 → (削除) 再任用条例第4条 → (削除)
人事	3 - 6	(4)ウ 1文目	職員の定年は60歳とする。 → 職員の定年は、 <u>令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳とする。</u>
人事	3 - 6	(4)ウ	定年年齢の段階的引き上げの表を追加
人事	3 - 8	(5)	(5)管理監督職勤務上限年齢制(役職定年制)→(追加) これに伴い、(5)～(11) は番号を繰り下げる
服務	3 - 13	1(1)※	再任用短時間勤務職員 → <u>定年前再任用短時間勤務職員</u>
服務	3 - 14	(9)	平成29年4月1日以降、 → (削除)
服務	3 - 14	(9) 根拠	H29.3.2 → H29.3.22
服務	3 - 16	2(1)	<u>正規職員、臨時的任用職員</u> → <u>職員</u> 再任用短時間勤務職員 → <u>定年前再任用短時間勤務職員</u>
服務	3 - 16 ～ 37	給与の取扱い 給与上の扱い 給与等の取扱い	(給与等の取扱いに統一)
服務	3 - 17	ウ ※2つ目	再任用短時間勤務職員 → <u>定年前再任用短時間勤務職員</u>
服務	3 - 17	(2)ア 中点1つ目	90日以内 → (2字分字上げ)
服務	3 - 17	根拠の線	(下まで伸ばす)
服務	3 - 20	別表1 親族の死亡欄 備考	往復日数加算 改行せず詰める
服務	3 - 20	別表1 妊娠障害欄 備考	(切迫流産含むを1行目に移動)
服務	3 - 21	別表1 婚姻欄 備考	※「結婚の日」 → 「結婚の日」
服務	3 - 21	別表1 育児参加休暇 期間	産後8週間 → 産後1年
服務	3 - 22	別表1 配偶者、父母子の祭日 備考	往復日数加算 改行せず詰める
服務	3 - 22	別表1 ボランティア休暇 備考	専ら親族に対する支援となる活動を除く のあとで改行
服務	3 - 24	(4)エ ※2	休業手当金 → <u>介護休業手当金</u>
服務	3 - 26	(ウ)	という) → <u>という。)</u>

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
サービス	3 - 27	ウ	こと → こと。
サービス	3 - 27	(6)ア(ア)	, → , (4か所)
サービス	3 - 27	(6)ア(イ)	取得可能。 → 取得可能)
サービス	3 - 29	ウ 見出し	再任用短時間職員 → 定年前再任用短時間職員
サービス	3 - 29	ウ(ア)b	6:27、4:51、3:53 → 6:27、4:51、3:53
サービス	3 - 29	ウ(ア)b 例2つ目	2時間55分 → 2時間54分
サービス	3 - 29	ウ(ア)c	1日又は半日又は時間 → 1日又は半日又は時間
サービス	3 - 29	ウ(イ)a	フルタイム勤務職員 → 再任用フルタイム勤務職員
サービス	3 - 30の3	(イ)表 男性の育児参加休暇欄	産後8週間以内 → 産後1年まで
サービス	3 - 31	3(1) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)
サービス	3 - 31	3(1)ア 表	育児休業をとる → 育児休業をする(2か所)
サービス	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができる職員 欄	※非常勤職員で育児休業をすることができるものは、次項(2)非常勤職員の育児休業を参照 → (追加)
サービス	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができない職員 欄	(文章変更)
サービス	3 - 31	3(1)イ 見出し	期間 → 期間等
サービス	3 - 31	3(1)イ 1段落目	(文章変更)
サービス	3 - 31	3(1)イ(ア)	1回 → 2回
サービス	3 - 31～37	根拠	(法令名等と条番号の間のスペースを半角に)
サービス	3 - 33	(2)	(2)非常勤職員の育児休業 → (追加) これに伴い、(2)～(7) は番号を繰り下げる
サービス	3 - 33	(2)ア(ウ)～(エ)	(文章変更)
サービス	3 - 36	(6) ア	定年退職前5年以内 → 定年退職前10年以内
サービス	3 - 36	(6)イ 1段落目	(文章変更) (定年退職日に応じて定年から減ずる年数の表を追加)
サービス	3 - 36	(6)イ 1段落目の後	1週間の勤務時間の勤務時間の2分の1を超えない範囲で5分単位で取得できる。また、勤務しない時間は日単位で取得することもできる。 → (追加)
サービス	3 - 36	(6)イ 根拠	修学休業条例 附則第19条 → (追加)
サービス	3 - 37	4の前	(1行空ける)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
サービス	3 - 39	ア 根拠	20項 → 第20項
サービス	3 - 39	(6) 【私傷病休職】図	成人病 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病
サービス	3 - 41	5(1)ア	(教員免許状更新講習の受講も含める) → (削除)
サービス	3 - 42	6(1)	薄くする。 → 薄くすること又は 免除する。 → 免除することである。
サービス	3 - 43	(2)ア 根拠	(位置を調整)
給与・諸手当	3 - 45～ 74	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)
給与・諸手当	3 - 46	(5) 根拠	給与規則 第2条, 第20条 → 第2, 20条
給与・諸手当	3 - 46	(4)イ(ア)、(イ)、(オ) (6)ア(イ) (6)イ(ア)	(インデントを修正)
給与・諸手当	3 - 47	(8)	除く) → 除く。) 成人病等 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病等
給与・諸手当	3 - 47	(9) 四角囲み内 中点2つ目	(上の中点に合わせる)
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ 根拠	(第2を右寄せ)
給与・諸手当	3 - 48	(11)	60歳以降の給料の取り扱いについて 国家公務員の定年引き上げにおける取り扱いを踏まえ、 当分の間、特定日(60歳に達した日後の最初の4月1日。 以下同じ)以後、給料月額を7割水準とする措置を講ず る。(非常勤職員を除く) → (追加)
給与・諸手当	3 - 51	2(1)ウb	除く) → 除く。)
給与・諸手当	3 - 52	(3)ア(ア)b(a)、(c) (3)ア(ア)d(b) (3)ア(ア)e(a)～(d)	(2行目以降のインデント調整)
給与・諸手当	3 - 53	[扶養手当を受けられる範囲 図]	この他 → このほか
給与・諸手当	3 - 53	(イ)f	受けたり、又は → 受けたり、 大学院修学休業 → 大学院修学休業等
給与・諸手当	3 - 54	(ア)a	(別表参照) → (削除)
給与・諸手当	3 - 55	(ウ)a、b	(文章変更)
給与・諸手当	3 - 57	(4)ア 2文目	場合は支給。 → 場合も支給される。
給与・諸手当	3 - 57	(4)イ(エ)※	優先。 → 優先
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ	額。 → 額
給与・諸手当	3 - 58	ク	任期付職員を含む → 臨時的任用職員、短時間再任 用職員を除く。

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 59	コ 2段落目	平成24年4月1日改正 → (削除)
給与・諸手当	3 - 60	<別表2>	[注1] → ・ [注2] → (削除)
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 各欄和暦	提出年月日、受付確認年月日 4年 → X年 所得の合計額 3年 → X年
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)
給与・諸手当	3 - 62	児童手当・特例給付額改定認 定請求書 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)
給与・諸手当	3 - 65	c(b) 2文目	インターネット上で公開されている地図ソフト → ウェブ 上で公開されている地図サイト
給与・諸手当	3 - 68	ウ	案分 → 按分
給与・諸手当	3 - 70	ページ全体	行間を狭める
給与・諸手当	3 - 75	[注]3 中点	[注]3の前へ移動、協議のあとで改行、インデント調整
給与・諸手当	3 - 75	イ 本文	(1字分字下げ)
給与・諸手当	3 - 76	オ 提出書類	・添付書類 → (1字分字下げ) 配偶者との別居の～ → (1字分字下げ) 配偶者と別居することが～ → (1字分字下げ) その他～ → (2字分字下げ)
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 表内	義務養育学校 → 義務教育学校(2か所)
給与・諸手当	3 - 78	(イ)表内 第1項第2号 業務 の種類欄	実施するものに限る → 実施するものに限る。
給与・諸手当	3 - 80	事例2 手続・処置等欄 中点5つ目 2行目	(1字分字下げ)
給与・諸手当	3 - 81	事例6 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4, 5に同じ → (追加)
給与・諸手当	3 - 81	事例7 勤務の割り振りをしな い場合 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4, 5に同じ → (追加) 条例第10条の4第1項3号業務 → 対外運動競技等
給与・諸手当	3 - 81	事例8 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4, 5に同じ → (追加) 注:部活動手当の支給対象 → 部活動手当のみ
給与・諸手当	3 - 83	表	(上の線を調整)
給与・諸手当	3 - 86	様式その1 見出し	教員特殊業務手当実績簿 → 教員特殊業務手当
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(細い線を削除)
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(○印 → 丸囲みの印)(2か所)
給与・諸手当	3 - 87	(9)	一律支給される。(出費がかさむ時期の生計補給的な手 当) → 出費がかさむ時期の生計補給として、一律支給 される。

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 87	(9)ア 中点4つ目	含む) → 含む。)
給与・諸手当	3 - 88	(ウ)b(c)	育児休業期間の2分の1の期間、 → 育児休業期間の2分の1の期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。))。
給与・諸手当	3 - 89	(10)	勤務成績に応じて支給される。(能率給的な手当) → 能率給的な手当として、勤務成績に応じて支給される。
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	育児休業期間の全期間。 → 育児休業の全期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。))。 部分休業をした職員については → (削除)
給与・諸手当	3 - 92	期末手当・勤勉手当の除算について 表	育児休業 → 育児休業(育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。)
給与・諸手当	3 - 97	(11) 2文目、4文目	(削除)
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)	指定公署 → 指定公署(抜粋) (駐在所、交番を削除) 白山自然保護センター中宮展示館 → 白山自然保護センター中宮展示館 白山自然保護センター白峰駐在地 → 白山自然保護センター白峰駐在地
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 見出し	(イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員 → (イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 1文目	(文頭を1字分字下げ)
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(経過措置についての記述を削除)
給与・諸手当	3 - 97~100	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)
給与・諸手当	3 - 98	※	場合。 → 場合(2か所)
給与・諸手当	3 - 99	(14)ア	[給料の月額+ 扶養手当] → [給料の月額+ 扶養手当]
給与・諸手当	3 - 100	・算出方法及び支給割合	・ → オ
給与・諸手当	3 - 102	ウ 根拠	第4条 → 第5条
給与・諸手当	3 - 104	(18)ア(ア)a	含む) → 含む。)
給与・諸手当	3 - 104	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)
給与・諸手当	3 - 105	(19) 3段落目	60歳に達した日以後、非違によることなく退職した者の退職手当の基本額については、当分の間、退職事由を「定年退職」として算定する。また、職員が特定日から7割水準以下の給料月額となる場合等は、退職手当の基本額の計算方法の特例(ピーク時特例)を適用する。 → (追加)
給与・諸手当	3 - 105の2	早見表 定年 31年	42.80375 → 42.31035
給与・諸手当	3 - 107	表内 期末手当 勤勉手当	再任用職員 → 定年前再任用短時間勤務職員 (支給割合、成績率を変更)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 108	表内 特地勤務手当	※経過措置あり(令和2年3月31日まで) → (削除)
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	所得制限限度額以上所得上限限度額未満 5,000円 → (一番下の行に追加)
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	H24.6～ → R4.10～
給与・諸手当	3 - 109	表内 時間外勤務手当・休日勤務手当	(縦の線を調整)
給与・諸手当	3 - 109	表内 通勤手当	ア, 交通機関等利用者 → ア_交通機関等利用者 イ, 交通用具 → イ_交通用具 ウ, 併用者 → ウ_併用者
給与・諸手当	3 - 110～ 114の2	ページ全体	平成31年 → 令和4年 (給料表を改正)
給与・諸手当	3 - 114の 3	3	3 非常勤職員の報酬等 → (追加) これに伴い、3～4 は番号を繰り下げる
給与・諸手当	3 - 115	3(1)ウ(ア)	含む) → 含む。)
給与・諸手当	3 - 115	3(1)エ(イ)	、 → , (4か所)
給与・諸手当	3 - 115～ 118の2	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)
給与・諸手当	3 - 116	(エ)	全額 → 税額(2か所) 退職手当等に対しては、退職所得控除額の → 退職手当等に対しては、「退職所得の受給に関する申告書」を提出した場合、退職所得控除額の
給与・諸手当	3 - 118	4(2) 3文目	125万円 → 135万円
給与・諸手当	3 - 118	4(3)	という) → という。)
給与・諸手当	3 - 118	4(4) 2文目	均等割を合計して計算する。 → 均等割がある。
給与・諸手当	3 - 118	4(4)イ	均等割の計算 → 均等割の税額
旅費	3 - 119	1(1)	エ 同一地域 → (追加)
旅費	3 - 119	1(3) 1文目	旅 6 費 → 旅費
旅費	3 - 119～ 128	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)
旅費	3 - 120	(6)ア	時刻表等参照のこと → 時刻表等を参照のこと
旅費	3 - 120	(カ) 見出し	(在来線, 新幹線ともに) → (削除)
旅費	3 - 120	(カ)	(文章追加)
旅費	3 - 120	(カ)※	(2024年3月16日乗車分より廃止予定) → (文末に追加)
旅費	3 - 120	(キ)	(名古屋往復引きっぷについての説明を削除) → (※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなったため、旅費計算に適用しないこととなった)(追加)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
旅費	3 - 123	ウ 囲み内	(交通費規定額+宿泊料規定額のフォントの色)
旅費	3 - 124	(10) 根拠	旅費のキャンセル 支給に係る運用の 見直しについて H28.10.6 県教委 → H28.10.6(県教委) 旅費のキャンセル料 支給に係る運用の 見直しについて
旅費	3 - 125	(12)イ 見出し	取扱 → 取扱い
旅費	3 - 125	精算旅費表内 中能登 旅費 計算書締切日	5日 → 7日
旅費	3 - 127	(13)イ(イ)	----- → - - - - -
旅費	3 - 128	ウ(ア)	支給しない → 支給しない。
旅費	3 - 129	表内 その他	(名古屋往復割引きっぷについての説明を削除) → (※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなった ため、旅費計算に適用しないこととなった)(追加)
福利厚生	3 - 131	(2)表 長期給付欄	(リフレッシュ給付金を追加)
福利厚生	3 - 132	(3)	[共済組合] → ア 共済組合
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	任期付任用職員・臨時的任用職員等 → 任期付職員 等 組合員には、主に一般組合員と短期組合員の2つの組 合員種別がある。→(3文目に追加)
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(文章追加)
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合] 提出書類	(イ)新たに採用となった場合 → (見出しを追加し、提出 書類を変更)
福利厚生	3 - 132	(3)	[互助会] → イ 互助会
福利厚生	3 - 132	(3)[互助会]	任期付任用職員 → 任期付職員
福利厚生	3 - 132	(4)	[共済組合] → ア 共済組合
福利厚生	3 - 132	(4) 2段落目	徴収されるのあとで改行せずに詰める
福利厚生	3 - 132	(4)	[互助会] → イ 互助会
福利厚生	3 - 133	(5)	ついて → ついても
福利厚生	3 - 133	(5) 提出書類	・被扶養者の認定申告書 → ・被扶養者認定申告書
福利厚生	3 - 133	(5) 表内 共済組合の被扶養 者の所得制限欄 ②	障害年金受給者又は60歳以上の公的年金等の受給者 → 障害年金を受給する程度の障害がある者又は60歳 以上
福利厚生	3 - 133	(5) 表内 所得制限欄	パート勤務を_始めた → パート勤務を始めた 被扶養者__取消し → 被扶養者取消し
福利厚生	3 - 135	(6)	死亡したとき、又は → 死亡したとき又は
福利厚生	3 - 136	(9) 表内 本人出産後	42万円 → 50万円(産科医療補償制度対象分娩でない 場合は48万8千円)(2か所)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
福利厚生	3 - 136	(9) 表 本人出産後	母子手帳(写) → 母子手帳等(写)
福利厚生	3 - 137	(10)	(掛金免除要件について追加)
福利厚生	3 - 137	(11)、(12)	(11)災害にあったとき → (11)災害にあったとき (12)交通事故にあったとき → (12)交通事故にあったとき
福利厚生	3 - 138	(13)ア 1文目	(ただし、昭和19年4月1日までに生まれた方は1割) → (削除)
福利厚生	3 - 138	(13)ア 2段落目	また、自己負担部分が一定の金額を越えた場合には、後日共済組合から一部負担金払戻金又は家族療養費附加金として給付される。 → (2文目に追加)
福利厚生	3 - 138	(13)ウ 中点1つ目	「2_地方公務員の災害補償制度」 → 「2_地方公務員の災害補償制度」
福利厚生	3 - 139	オ(ア)	医療費の自己負担補助については、 → (削除) 以下で求めた金額が給付される。 → (追加)
福利厚生	3 - 139	オ(ア)b	が給付される。 → (削除)
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	提出書類_・(ア) → 提出書類__・(ア)
福利厚生	3 - 139	キ	健康保険法適用外で病氣治療の目的で、はり・きゅう・あんま・指圧・マッサージを受けたとき → 健康保険法適用外で、はり・灸・あんま・指圧・マッサージ(病氣治療)を受けたとき
福利厚生	3 - 140	(14)、(15)	(14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき → (14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき (15)給料が支給されなくなったとき → (15)給料が支給されなくなったとき
福利厚生	3 - 141	(16) 表 教育貸付欄	(文章変更)
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)の前	行間を詰める
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)	(17)永年勤続をしたとき → (17)永年勤続をしたとき (18)退職後の療養について → (18)退職後の療養について
福利厚生	3 - 143	2 3段落目	非常勤職員の場合は地方公務員災害補償法に基づく条例、労働者災害補償保険法、 → 非常勤職員の場合は労働者災害補償保険法により国が、
福利厚生	3 - 144	表 天災地変欄	公務上 → 公務上とする
福利厚生	3 - 144	(2) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)
福利厚生	3 - 144	(2)	往_復 → 往復
福利厚生	3 - 144	(2) 表 勤務場所欄	限る) → 限る。)
福利厚生	3 - 148	表	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等(2か所)
福利厚生	3 - 149	(イ)表	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
福利厚生	3 - 154～160	ページ番号	(下げる)
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	昭和61年4月の改正で、国民年金は <u>その他の公的年金制度の基礎となる年金制度となり</u> 、 → 国民年金は <u>公的年金制度の基礎となる年金制度で</u> 、
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目2文目	厚生年金に <u>二重</u> に加入している。 → 厚生年金保険にも加入している。
福利厚生	3 - 155	(2) 図 民間サラリーマン	(報酬比例) → (削除)
福利厚生	3 - 155	(2) 図 公務員等	退職等年金給付 → 年金払い退職給付
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	厚生年金(報酬比例部分) → 厚生年金(報酬比例) 国民年金(定額部分) → 国民年金
福利厚生	3 - 155	(2) 表下	国民年金及び年金 → 国民年金及び厚生年金
福利厚生	3 - 155	(2)ア(ア)、(イ)、(ウ)	国民年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)(3か所)
福利厚生	3 - 155	(2)ア(イ)	者に対して → 場合に
福利厚生	3 - 155	(2)イ(ア)	共済年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)
福利厚生	3 - 156	(イ) 全文	本来、老齢厚生年金は65歳からの受給となっているが、受給開始年齢が引き上げられたことの経過措置として特別支給の老齢厚生年金が支給されている。受給開始年齢は生年月日と性別に応じて異なる。 → (文章変更)
福利厚生	3 - 156	(イ) 2文目	(削除し、受給要件を箇条書き)
福利厚生	3 - 157	1段落目	60歳から65歳までの間支給。 → (削除)
福利厚生	3 - 157	1段落目 文末	3-156(イ)参照 → (追加)
福利厚生	3 - 157	エ 1文目	繰り上げ支給 → 繰り上げて受給
福利厚生	3 - 157	オ 1文目	(文章変更)
福利厚生	3 - 157	オ	することができる。のあとで改行せずに詰める
福利厚生	3 - 157	オ	1ヶ月 → 1か月
福利厚生	3 - 157	(4)ア	老齢基礎年金の支給額は777,800円(令和4年度水準)。 → 令和5年度の支給額は67歳以下は795,000円、68歳以上は792,600円。
福利厚生	3 - 158	(7)ア	老齢厚生年金 → 老齢年金
福利厚生	3 - 158	(10)イ 2文目	但し → ただし
福利厚生	3 - 159	(3)ア	臨時的任用職員を除く → 短時間再任用職員、会計年度任用職員を除く
福利厚生	3 - 159	(3)イ	できるものであること → できる。

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
福利厚生	3 - 159	(4) 2段落目	通帳はなく契約証書のみで → <u>通帳の発行に代えて契約証書が交付される。</u> 財形貯蓄残高報告書が年2回契約金融機関より、 → また、年2回財形貯蓄残高報告書が、金融機関より
福利厚生	3 - 160	中点2つ目	又は、 → 又は(コンマ削除)
福利厚生	3 - 160	3行目	預金 → 預入
福利厚生	3 - 160	(5) 表 一般財形貯蓄 要件違反の課税	(斜線を入れる)
福利厚生	3 - 160	(6)	雇用・能力開発機構 → 勤労者退職金共済機構
校費・学校予算	4 - 1	1(2)○1つ目	<u>特に定められている。</u> → 定められている。
校費・学校予算	4 - 1	1(2)ア～ウ	もの、 → もの(3か所)
校費・学校予算	4 - 1	1(3)ア 根拠	(義務教育費国庫負担法の倍率を80%に)(2か所)
校費・学校予算	4 - 2	イ 根拠	(学校職員給与負担法の倍率を90%に)
校費・学校予算	4 - 2	※表 交付金	地震防災(耐震補強) → 補強 地域学校連携施設整備1/3 → (削除) 〃 改築 → <u>学校給食施設改築</u> 木の教育環境整備1/3 → (削除)
校費・学校予算	4 - 3	2(3)ア 根拠	地方自治法 第209, 209条 2 → 第209条
校費・学校予算	4 - 4	(4) 2文目	概ね → おおむね
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア 根拠	地教行法 第25, 25条 4 → 第25条 1, 4
校費・学校予算	4 - 5	(3) 2段落目	保証 → 保障
校費・学校予算	4 - 6	(5) 3文目	はかり → 図り
校費・学校予算	4 - 7	(5) イ	かかる → 係る
校費・学校予算	4 - 8	エ	行う。 → <u>行うことである。</u>
校費・学校予算	4 - 8	エ 3文目	支払い → 支払
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2段落目	手続き → 手続(2か所)
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2～3段落目	支払い → 支払(2か所)
校費・学校予算	4 - 8	(10)	おこなわれて → 行われて
校費・学校予算	4 - 9	(11)	すでに → 既に
校費・学校予算	4 - 9	(11) 2文目	石川県公立小中学校教育事務研究会 → (文の始めに追加)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
校費・学校予算	4 - 9	4(1)ア(ア)	備え付け → 備付け
校費・学校予算	4 - 10	1行目	とする) → とする。)
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 1段落目	お慶び → お喜び
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 3段落目	致します → いたします
校費・学校予算	4 - 12	エ 例内 2段落目	致します → いたします
校費・学校予算	4 - 12	(4)ア	含む) → 含む。)
校費・学校予算	4 - 13	イ(イ)※	ある) → ある。)
学校の施設・設備	4 - 15	1(2) 根拠	(削除)
学校の施設・設備	4 - 15	1(2)ア(ウ) 全文	校舎には少なくとも教室(普通教室, 特別教室等), 図書室, 保健室及び職員室を備えるものとする。また, 必要に応じて特別支援学級のための教室を備えるものとする。 → (文章変更)
学校の施設・設備	4 - 16	イ	(削除)
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)e、i	(削除)
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f～o	(e、i の削除に伴い番号繰り上げ)
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f	(d) バリアフリー化等施設整備工事 → (追加) (d) 防犯対策施設整備工事 → (e) 防犯対策施設整備工事 (f) 特別防犯対策施設整備工事 → (追加)
学校の施設・設備	4 - 18	(b) 1文目	チームティーチング → ティーム・ティーチング (中点追加)
学校の施設・設備	4 - 18	イ(ア) 根拠	(理科教育振興法施行令を倍率80%に)
学校の施設・設備	4 - 19	ウ(エ)	利用するときは学校の管理機関と → 利用するときは, 学校の管理機関と(コンマ追加)
学校の施設・設備	4 - 19	カ(イ)a	改_造 → 改造(スペース削除)
学校の施設・設備	4 - 21	キ	反する結果にもなるので学校構内に → 反する結果にもなるので, 学校構内に(コンマ追加)
学校の施設・設備	4 - 21	(7)ア	除く) → 除く。)
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(ア)	定める → 定める。 (句点追加)
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(エ)	明確にする → 明確にする。 (句点追加)
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	いう) → いう。)
学校の施設・設備	4 - 22	(イ) 2文目	手続き → 手続

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学校の施設・設備	4 - 23	(ウ)e※	kℓ → kL(2か所)
学校の施設・設備	4 - 23	(エ) 1文目	場合があるので注意が必要である。 → 場合があるので、注意が必要である。(コンマ追加)
学校の施設・設備	4 - 24	キ(イ)	学校の実態に応じて定め実施する → 学校の実態に応じて定め、実施する(コンマ追加)
学校の施設・設備	4 - 25	四角囲み 左から2個目	学校内で処理できること → 学校内で処理できるもの
学校の施設・設備	4 - 25	(8)イ	含む) → 含む。)
学校の施設・設備	4 - 25	(8)ウ 1文目	健康上よい環境ではないため学校などの → 健康上よい環境ではないため、学校などの(コンマ追加)
学校の施設・設備	4 - 26	オ(ア)	上司の指揮 → 校長の指揮
学校の施設・設備	4 - 26	(10)	(10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理 → (10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理
学校の施設・設備	4 - 27～28	ア(ア)～イ(イ)b	こと → こと。(句点追加)(18か所)
学校の施設・設備	4 - 27	ア(ウ)b	非常時においては常に複数の教職員で対応する体制をとるなどあらゆる → 非常時においては、常に複数の教職員で対応する体制をとるなど、あらゆる(コンマ追加)
学校の施設・設備	4 - 28	(カ)c	取り組み → 取組
学校の施設・設備	4 - 28	※3	火災以外の緊急時において使用したときはその…(中略)…とともに消防機関に速やかに連絡する等の配慮がなされること → 火災以外の緊急時において使用したときは、その…(中略)…とともに、消防機関に速やかに連絡する等の配慮がなされること(コンマ追加)
物品	4 - 29	1(1)～(3) 見出し	(例_金沢市) → (例_金沢市)(3か所)
物品	4 - 29	ページ番号	(下げる)
物品	4 - 29	1(1)ア	その他 → その他の 除く) → 除く。)
物品	4 - 29	1(3)ア	1万円 → 5万円 考古資料並びに図書館等で保存する蔵書を除く。) → 考古資料を除く。)又は2年以内に消費するもの
物品	4 - 29	1(3)イ	物 → もの
物品	4 - 30	(4) 見出し	(4)物品・分類 → (4)分類・整理
物品	4 - 30	(4)	物品出納員又は物品取扱員 → 物品出納員
物品	4 - 30	2(1) 囲み内(2)、(3)	(文章を1字分字下げ)
物品	4 - 31	ページ番号	(下げる)
物品	4 - 33	ページ番号	(下げる)

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・共済互助会システム	5 - 1	2(1)、(2)	(1字分字下げ)
給与・共済互助会システム	5 - 5～28の2	タイトル部分、各項目	タイトル部分:職員一覧 各項目:該当する職員をチェック 様式集より出力:(各ページ下部に記述する) (統一)
給与・共済互助会システム	5 - 7	⑤	画面が <u>で</u> る → 画面が <u>出</u> る
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	(イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する) クリック <u>。</u> → クリック
給与・共済互助会システム	5 - 10	④	(フォント修正)
給与・共済互助会システム	5 - 18	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管し、 <u>コ</u> ピーを本人に渡す。 → 保管する。
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管する → 保管する <u>。</u> (句点追加)
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点2つ目、3つ目	受け取るのあとで改行せずに詰める、中点3つ目削除
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部の四角囲み内 2行目	申告書を出力 <u>。</u> → 申告書を出力する <u>。</u>
給与・共済互助会システム	5 - 22	⑩の前	「 → [
給与・共済互助会システム	5 - 24	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	⑥→⑤
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	(2, 3行目を1字分字下げ)
給与・共済互助会システム	5 - 29	一覧表内 その他 中点2つ目	変更があったときは変更内容を → 変更があったときは、 <u>変更内容を(コンマ追加)</u>
給与・共済互助会システム	5 - 30	一覧表内 3月	削除
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 29、30 用途等欄	職員確認用 → 職員記入用
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 31 用途等欄	職員配付用 → 職員記入用
給与・共済互助会システム	5 - 34	3(1)、(2)	(文章を1字分字下げ)
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(エ)	連絡する) → 連絡する <u>。</u>)
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(カ) 2文目	読点をコンマに変更(2か所)
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ、ウ	(文章を1字分字下げ)
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	所属別帳票を選択し各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書はミシン線入りの用紙に印刷し該当職員に → 所属別帳票を選択し、 <u>各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書は、ミシン線入りの用紙に印刷し、</u> 該当職員に(コンマ追加) 忘れずに出力する → 出力する
学校事務用語の解説	5 - 36	「及び」と「並びに」 2文目	ふつう → 普通

教育事務ハンドブック

Ver. 4.4 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学校事務用語の解説	5 - 37	ガイドライン	(文頭を1字分字下げ)
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	中学校・高等学校 → 中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	新学習指導要領のスケジュール～令和3年4月から中学校で全面実施 → (削除) 現行の学習指導要領は平成29年3月31日に告示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から実施されている。 → (追加)
学校事務用語の解説	5 - 38	課税対象給与額	除く) → 除く。)
学校事務用語の解説	5 - 38	寡婦・寡夫	又は妻(夫) → 又は夫(妻)
学校事務用語の解説	5 - 41	教員免許更新制 2段落目	仕組みが始まる → 仕組みが始まった
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 1文目	含む) → 含む。)
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 3文目	(削除)
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法	(国庫補助金とコンプライアンスの間に移動、2字分字下げ)
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法 4文目	施行される → 施行されている
学校事務用語の解説	5 - 43	(追加)	36協定 → (追加)
学校事務用語の解説	5 - 46	(追加)	地方教育費調査 → (追加)
学校事務用語の解説	5 - 47	チーム・ティーチング	チーム・ティーチング → ティーム・ティーチング (通学区域の弾力的運用の次へ移動)
学校事務用語の解説	5 - 47	(追加)	統合型校務支援システム → (追加)
学校事務用語の解説	5 - 48	ねんきん特別便	ねんきん特別便 → ねんきん定期便 (用語変更及び文章変更)
学校事務用語の解説	5 - 50	メンタルヘルス	このため産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ心身の健康に → このため、産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ、心身の健康に(コンマ追加)
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 56	大分類-人事 表内 各種手当認定簿(退職/異動者)欄	現況届等通勤届 → 現況届等、通勤届
物品分類表	5 - 62～66	物品分類表	(改正のため差替え)
教科書事務・質疑応答	5 - 72	4つ目の【答】	冒頭スペース 1文字分削除
教科書事務・質疑応答	5 - 73	1つ目の【問】【答】	(削除)
事務職員研修体系(通知)	5 - 75	ページ番号	(中央揃えにする)

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 <u>850円</u> → <u>1,080円</u> 、中学校 <u>770円</u> → <u>1,000円</u>	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)	
		全体	項目の各細別の間にある行間を詰める	全体において、項目の各細別は空白行を入れずに項目を入れる。各細別の「ア」や「(ア)」なども同様に処理する。原稿作成要領に明記するか。 下記例の様に間に行間を空けない。 例) 設又は公認の機関である。 (1) 学校の種類 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	前年度申し送りより
		全体 ページ番号	○ - ○ ○ - ○ → ○ - ○ ○ - ○ (表記を統一)		
		全体	市町学校管理規則 市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則 各市町立学校管理規則 (表記を統一)	根拠の「学校管理規則」がページによって表記が違う 1-17、3-2、3-6、3-19、3-20: 市町学校管理規則 2-4、2-34: 市町立学校管理規則 2-10: 各市町立学校管理規則 市町学校管理規則で統一 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
		全体	例 ○○ 例: ○○ 例 ○○による場合 例: ○○の場合 → 例: ○○ (表記を統一)	例がページによって表記が違う 1-24、2-16: 例: ○○ 1-26、1-27、1-28、4-29: 例 ○○ 3-3、3-4、3-5、3-6: 例: ○○の場合 3-19: 例 ○○による場合 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表内	小学校・同学年の児童で編制する学級 <u>第1、2、3学年 35人</u> → (削除) 小学校・同学年の児童で編制する学級 <u>第4学年～第6学年 40人</u> → (削除)	義務標準法 第3条.2 に合わせて	北出
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表下	※ 小学校の同学年の児童で編制する学級編制の基準は、令和3年度から令和7年度にかけて、段階的に40人から35人に引き下げられる。 → (追加)	経過措置について	
学校及び学校事務	1 - 6	(5) 2段落目2文目	運営に関し相互に → 運営に関し、相互に(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 7	1行目	取り組み → 取組	公用文の書き方	橋本
学校及び学校事務	1 - 8	2(2)ア 中点3つ目 2文目	地教行法は教育機関である → 地教行法は、教育機関である(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 8	2(2)ア 中点4つ目	・ → イ	任命権者は位置づけとはちょっと違うかな?	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	1～2行目	ただし指定都市 → ただし、指定都市 事務は当該指定都市 → 事務は、当該指定都市 (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目の前	ウ 学校事務職員の職務規定 → (追加)	見出しの追加	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目	平成29年4月の改正 → 平成29年4月の <u>学校教育法の改正</u>		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	イ 見出し	イ → エ		橋本
学校及び学校事務	1 - 10	(4) 1文目	職務の範囲は自治体や → 職務の範囲は、自治体や (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 10	下部 四角囲み内 6文目	職務を遂行して行けるよう → 職務を遂行して、 <u>い</u> けるよう		小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 1文目	学校のうちその指定する → 学校のうち、 <u>その</u> 指定する (コンマ追加)		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 全文	共同処理することが当該事務の効率的な処理に資するものとして政令で定めるものとは、以下の通りである。 ①教材、教具その他の備品の共同購入に関する事務 ②教職員の給与及び旅費の支給に関する事務 ③そのほか共同学校事務室において共同処理することが効果的な処理に資するものとして教育委員会規則で定める事務 → (文章変更)	削除し、例規に合わせて箇条書き	小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 根拠	地教行法施行令第7条の2 → (追加)		橋本
文書・公印	1 - 15	1(1)ア 2文目	意思決定が行われ統一的な → 意思決定が行われ、統一的な(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 15	1(2)ア(イ) 1文目	何れか → いずれか		小林 橋本
文書・公印	1 - 16	(3)イ(ア) 1文目	(4字分字下げ)		小林 橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(ア)	文書取扱担当者が確認して受け取ることをいう。 → 文書取扱担当者が受領したのち一定の手続に従って整理し、文書の到達を確認することであり、通常、受付という。		橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(イ) 見出し、1文目	(削除)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ) 見出し	(ウ) → (イ)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ)※公文書の流れの例	(各担当者又は供覧 受付 の線を消す)	受付と各担当者又は供覧の間の線は？	橋本
文書・公印	1 - 19	b(b) 1文目	個人の場合は、その氏名 → 個人の場合はその氏名(コンマ削除)		橋本
文書・公印	1 - 20	(c) 1文目	かぎ括弧等 → かぎ括弧等(中点削除)		小林
文書・公印	1 - 20	(ウ)a	共に → とともに	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ア) 2文目	且つ → かつ		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 2段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 3段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 1段落目	保存文書が保存期間を経過したとき、 → 保存期間を経過した文書を		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 2段落目	漏洩 → 漏えい		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 ○4つ目	おこない、 → 行い、		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 最終段落	改行しない	▲また、近年、…の1文は「改行」ではなく、前文に続けられよいのではないかな？	小林
文書・公印	1 - 24	2(2) 2段落目 根拠	(各市町教委公印規則の倍率を90%に)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2行目	(1字分字下げ)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2文目	改行しない		橋本
文書・公印	1 - 25	3(1) 4段落目	保護法(条のあとで改行せずに詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)ア 1文目	「情報公開制度」 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
文書・公印	1 - 25	3(3)イ 見出し	〔情報公開制度〕 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 26	ウ 1文目	文書等に関しては石川県情報公開条例 → 文書等に関しては、 <u>石川県情報公開条例</u> (コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ) 1文目	磁気的方式その他 → 磁気的方式、 <u>その他</u> (コンマ追加) 以下同じ。 → (削除)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(エ)b	個人が識別され、又は識別される情報 → 個人のプライバシーを侵害するおそれのある情報	石川県ホームページ	橋本
文書・公印	1 - 28	(4)ア 1文目	取扱 → 取扱 <u>い</u>	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(ア) 1文目	もの、 <u>→</u> もの(句点削除)		橋本
文書・公印	1 - 29	イ 3段落目	開示請求が増え個人情報保護審査会 → 開示請求が増え、 <u>個人情報保護審査会</u> (コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	イ 4段落目	請求されていることから地方自治体の → 請求されていることから、 <u>地方自治体の</u> (コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 1文目	よく話を聞きその内容が → よく話を聞き、その内容が(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	手続き → 手続 ふむ → 踏む		橋本
文書・公印	1 - 29	ウ 2段落目	<u>また、</u> 学校においては → 学校においては、		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 3段落目 2文目	関わる → かかわる	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 29	ウ(ア)c	(目的外利用)するときや学校以外に提供(外部提出)するときは → (目的外利用)するときや、 <u>学校以外に提供</u> (外部提出)するときは、 <u>→</u> (コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 30	(石川県内の事例)	(1字分字上げ)		橋本
調査統計	1 - 31	(1) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、 <u>幼保連携型認定こども園</u> 、小学校、中学校、 <u>義務教育学校</u> 、高等学校、 <u>中等教育学校</u> 、特別支援学校、大学(短期大学を含む)、 <u>高等専門学校</u> 、 <u>専修学校</u> 及び各種学校	小林
調査統計	1 - 31	四角囲み内 中点1つ目	廃止、 <u>教員養成計画</u> 等具体的な → 廃止等具体的な		小林
調査統計	1 - 31	(2)	(削除) これに伴い、(3)～(6)は番号を繰り上げる	地方教育費の調査は用語解説のページに移動	前年度申し送りより
調査統計	1 - 31	(3) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、 <u>幼保連携型認定こども園</u> 、小学校、中学校、 <u>義務教育学校</u> 、高等学校、 <u>中等教育学校</u> 、特別支援学校、大学、 <u>高等専門学校</u> 、 <u>専修学校</u> 及び各種学校	小林
調査統計	1 - 31	(3) 根拠	(規則名を1行にする、1行分上げる)		橋本
調査統計	1 - 31	(3) 2段落目	この調査には、以下の調査がある。 → (追加)		橋本
調査統計	1 - 32	(4)	<u>勤務する</u> 教職員 → <u>籍を置く</u> 教職員等	校医は・・・?	橋本
学籍	2 - 1	1 3段落目	手続き → 手続(2か所)	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 1	2 2段落目	転学の場合は、当該児童…(中略)…指定するなど <u>入学の場合と同じである。</u> → 転学の場合は、 <u>入学の場合と同じく</u> 当該児童…(中略)…指定する。 <u>→</u>	入学の場合と同じであると分かるように変更	橋本
学籍	2 - 1	2(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 2	(4) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学籍	2 - 2	(4)イ(イ)	教科用図書給与証明書を <u>保護者に</u> → 教科用図書給与証明書を保護者に(コンマ削除) 指導要録写 → 指導要録の写		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	すでに → 既に		橋本
学籍	2 - 3	4	盲・ろう・知的障害・肢体不自由及び病弱者 → <u>視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者</u> (2か所)	1文の中に及びがたくさんあるので	橋本
学籍	2 - 3	4(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 4	5(1)エ	市町教育委員会への <u>卒業生</u> → 市町教育委員会への卒業生(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 4	5(2)ア	生徒についても中学校卒業程度 → 生徒についても <u>中学校卒業程度</u> (コンマ追加)		小林
学籍	2 - 5	6	児童・生徒の…(中略)…役立たせるための原簿としての性格をもつものであるが、児童・生徒を継続して指導していく上で一層役立つものとする観点から、様式等について改善がなされてきており、重要な法定表簿である。 → 児童・生徒の…(中略)…役立たせるための原簿となるものである。	分かりやすい文になるようにに2文に分割するか？ → 一文に変更した。	小林
学籍	2 - 5	6(1)ウ	前項 → イ		橋本
学籍	2 - 5	6(2)ア	転入学の際 <u>、</u> → 転入学の際(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 5	6(3)	保存期間経過後は <u>、</u> 廃棄するなど → 保存期間経過後は廃棄するなど(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ア(イ) 1文目	編入学 <u>の場合、</u> 又は → 編入学 <u>した</u> 場合又は		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(イ)	退学する場合 <u>、</u> 又は → 退学する場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(ウ)	場合 <u>、</u> 又は → 場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 9	備考欄記入例等	流行性感冒 → インフルエンザ(2か所)		橋本
学籍	2 - 10	7(3)イ	児童・生徒・ <u>学生又は幼児</u> → 児童・生徒		橋本
学籍	2 - 10	7(4)イ 1文目	臨時に <u>、</u> 学校の → 臨時に学校 <u>の</u> (コンマ削除)		小林
就学援助	2 - 13	1	特別支援教育 <u>への</u> → 特別支援教育		小林
就学援助	2 - 13	2(1) 2段落目	窓口を市町教育委員会として → 市町教育委員会が窓口となり		橋本
就学援助	2 - 15	(5)表内 修学旅行費	交通費、宿泊費、見学科、並びに均一に負担すべきこととなる記念写真代・医薬品代及び旅行損害保険料 → 交通費、宿泊費、見学科及び均一に負担すべきこととなるその他経費	▲全文を要綱別記1のとおり置き換えてはどうか？	小林
就学援助	2 - 16	1行目	概ね → おおむね	公用文の書き方	橋本
就学援助	2 - 16	注)1	福祉担当課により → 福祉担当課から		小林
就学援助	2 - 16	(6)	振り込まれる場合と → 振り込まれる場合 <u>、</u> 行う場合 <u>、</u> 又は → 行う場合又は 取り扱い → 取扱い		橋本
就学援助	2 - 17	g 2段落目	ただし市町 → <u>ただし、</u> 市町 行われることになった場合は補助対象 → 行われることになった場合は <u>、</u> 補助対象 (コンマ追加)		橋本 小林
就学援助	2 - 18	3 見出し	(特別支援学級への → (特別支援教育		
就学援助	2 - 19	(3)表内 修学旅行費	見学科、 <u>並びに</u> → 見学科 <u>及び</u>		小林

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 20	(4)イ	校長はこれを、金銭を → 校長は、これを金銭を(コンマ移動)		小林
就学援助	2 - 20	4(1)	窓口を福祉担当課として → 担当福祉課を窓口として		橋本
就学援助	2 - 20	4(3)	よりがたいときは厚生労働大臣が → よりがたいときは、厚生労働大臣が(コンマ追加)		小林
就学援助	2 - 21	表上	令和4年4月現在 → 令和5年4月現在	年度更新	前年度申し送りより
就学援助	2 - 21	(7) 3段落目	もっとも → 最も		橋本
就学援助	2 - 22	《生活保護の認定》囲み内	【参考】 → (改定) (5) → (削除)	【参考】の基準額は改定されています。 頻繁に改定されており、この表は要りますか？ → R5.10に改訂されるので様子見？ → 改訂しました(橋本)	橋本
就学援助	2 - 22	福祉事務所一覧表 タイトル行	市町村 → 市町		小林
教科書	2 - 25	(6)ア 根拠	第5条 → 第3条		橋本
教科書	2 - 25	(6)イ※	保管。 → 保管する。		橋本
教科書	2 - 27	キ(イ)※①	学校には控えがなくなるので → 学校の控えとして		橋本
学校保健・給食	2 - 31	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 32	(I)	行う。 → 行うとともに、		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(ア) 4文目	(1字分字下げ)		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(イ) 5文目	(1字分字下げ)		橋本
学校保健・給食	2 - 33	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く) → インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く) 新型コロナウイルス感染症 → (追加)		橋本
学校保健・給食	2 - 35	(3)イ(イ)b 咽頭結膜熱の次	新型コロナウイルス感染症 発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで → (追加)	学校保健安全法施行「規則」第19条	北出
学校保健・給食	2 - 35	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 36	イ(イ) 2文目	除く) → 除く。) (句点追加)		橋本
学校保健・給食	2 - 37	2(4)	各自治体 → 各市町		橋本
学校保健・給食	2 - 39	(8)	支払い → 支払		橋本
人事	3 - 1	1(1) 3段落目	「定年退職者等の再任用」 → 「暫定再任用」、「定年前再任用短時間勤務」	・暫定再任用とか定年前再任用短時間とか入れたらいいですかね ・臨時的任用は採用ではない・・・	橋本
人事	3 - 4	ウ 根拠	育休法__第6条 → 育休法_第6条		橋本
人事	3 - 4	オ 見出し	定年退職者等の再任用 → 定年退職者等の暫定再任用	R7年度からR10年度まで現行と同様の暫定的な再任用制度が設けられる。 オ 定年退職者等の再任用 で追記するか。	前年度申し送りより 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	第28条の4 → 附則第4条 地方公務員法第28条の5 → (削除)		橋本 正井

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
人事	3 - 4	オ 2段落目	この制度は、定年等により退職した職員のうち、…(中略)…に発揮できるようにしたものである。→ この制度は、定年引上げ期間において、年金受給開始年齢までの継続的な勤務ができるようにしたものである。		橋本
人事	3 - 4	オ(ア) 根拠	定年条例附則第3条 → (追加)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ(ア)ｃ 根拠	再任用条例第2条 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ(ア)bの次	ｃ 定年前再任用短時間勤務職員としての任期を満了して退職した者 → (追加)		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)ｃ	ｃ → d	ｃ追加のため変更	橋本
人事	3 - 4	オ(ア)ｃ(b)	(a)に該当する者として再任用されたことがある者→(a)に該当する者として暫定再任用または旧地方公務員法の規定による再任用をされたことがある者		
人事	3 - 5	(イ) 根拠	地方公務員法第28条の4 → 定年条例附則第3条	根拠になる条例に変更	橋本 正井
人事	3 - 5	(エ) 根拠 (オ) 根拠	再任用条例第3条 → (削除) 再任用条例第4条 → (削除)	本文の根拠になっていない	橋本 正井
人事	3 - 6	(4)ウ 1文目	職員の定年は60歳とする。→ 職員の定年は、令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳とする。		竹原 橋本
人事	3 - 6	(4)ウ	定年年齢の段階的引き上げの表を追加		竹原 橋本
人事	3 - 8	(5)	(5)管理監督職勤務上限年齢制(役職定年制) → (追加) これに伴い、(5)～(11)は番号を繰り下げる	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の2～第22条の4 役職定年制による降任 (5)追加のため番号変更	前年度申し 送りより
服務	3 - 13	1(1)※	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 14	(9)	平成29年4月1日以降、 → (削除)		橋本
服務	3 - 14	(9) 根拠	H29.3.2 → H29.3.22		橋本
服務	3 - 16	2(1)	正規職員、臨時的任用職員 → 職員 再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員 (除く) → 除く。)	臨時的任用職員？非常勤、嘱託の職員？再任用は？	橋本
服務	3 - 16 ～ 37	給与の取扱い 給与上の扱い 給与等の取扱い	(給与等の取扱いに統一)	統一してはどうか。 3-19ウ、3-24エ、3-27エ、3-32エ、3-34オ、3-34エ、3-35ウ、3-36オ、3-36エ、3-37オ	正井
服務	3 - 17	ウ ※2つ目	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 17	(2)ア 中点1つ目	90日以内 → (2字分字上げ)		橋本
服務	3 - 17	根拠の線	(下まで伸ばす)		橋本
服務	3 - 20	別表1 親族の死亡欄 備考	往復日数加算 改行せず詰める		橋本
服務	3 - 20	別表1 妊娠障害欄 備考	(切迫流産含むを1行目に移動)		橋本
服務	3 - 21	別表1 婚姻欄 備考	※「結婚の日」 → 「結婚の日」		橋本
服務	3 - 21	別表1 育児参加休暇 期間	産後8週間 → 産後1年	R4.9.30教職355号	橋本
服務	3 - 22	別表1 配偶者、父母子の祭日 備考	往復日数加算 改行せず詰める		橋本
服務	3 - 22	別表1 ボランティア休暇 備考	専ら親族に対する支援となる活動を除く のあとで改行		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
服務	3 - 24	(4)エ ※2	休業手当金 → <u>介護休業手当金</u>		橋本
服務	3 - 26	(ウ)	という) → という <u>え</u>)		橋本
服務	3 - 27	ウ	こと → こと <u>え</u>		橋本
服務	3 - 27	(6)ア(ア)	, → , (4か所)		橋本
服務	3 - 27	(6)ア(イ)	取得可能 <u>え</u>) → 取得可能)		橋本
服務	3 - 29	ウ 見出し	再任用短時間職員 → <u>定年前</u> 再任用短時間職員		橋本
服務	3 - 29	ウ(ア)b	<u>6</u> :27、 <u>4</u> :51、 <u>3</u> :53 → <u>6</u> :27、 <u>4</u> :51、 <u>3</u> :53	半角、数字	竹原
服務	3 - 29	ウ(ア)b 例2つ目	2時間55分 → 2時間54分		
服務	3 - 29	ウ(ア)c	1日又は半日 <u>※</u> 又は時間 → 1日又は半日又は時間	※とは？	橋本
服務	3 - 29	ウ(イ)a	フルタイム勤務職員 → <u>再任用</u> フルタイム勤務職員		橋本
服務	3 - 30の3	(イ)表 男性の育児参加休暇欄	産後 <u>8週間以内</u> → 産後 <u>1年まで</u>	、石川県職員及び石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規則(昭和32年石川県人事委員会規則第4号)の改正。規則第11条第8号に規定する特別休暇(男性の育児参加のための特別休暇)	田端
服務	3 - 31	3(1) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		橋本
服務	3 - 31	3(1)ア 表	育児休業をと <u>る</u> → 育児休業を <u>する</u> (2か所)	例規集・通知では「する」となっている。	
服務	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができる職員欄	※非常勤職員で育児休業をすることができるものは、次項(2)非常勤職員の育児休業を参照 → (追加)		
服務	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができない職員欄	・育児短時間勤務代替職員 ・臨時的に任用される職員 ・育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 ・定年の特例により勤務を延長されている職員 ・60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 ・任期付き短時間勤務職員(修学部分休業、高齢者部分休業、介護休暇及び部分休業の代替職員) ・非常勤職員	1年以内に任期が満了する職員及び定年により退職する職員の根拠は？ R4.9.30教職356号の通りに修正するか。 通知文、例規集、小六法にも根拠なし。解釈の仕方？	橋本
服務	3 - 31	3(1)イ 見出し	期間 → 期間 <u>等</u>	イに2回までの記述をするなら等を付ける	橋本
服務	3 - 31	3(1)イ 1段落目	男性職員は子の出生の日から、女性職員は産後8週間の特別休暇後から、子が3歳に達する日(3歳の誕生日の前日)までの間で、原則2回まで取得することができる。男性職員はこれとは別に、出生後8週間以内の期間において更に2回まで取得することができる。 → (文章変更)		橋本
服務	3 - 31	3(1)イ(ア)	1回 → 2回		橋本
服務	3 - 31～37	根拠	(法令名等と条番号の間のスペースを半角に)		橋本
服務	3 - 33	(2)	(2)非常勤職員の育児休業 → (追加) これに伴い、(2)～(7)は番号を繰り下げる	R4.9.30教職356号 可能であれば文章を追加し、できれば次年度へ申し送り	橋本
服務	3 - 33	(2)ア(う)～(エ)	(ウ)育休法第6条の規定により採用された任期付職員 (エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督者を占める職員 (オ)定年の特例により勤務を延長されている職員 →(追加)	変更、並び替え R4.9.30教職356号 60歳以降も管理職になるパターン	竹原
服務	3 - 36	(6) ア	定年退職前 <u>5年以内</u> → 定年退職前 <u>10年以内</u>	R5.3.10教職724号	前年度申し送りより

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
服務	3 - 36	(6)イ 1段落目	定年から10年を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年の4月1日以後。ただし、定年退職日が令和13年3月31日以前の職員については、定年から下表の定年退職日に対応する年数を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年度の4月1日以後 → (文章変更) (定年退職日に応じて定年から減ずる年数の表を追加)		前年度申し送りより 竹原
服務	3 - 36	(6)イ 1段落目の後	1週間の勤務時間の勤務時間の2分の1を超えない範囲で5分単位で取得できる。また、勤務しない時間は日単位で取得することもできる。 → (追加)		
服務	3 - 36	(6)イ 根拠	修学休業条例 附則第19条 → (追加)		橋本
服務	3 - 37	4の前	(1行空ける)		橋本
服務	3 - 39	ア 根拠	20項 → 第20項		橋本
服務	3 - 39	(6)【私傷病休職】図	成人病 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病		橋本
服務	3 - 41	5(1)ア	(教員免許状更新講習の受講も含める) → (削除)		橋本
服務	3 - 42	6(1)	薄くする _u → 薄くすること又は免除する。 → 免除することである。		橋本
服務	3 - 43	(2)ア 根拠	(位置を調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 45～74	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 46	(5) 根拠	給与規則 第2条、第20条 → 第2、20条	原稿作成要領のとおり	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 46	(4)イ(ア)、(イ)、(オ) (6)ア(イ) (6)イ(ア)	(インデントを修正)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	除く) → 除く _u) 成人病等 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病等		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(9) 四角囲み内 中点2つ目	(上の中点に合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ 根拠	(第2を右寄せ)		橋本
給与・諸手当	3 - 48	(11)	60歳以降の給料の取り扱いについて 国家公務員の定年引き上げにおける取り扱いを踏まえ、当分の間、特定日(60歳に達した日後の最初の4月1日。以下同じ)以後、給料月額を7割水準とする措置を講ずる。(非常勤職員を除く) → (追加)	R4.10.13教職388号 給与条例附則 60歳以降の給料	竹原
給与・諸手当	3 - 51	2(1)ウb	除く) → 除く _u)		橋本
給与・諸手当	3 - 52	(3)ア(ア)b(a)、(c) (3)ア(ア)d(b) (3)ア(ア)e(a)～(d)	(2行目以降のインデント調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 53	[扶養手当を受けられる範囲図]	この地 → このほか		橋本
給与・諸手当	3 - 53	(イ)f	受けたり、又は → 受けたり、 大学院修学休業 → 大学院修学休業等	自己啓発等休業、配偶者同行休業の間も支給されません	橋本
給与・諸手当	3 - 54	(ア)a	(別表参照) → (削除)	別表はどこに？	橋本
給与・諸手当	3 - 55	(ウ)a、b	(文章変更)	分かりやすくする。認定なのか資格喪失なのか。	橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ア 2文目	場合は支給。 → 場合も支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)イ(イ)※	優先 _u → 優先		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ	額 _上 → 額		橋本
給与・諸手当	3 - 58	ク	任期付職員を含む → 臨時的任用職員, 短時間再任用職員を除く。		橋本
給与・諸手当	3 - 59	コ 2段落目	平成24年4月1日改正 → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 60	<別表2>	[注1] → ・ [注2] → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 各欄和暦	提出年月日、受付確認年月日 4年 → X年 所得の合計額 3年 → X年	ここはX年じゃなくていいんでしたっけ?	橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 62	児童手当・特例給付額改定認定請求書 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 65	c(b) 2文目	インターネット上で公開されている地図ソフト → <u>ウェブ</u> 上で公開されている地図 <u>サイト</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 68	ウ	案分 → 按分		橋本
給与・諸手当	3 - 70	ページ全体	行間を狭める	ページ設定or段落の設定で	橋本
給与・諸手当	3 - 75	[注]3 中点	[注]3の前へ移動、協議のあとで改行、インデント調整		橋本
給与・諸手当	3 - 75	イ 本文	(1字分字下げ)		橋本
給与・諸手当	3 - 76	オ 提出書類	・添付書類 → (1字分字下げ) 配偶者との別居の～ → (1字分字下げ) 配偶者と別居することが～ → (1字分字下げ) その他～ → (2字分字下げ)		橋本
給与・諸手当	3 - 77	(7) 表内	義務養育学校 → 義務教直学校(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 78	(イ)表内 第1項第2号 業務 の種類欄	実施するものに限る → 実施するものに限る _上		橋本
給与・諸手当	3 - 80	事例2 手続・処置等欄 中点5つ目 2行目	(1字分字下げ)		橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例6 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4, 5に同じ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例7 勤務の割り振りをしない 場合 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4, 5に同じ → (追加) 条例第10条の4第1項3号業務 → 対外運動競技等		橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例8 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4, 5に同じ → (追加) 注 _上 部活動手当の支給対象 → <u>部活動手当のみ</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 83	表	(上の線を調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	様式その1 見出し	教員特殊業務手当実績簿 → 教員特殊業務手当		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(細い線を削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(○印 → 丸囲みの印)(2か所)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 87	(9)	一律支給される。(出費がかさむ時期の生計補給的な手当) → <u>出費がかさむ時期の生計補給として、</u> 一律支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)ア 中点4つ目	含む) → 含む _レ)		橋本
給与・諸手当	3 - 88	(ウ)b(c)	育児休業期間の2分の1の期間 _レ → 育児休業期間の2分の1の期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く _レ) _レ 。		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)	勤務成績に応じて支給される。(能率給的な手当) → <u>能率給的な手当として、</u> 勤務成績に応じて支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	育児休業期間の全期間。 → 育児休業の全期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く _レ) _レ 。 部分休業をした職員については → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 92	期末手当・勤勉手当の除算について 表	育児休業 → 育児休業(育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く _レ) _レ	(育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く _レ)を表内に追加	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11) 2文目、4文目	(削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)	指定公署 → 指定公署(抜粋) (駐在所、交番を削除) 白山保護自然センター中宮展示館 → 白山保護自然センター中宮展示館 _レ 白山自然保護センター白峰駐在地 → 白山自然保護センター白峰駐在地 _レ	駐在所とかは載せなくてよいのでは？	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 見出し	(イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員 → (イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 1文目	(文頭を1字分字下げ)	「ただし、旧白山麓5村～」です	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(経過措置についての記述を削除)	「※支給地域の～」から「H29.11～」まで	橋本
給与・諸手当	3 - 97～100	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	※	場合。 → 場合(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)ア	[給料の月額+ 扶養手当] → [給料の月額 _レ + 扶養手当 _レ]		橋本
給与・諸手当	3 - 100	・算出方法及び支給割合	・ → オ		橋本
給与・諸手当	3 - 102	ウ 根拠	第4条 → 第5条	石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例	橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)ア(ア)a	含む) → 含む _レ)		橋本
給与・諸手当	3 - 104	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19) 3段落目	60歳に達した日以後、非違によることなく退職した者の退職手当の基本額については、当分の間、退職事由を「定年退職」として算定する。また、職員が特定日から7割水準以下の給料月額となる場合等は、退職手当の基本額の計算方法の特例(ピーク時特例)を適用する。 → (追加)	根拠わかる方、追加してほしいです	竹原
給与・諸手当	3 - 105の2	早見表 定年 31年	42.80375 → 42.31035		橋本 8/31追加
給与・諸手当	3 - 107	表内 期末手当 勤勉手当	再任用職員 → 定年前再任用短時間勤務職員(支給割合、成績率を変更)	支給率変更	竹原
給与・諸手当	3 - 108	表内 特地勤務手当	※経過措置あり(令和2年3月31日まで) → (削除)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	所得制限限度額以上所得上限限度額未満 5,000円 → (一番下の行に追加)	特例給付は全部なくなったわけじゃありませんでした・・・昨年のミスです。	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	H24.6～ → R4.10～		橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 時間外勤務手当・休日勤務手当	(縦の線を調整)	微妙にずれています	橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 通勤手当	ア, 交通機関等利用者 → ア_交通機関等利用者 イ, 交通用具 → イ_交通用具 ウ, 併用者 → ウ_併用者	アと交通機関等利用者の間にスペース、のように	橋本
給与・諸手当	3 - <div>110 ～ 114 の2</div>	ページ全体	平成31年 → 令和4年 (給料表を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①給料表改正	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - <div>114 の3</div>	3	3 非常勤職員の報酬等 → (追加) これに伴い、3～4 は番号を繰り下げる	安江さんから案をいただいています →その場合大分類の番号が繰り下がる 会計年度の人(非常勤講師)の報酬を説明したページがない、時間給ですよ とか 手当はないですよ とか	前年度申し送りより 橋本
給与・諸手当	3 - 115	3(1)ウ(ア)	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 115	3(1)エ(イ)	、 → , (4か所)		橋本
給与・諸手当	3 - <div>115 ～ 118 の2</div>	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(エ)	全額 → 税額(2か所) 退職手当等に対しては、退職所得控除額の → 退職手当等に対しては、「 <u>退職所得の受給に関する申告書</u> 」を提出した場合、退職所得控除額の		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(2) 3文目	125万円 → 135万円		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(3)	という) → という _レ)		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4) 2文目	均等割を合計して計算する。 → 均等割がある。		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4)イ	均等割の計算 → 均等割の税額		橋本
旅費	3 - 119	1(1)	エ 同一地域 → (追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	橋本
旅費	3 - 119	1(3) 1文目	旅 _レ 費 → 旅費		北出 橋本
旅費	3 - <div>119 ～ 128</div>	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
旅費	3 - 120	(6)ア	時刻表等参照のこと → 時刻表等 _を 参照のこと		橋本
旅費	3 - 120	(カ) 見出し	(在来線, 新幹線ともに) → (削除)		
旅費	3 - 120	(カ)	最繁忙期に特急の普通車指定席を利用の場合、通常期の指定席特急料金は400円増し、繁忙期は通常期の指定席特急料金は200円増し、閑散期は通常期の指定席特急料金から200円引きとなる。利用する路線によって時期設定が異なるので注意する。 JR北海道内の在来線を利用の場合 JR東海内・JR西日本内(北陸新幹線を除く)・JR四国内・JR九州内 ・JR各会社間を利用の場合 JR九州内の在来線・西九州新幹線に閑散期の設定はない JR東日本内・北海道新幹線・北陸新幹線を利用の場合 → (追加)	JRのホームページより抜粋。少し作文しました。	
旅費	3 - 120	(カ)※	(2024年3月16日乗車分より廃止予定) → (文末に追加)		
旅費	3 - 120	(キ)	(名古屋往復割引きっぷについての説明を削除) → (※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなったため、旅費計算に適用しないこととなった)(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	橋本
旅費	3 - 123	ウ 囲み内	(交通費規定額+宿泊料規定額のフォントの色)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名	
旅費	3 - 124	(10) 根拠	旅費のキャンセル 支給に係る運用の 見直しについて H28.10.6 県教委	H28.10.6(県教委) 旅費のキャンセル料 支給に係る運用の 見直しについて	キャンセル料の「料」がない。 文書の発信日と発信者を先に示す。 発信者はカッコ書き。	前年度申し 送りより
旅費	3 - 125	(12)イ 見出し	取扱 → 取扱い			橋本
旅費	3 - 125	精算旅費表内 中能登 旅費 計算書締切日	5日 → 7日			
旅費	3 - 127	(13)イ(イ)	----- → - - - - -	もう少し点線っぽくなったらいいかな 半角ハイフンと半角スペースで		橋本
旅費	3 - 128	ウ(ア)	支給しない → 支給しない _レ			橋本
旅費	3 - 129	表内 その他	(名古屋往復割引きつぷについての説明を削除) → (※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなった ため、旅費計算に適用しないこととなった)(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。		
福利厚生	3 - 131	(2)表 長期給付欄	(リフレッシュ給付金を追加)	概要欄「リフレッシュ休暇取得者に給付を行う。」 内容欄「リフレッシュ給付金」		橋本 正井
福利厚生	3 - 132	(3)	[共済組合] → ア 共済組合	講師・非常勤の共済組合 一般組合員／短期組合員		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	任期付任用職員・臨時的任用職員等 → 任期付職員等 組合員には、主に一般組合員と短期組合員の2つの組 合員種別がある。→(3文目に追加)			橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(以下の項目を追加) (ア)組合員種別及び社会保険制度の適用 (ウ)組合員種別の変更があったとき (エ)退職した場合 (オ)標準報酬月額			
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合] 提出書類	(イ)新たに採用となった場合 → (見出しを追加し、提出 書類を変更)			
福利厚生	3 - 132	(3)	[互助会] → イ 互助会			橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[互助会]	任期付任用職員 → 任期付職員			橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[共済組合] → ア 共済組合			橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 2段落目	徴収されるのあとで改行せずに詰める			橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[互助会] → イ 互助会			橋本
福利厚生	3 - 133	(5)	ついて → ついて _と			橋本
福利厚生	3 - 133	(5) 提出書類	・被扶養者の _レ 認定申告書 → ・被扶養者認定申告書			橋本
福利厚生	3 - 133	(5) 表内 共済組合の被扶養 者の所得制限欄 ②	障害年金受給者又は60歳以上の公的年金等の受給者 → 障害年金を受給する程度の障害がある者又は60歳 以上	R5.2.3 公共石1039号		橋本
福利厚生	3 - 133	(5) 表内 所得制限欄	パート勤務を _レ 始めた → パート勤務を始めた 被扶養者 _を 取消し → 被扶養者取消し			橋本
福利厚生	3 - 135	(6)	死亡したとき、又は → 死亡したとき又は			橋本
福利厚生	3 - 136	(9) 表内 本人出産後	42万円 → 50万円(産科医療補償制度対象分娩でない 場合は48万8千円)(2か所)	共済組合ホームページを確認しました。		橋本
福利厚生	3 - 136	(9) 表 本人出産後	母子手帳(写) → 母子手帳 _筆 (写)			橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 137	(10)	(掛金免除要件について追加)	R4.9.16 公共石669号 育休中の掛金免除について追加で記載するか？ 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り →ア(ア)～(オ), イを追加しました。確認をお願いします。	橋本
福利厚生	3 - 137	(11)、(12)	(11)災害にあったとき → (11)災害にあったとき (12)交通事故にあったとき → (12)交通事故にあったとき		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 1文目	(ただし、昭和19年4月1日までに生まれた方は1割) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 2段落目	また、自己負担部分が一定の金額を越えた場合には、後日共済組合から一部負担金払戻金又は家族療養費附加金として給付される。 → (2文目に追加)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ウ 中点1つ目	「2_地方公務員の災害補償制度」 → 「2_地方公務員の災害補償制度」		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)	医療費の自己負担補助については、 → (削除) 以下で求めた金額が給付される。 → (追加)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)b	が給付される。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	提出書類_(ア) → 提出書類_(イ)	スペースを追加してカ(イ)の提出書類と揃える	橋本
福利厚生	3 - 139	キ	健康保険法適用外で病氣治療の目的で、はり・きゅう・あんま・指圧・マッサージを受けたとき → 健康保険法適用外で、はり・灸・あんま・指圧・マッサージ(病氣治療)を受けたとき		橋本
福利厚生	3 - 140	(14)、(15)	(14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき → (14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき (15)給料が支給されなくなったとき → (15)給料が支給されなくなったとき		橋本
福利厚生	3 - 141	(16) 表 教育貸付欄	(文章変更)	R4.8.8 事務連絡 「組合員、被扶養者又は被扶養者でない子、孫若しくは兄弟姉妹が小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校又は各種学校に入学又は修学するため資金を必要とする場合」	橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)	(17)永年勤続をしたとき → (17)永年勤続をしたとき (18)退職後の療養について → (18)退職後の療養について		橋本
福利厚生	3 - 143	2 3段落目	非常勤職員の場合は地方公務員災害補償法に基づく条例_労働者災害補償保険法、 → 非常勤職員の場合は労働者災害補償保険法により国が、		橋本
福利厚生	3 - 144	表 天災地変欄	公務上 → 公務上とする		橋本
福利厚生	3 - 144	(2) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		前年度申し送りより
福利厚生	3 - 144	(2)	往_復 → 往復		橋本
福利厚生	3 - 144	(2) 表 勤務場所欄	限る) → 限る。)		橋本
福利厚生	3 - 148	表	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等(2か所)		橋本
福利厚生	3 - 149	(イ)表	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等		橋本
福利厚生	3 - 154 ～ 160	ページ番号	(下げる)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	昭和61年4月の改正で、国民年金は <u>その他の公的年金制度の基礎となる年金制度となり</u> 。 → 国民年金は公的年金制度の基礎となる年金制度で。		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目2文目	厚生年金に <u>二重</u> に加入している。 → 厚生年金 <u>保険</u> にも加入している。		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 民間サラリーマン	(報酬比例) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 公務員等	退職等年金給付 → 年金払い退職給付		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	厚生年金(報酬比例部分) → 厚生年金(報酬比例) 国民年金(<u>定額部分</u>) → 国民年金	民間も公務員も厚生年金が報酬比例なのは同じ。	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 表下	国民年金及び年金 → 国民年金及び <u>厚生年金</u>		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(ア)、(イ)、(ウ)	国民年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)(3か所)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(イ)	者に対して → 場合に		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)イ(ア)	共済年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 全文	本来、老齢厚生年金は65歳からの受給となっているが、受給開始年齢が引き上げられたことの経過措置として特別支給の老齢厚生年金が支給されている。受給開始年齢は生年月日と性別に応じて異なる。 → (文章変更)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 2文目	(削除し、受給要件を箇条書き)	受給要件 ・厚生年金被保険者期間(注1)が1年以上あること ・受給資格期間が10年以上あること	橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目	60歳から65歳までの間支給。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目 文末	3-156(イ)参照 → (追加)	(文の終わりに3-156(イ)参照？を追加)	橋本
福利厚生	3 - 157	エ 1文目	繰り上げ <u>支給</u> → 繰り上げて <u>受給</u>	本文ではなく見出しが修正されていたので、見出しは元に戻し、本文を変更しました。 (橋本さんに確認済みです)	橋本
福利厚生	3 - 157	オ 1文目	(文章変更)	年金の受給開始を66歳から75歳までの間に先延ばしすることができる。	橋本
福利厚生	3 - 157	オ	することできる。 のあとで改行せずに詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	オ	1ヵ月 → 1ヵ月		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)ア	老齢基礎年金の支給額は777,800円(令和4年度水準)。 → 令和5年度の支給額は67歳以下は795,000円、68歳以上は792,600円。	(1文すべて変更)	橋本
福利厚生	3 - 158	(7)ア	老齢 <u>厚生</u> 年金 → 老齢年金		橋本
福利厚生	3 - 158	(10)イ 2文目	但し → ただし		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)ア	<u>臨時的任用職員を除く</u> → <u>短時間再任用職員、会計年度任用職員を除く</u>		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)イ	できる <u>ものであること</u> → できる <u>。</u>		橋本
福利厚生	3 - 159	(4) 2段落目	通帳はなく契約証書のみで → 通帳の発行に代えて契約証書が交付される。 財形貯蓄残高報告書が年2回契約金融機関より <u>。</u> → また、年2回財形貯蓄残高報告書が <u>。</u> 金融機関より		橋本
福利厚生	3 - 160	中点2つ目	又は <u>。</u> → 又は(コンマ削除)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 160	3行目	預金 → 預入		橋本
福利厚生	3 - 160	(5) 表 一般財形貯蓄 要件違反の課税	(斜線を入れる)		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)	雇用・能力開発機構 → 勤労者退職金共済機構		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)〇1つ目	特に定められている。 → 定められている。		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)ア～ウ	もの _ㄱ → もの(3か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(3)ア 根拠	(義務教育費国庫負担法の倍率を80%に)(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	イ 根拠	(学校職員給与負担法の倍率を90%に)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	※表 交付金	地震防災(耐震補強) → 補強 地域学校連携施設整備1/3 → (削除) 〃 改築 → 学校給食施設改築 木の教育環境整備1/3 → (削除)	▲「〃」ではなく具体的に表記してはどうか？	小林 橋本
校費・学校予算	4 - 3	2(3)ア 根拠	地方自治法 第209、209条2 → 第209条	209条全体が本文の根拠になっていますので、包括的に。 どうせ、209条は1項と2項しかないのです。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	(4) 2文目	概ね → おおむね		橋本
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア 根拠	地教行法 第25、25条4 → 第25条1、4	この表記の方がスマート。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 5	(3) 2段落目	保証 → 保障		橋本
校費・学校予算	4 - 6	(5) 3文目	はかり → 図り		橋本
校費・学校予算	4 - 7	イ	かかる → 係る		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ	行う。 → 行うことである。		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ 3文目	支払い → 支払		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2段落目	手続き → 手続(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2～3段落目	支払い → 支払(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(10)	おこなわれて → 行われて		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11)	すでに → 既に		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11) 2文目	石川県公立小中学校教育事務研究会 → (文の始めに追加)		橋本
校費・学校予算	4 - 9	4(1)ア(ア)	備え付け → 備付け		橋本
校費・学校予算	4 - 10	1行目	とする) → とするㄱ)		橋本
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 1段落目	お慶び → お喜び		小林
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 3段落目	致します → いたします		小林
校費・学校予算	4 - 12	エ 例内 2段落目	致します → いたします		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
校費・学校予算	4 - 12	(4)ア	含む) → 含む _レ)		橋本
校費・学校予算	4 - 13	イ(イ)※	ある) → ある _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 15	1(2) 根拠	(削除)	「H14(文科省)第14,15号」は、あまりにもざっくりし過ぎたいいい加減な書き方。何という通知の14号、15号なんでしょう？いまさら追跡できないのであれば、消しませんか。20年も前の通知ですし。 →「H14(文科省)第14,15号」はそれぞれ「小学校設置基準」「中学校設置基準」のことなので根拠は削除しましょう(橋本)	前年度申し送りより
学校の施設・設備	4 - 15	1(2)ア(ウ) 全文	校舎には少なくとも教室(普通教室、特別教室等)、図書室、保健室及び職員室を備えるものとする。また、必要に応じて特別支援学級のための教室を備えるものとする。 → (文章変更)		橋本
学校の施設・設備	4 - 16	イ	(削除)	もういない	橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)e、i	(削除)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f～o	(e、iの削除に伴い番号繰り上げ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f	(d) バリアフリー化等施設整備工事 → (追加) (g) 防犯対策施設整備工事 → (e) 防犯対策施設整備工事 (f) 特別防犯対策施設整備工事 → (追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 18	(b) 1文目	チームティーチング → ティーム _二 ティーチング (中点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 18	イ(ア) 根拠	(理科教育振興法施行令を倍率80%に)		橋本
学校の施設・設備	4 - 19	ウ(エ)	利用するときは学校の管理機関と → 利用するときは、学校の管理機関と(コンマ追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 19	カ(イ)a	改_造 → 改造(スペース削除)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	キ	反する結果にもなるので学校校内に → 反する結果にもなるので、学校構内に(コンマ追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)ア	除く) → 除く _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(ア)	定める → 定める _レ (句点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(エ)	明確にする → 明確にする _レ (句点追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	いう) → いう _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ) 2文目	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学校の施設・設備	4 - 23	(ウ)e※	k _レ l → kL(2か所)		橋本
学校の施設・設備	4 - 23	(エ) 1文目	場合があるので注意が必要である。 → 場合があるので、注意が必要である。(コンマ追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 24	キ(イ)	学校の実態に応じて定め実施する → 学校の実態に応じて定め、実施する(コンマ追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 25	四角囲み 左から2個目	学校内で処理できる <u>こと</u> → 学校内で処理できる <u>もの</u>		小林
学校の施設・設備	4 - 25	(8)イ	含む) → 含む _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 25	(8)ウ 1文目	健康上よい環境ではないため学校などの → 健康上よい環境ではないため、学校などの(コンマ追加)		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校の施設・設備	4 - 26	オ(ア)	<u>上司</u> の指揮 → <u>校長</u> の指揮	上司ではない、文言に言い換え	小林
学校の施設・設備	4 - 26	(10)	(10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理 → (10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理		橋本
学校の施設・設備	4 - 27～28	ア(ア)～イ(イ)b	こと → こと _△ (句点追加)(18か所)		小林
学校の施設・設備	4 - 27	ア(ウ)b	非常時においては常に複数の教職員で対応する体制をとるなどあらゆる → 非常時においては、常に複数の教職員で対応する体制をとるなど、あらゆる(コンマ追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 28	(カ)c	取り組み → 取組		橋本
学校の施設・設備	4 - 28	※3	火災以外の緊急時において使用したときはその…(中略)…とともに消防機関に速やかに連絡する等の配慮がなされること → 火災以外の緊急時において使用したときは、その…(中略)…とともに、消防機関に速やかに連絡する等の配慮がなされること(コンマ追加)	読点が一つも無い文章のため、入れました。	小林
物品	4 - 29	1(1)～(3) 見出し	(例_金沢市) → (例_金沢市)(3か所)		
物品	4 - 29	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 29	1(1)ア	その他 → その他の 除く) → 除く。)		橋本 8/31追加
物品	4 - 29	1(3)ア	1万円 → 5万円 考古資料並びに図書館等で保存する蔵書を除く。) → 考古資料を除く。)又は2年以内に消費するもの		橋本
物品	4 - 29	1(3)イ	物 → もの		橋本
物品	4 - 30	(4) 見出し	(4)物品・分類 → (4)分類・整理	目次の文言に合わせる	前年度申し送りより
物品	4 - 30	(4)	物品出納員又は物品取扱員 → 物品出納員		橋本
物品	4 - 30	2(1) 囲み内(2)、(3)	(文章を1字分字下げ)		橋本
物品	4 - 31	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 33	ページ番号	(下げる)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 1	2(1)、(2)	(1字分字下げ)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	タイトル部分、各項目	タイトル部分:職員一覧 各項目:該当する職員をチェック 様式集より出力:(各ページ下部に記述する)(統一)	ページによって表記がバラバラなのが気になります (職員の選択欄にチェックが良いかな?) (職員?職員の確定?) 統一 各事務所によっては出力様式以外を使用している	橋本
給与・共済互助会システム	5 - 7	⑤	画面がでる → 画面が出る		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	(イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する) クリック _△ → クリック		小林
給与・共済互助会システム	5 - 10	④	(フォント修正)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 18	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管し、コピーを本人に渡す。 → 保管する _△		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管する → 保管する _△ (句点追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点2つ目、3つ目	受け取るのあとで改行せずに詰める、中点3つ目削除		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部の四角囲み内 2行目	申告書を出力 _△ → 申告書を出力する _△		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・共済互助会システム	5 - 22	⑩の前	「 → 「		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 24	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	⑥→⑤		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	(2, 3行目を1字分字下げ)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 29	一覧表内 その他 中点2つ目	変更があったときは変更内容を → 変更があったときは、 <u>変更内容を(コンマ追加)</u>		小林
給与・共済互助会システム	5 - 30	一覧表内 3月	削除	空欄になっている。残しておく必要はあるか？	小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 29、30 用途等欄	職員 <u>確認</u> 用 → 職員 <u>記入</u> 用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 31 用途等欄	職員 <u>配付</u> 用 → 職員 <u>記入</u> 用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 34	3(1)、(2)	(文章を1字分字下げ)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(エ)	連絡する) → 連絡する <u>。</u>		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(カ) 2文目	読点をコンマに変更(2か所)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ、ウ	(文章を1字分字下げ)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	所属別帳票を選択し各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書はミシン線入りの用紙に印刷し該当職員に → 所属別帳票を選択し、 <u>各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書は、ミシン線入りの用紙に印刷し、該当職員に(コンマ追加)</u> 忘れずに出力する → 出力する		小林
学校事務用語の解説	5 - 36	「及び」と「並びに」 2文目	ふつう → 普通		小林
学校事務用語の解説	5 - 37	ガイドライン	(文頭を1字分字下げ)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	中学校・高等学校 → 中学校・ <u>義務教育学校</u> ・高等学校・ <u>中等教育学校</u> ・ <u>特別支援学校</u>		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	新学習指導要領のスケジュール～令和3年4月から中学校で全面实施 → (削除) 現行の学習指導要領は平成29年3月31日に告示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から実施されている。 → (追加)	移行スケジュールのうち、周知・徹底、移行措置開始は削除しても良いのでは	橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	課税対象給与額	除く) → 除く。)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	寡婦・寡夫	又は妻(夫) → 又は妻(妻)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 41	教員免許更新制 2段落目	仕組みが始まる → 仕組みが始ま <u>った</u>		小林 橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 1文目	含む) → 含む <u>。</u>		橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 3文目	(削除)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法	(国庫補助金とコンプライアンスの間に移動、2字分字下げ)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法 4文目	施行される → 施行され <u>ている</u>		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R6.1.19現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校事務用語の解説	5 - 43	(追加)	36協定 → (追加)	労働者に法定労働時間を超えて労働させる場合や、休日労働をさせる場合に、労働者と結ぶ取り決めのことであり、労働基準法第36条に定められた労使協定であることから、通称「36(サブロク)協定」と呼ばれている。	前年度申し送りより 竹原
学校事務用語の解説	5 - 46	(追加)	地方教育費調査 → (追加)		前年度申し送りより
学校事務用語の解説	5 - 47	チーム・ティーチング	チーム・ティーチング → ティーム・ティーチング (通学区域の弾力的運用の次へ移動)		小林
学校事務用語の解説	5 - 47	(追加)	統合型校務支援システム → (追加)		小林
学校事務用語の解説	5 - 48	ねんきん特別便	ねんきん特別便 → <u>ねんきん定期便</u> (用語変更及び文章変更)	社会保険庁(当時)が公的年金の加入記録の確認を目的として、平成19年12月から平成20年3月までに加入者・年金受給者に送付した通知書。これに併せて、公立学校共済組合からも共済年金の加入記録の確認のため公務員共済ねんきん特別便が送付された。	橋本
学校事務用語の解説	5 - 50	メンタルヘルス	このため産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ心身の健康に → このため、 <u>産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ、心身の健康に</u> (コンマ追加)		小林
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 56	大分類-人事 表内 各種手当認定簿(退職/異動者)欄	現況届等通勤届 → 現況届等、 <u>通勤届</u>		橋本
物品分類表	5 - 62~ 66	物品分類表	(改正のため差替え)	修正案できました	橋本
教科書事務・質疑応答	5 - 72	4つ目の【答】	冒頭スペース 1文字分割除		小林
教科書事務・質疑応答	5 - 73	1つ目の【問】【答】	(削除)	▲現在は理科の給与の仕方が学年ごとの給与になっている。削除してもよいのではないかな？	小林
事務職員研修体系(通知)	5 - 75	ページ番号	(中央揃えにする)		橋本

教育事務ハンドブック

令和5年度

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 850円 → 1,080円、 中学校 770円 → 1,000円	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)	
		全体	項目の各細別の間にある行間を詰める	全体において、項目の各細別は空白行を入れずに項目を入れる。各細別の「ア」や「(ア)」なども同様に処理する。原稿作成要領に明記するか。 下記例の様に間に行間を空けない。 例) 設又は公認の機関である。 (1) 学校の種類 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	前年度申し送りより
		全体	市町学校管理規則 市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則 各市町立学校管理規則 (表記を統一)	根拠の「学校管理規則」がページによって表記が違う 1-17、3-2、3-6、3-19、3-20:市町学校管理規則 2-4、2-34:市町立学校管理規則 2-10:各市町立学校管理規則 市町学校管理規則で統一 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
		全体	例 ○○ 例:○○ 例 ○○による場合 例:○○の場合 → 例:○○ (表記を統一)	例がページによって表記が違う 1-24、2-16:例:○○ 1-26、1-27、1-28、4-29:例 ○○ 3-3、3-4、3-5、3-6:例:○○の場合 3-19:例 ○○による場合 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
		全体		○○参照もページによって表記が違う 要確認 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
学校及び学校事務	1 - 1	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表内	小学校・同学年の児童で編制する学級 第1、2、3学年 35人 → (削除) 小学校・同学年の児童で編制する学級 第4学年～第6学年 40人 → (削除)	義務標準法 第3条2 に合わせて	北出
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表下	※ 小学校の同学年の児童で編制する学級編制の基準は、令和3年度から令和7年度にかけて、段階的に40人から35人に引き下げられる。(追加)	経過措置について	
学校及び学校事務	1 - 5	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 6	(5)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 6	(5) 2段落目2文目	運営に関し相互に → 運営に関し、相互に(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 7	1行目	取り組み → 取組	公用文の書き方	橋本
学校及び学校事務	1 - 7	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 7	ウの後ろ	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点3つ目 2文目	地教行法は教育機関である → 地教行法は、教育機関である(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点4つ目	・ → イ	任命権者は位置づけとはちょっと違うかな?	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目の前	ウ 学校事務職員の職務規定 → (追加)	見出しの追加	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目	平成29年4月の改正 → 平成29年4月の <u>学校教育法の改正</u>		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	イ 見出し	イ → エ		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	1～2行目	ただし指定都市 → ただし <u>指定都市</u> 事務は当該指定都市 → 事務は <u>当該指定都市</u> (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 9	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	(3)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 10	(4) 1文目	職務の範囲は自治体や → 職務の範囲は <u>自治体や</u> (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 10	下部 四角囲み内 6文目	職務を遂行して行けるよう → 職務を遂行して <u>い</u> けるよう		小林
学校及び学校事務	1 - 10	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 11	(5)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 1文目	学校のうちその指定する → 学校のうち <u>その</u> 指定する (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 全文	共同処理することが当該事務の効率的な処理に資するものとして政令で定めるものとは、以下の通りである。 ①教材、教具その他の備品の共同購入に関する事務 ②教職員の給与及び旅費の支給に関する事務 ③そのほか共同学校事務室において共同処理することが効果的な処理に資するものとして教育委員会規則で定める事務 (文章変更)	削除し、例規に合わせて箇条書き	小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 根拠	地教行法施行令第7条の2 → (追加)		橋本
文書・公印	1 - 15	(1)ア 2文目	意思決定が行われ統一的な → 意思決定が行われ <u>統一的な</u> (コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 15	(2)ア(イ) 1文目	何れか → いずれか		小林 橋本
文書・公印	1 - 16	(3)イ(ア) 1文目	(4字分 字下げ)		小林 橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(ア)	文書取扱担当者が <u>確認して受け取ることをいう。</u> → 文書取扱担当者が <u>受領したのち一定の手続に従って整理し、文書の到達を確認することであり、通常、受付という。</u>		橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(イ) 見出し、1文目	(削除)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ) 見出し	(ウ) → (イ)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ)※公文書の流れの例	各担当者又は供覧 受付 の線を消す	受付と各担当者又は供覧の間の線は？	橋本
文書・公印	1 - 18	イの前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 19	(b) 1文目	個人の場合は <u>その</u> 氏名 → 個人の場合はその氏名 (コンマ削除)		橋本
文書・公印	1 - 20	(c) 1文目	かぎ括弧等 → かぎ括弧等(中点削除)		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
文書・公印	1 - 20	(d)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 20	(ウ)a	共に → とともに	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ア) 2文目	且つ → かつ		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 2段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 3段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 1段落目	保存文書が保存期間を経過したとき、 → 保存期間を経過した文書を		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 2段落目	漏洩 → 漏えい		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 ○4つ目	おこない、 → 行い、		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 最終段落	改行しない	▲また、近年、…の1文は「改行」ではなく、前文に続けられよいのではないか？	小林
文書・公印	1 - 24	2(2) 2段落目 根拠	(各市町教委公印規則の倍率を90%に)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2行目	(1字分 字下げ)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2文目	改行しない		橋本
文書・公印	1 - 25	3(1) 4段落目	保護法(条のあとで改行せずに詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(2)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)ア 1文目	「情報公開制度」 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)イ 見出し	「情報公開制度」 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 26	(例)	(例_ → (例_ (4か所)		
文書・公印	1 - 26	ウ 1文目	文書等に関しては石川県情報公開条例 → 文書等に関しては_石川県情報公開条例(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ) 1文目	磁気方式その他 → 磁気方式_その他(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ)	以下同じ。 → (削除)		橋本
文書・公印	1 - 26	ウ(エ)b	個人が識別され、又は識別される情報 → 個人のプライバシーを侵害するおそれのある情報	石川県ホームページ	橋本
文書・公印	1 - 27	(例)	(例_ → (例_ (4か所)		
文書・公印	1 - 28	(4)ア 1文目	取扱 → 取扱い	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(例)	(例_石川県条例) → (例_石川県条例)		
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(ア) 1文目	もの_ → もの(句点削除)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
文書・公印	1 - 29	イ 3段落目	開示請求が増え個人情報保護審査会 → 開示請求が増え、個人情報保護審査会(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	イ 4段落目	請求されていることから地方自治体の → 請求されていることから、地方自治体の(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 1文目	よく話を聞きその内容が → よく話を聞き、その内容が(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	ふむ → 踏む		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2段落目	<u>また、</u> 学校においては → 学校においては、		小林
文書・公印	1 - 29	ウ(ア)○	(目的外利用)するときや学校以外に提供(外部提出)するときは → (目的外利用)するときや、学校以外に提供(外部提出)するときは、(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	手続き → 手続		橋本
文書・公印	1 - 29	ウ 3段落目 2文目	関わる → かかわる	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 30	(石川県内の事例)	(1字分 字上げ)		橋本
調査統計	1 - 31	(1) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学(短期大学を含む)、高等専門学校、専修学校及び各種学校	小林
調査統計	1 - 31	四角囲み内 中点1つ目	廃止、教員養成計画等具体的な → 廃止等具体的な		小林
調査統計	1 - 31	(2)	(削除)	地方教育費の調査は用語解説のページに移動	前年度申し送りより
調査統計	1 - 31 32	(3) (4) (5) (6)	(3) 学校教員統計調査 → (2) 学校教員統計調査 (4) 教職員調査書 → (3) 教職員調査書 (5) 勤務条件等に関する調査 → (4) 勤務条件等に関する調査 (6) その他 → (5) その他	(2) 削除により変更	
調査統計	1 - 31	(3) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校	小林
調査統計	1 - 31	(3) 根拠	(規則名を1行にする、1行分上げる)		橋本
調査統計	1 - 31	(3) 2段落目	この調査には、以下の調査がある。 → (追加)		橋本
調査統計	1 - 32	(4)	勤務する教職員 → 籍を置く教職員等	校医は…?	橋本
調査統計	1 - 32	(2)の前	行間を詰める		正井
調査統計	1 - 32	(3)の前	行間を詰める		正井
調査統計	1 - 32	(4)の前	行間を詰める		正井
学籍	2 - 1	1 3段落目	手続き → 手続(2か所)	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 1	2 2段落目	転学の場合は、当該児童…(中略)…指定するなど入学の場合と同じである。 → 転学の場合は、入学の場合と同じく当該児童…(中略)…指定する。	入学の場合と同じであると分かるように変更	橋本
学籍	2 - 1	2(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学籍	2 - 2	(4) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(イ)	教科用図書給与証明書を 保護者に → 教科用図書給与証明書を保護者に(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	指導要録写 → 指導要録 の 写		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	すでに → 既に		橋本
学籍	2 - 3	4	盲・ろう・知的障害・肢体不自由及び病弱者 → <u>視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者</u> (2か所)	1文の中に及びがたくさんあるので	橋本
学籍	2 - 3	4(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 4	5(1)エ	市町教育委員会への 卒業生 → 市町教育委員会への卒業生(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 4	5(2)ア	生徒についても中学校卒業程度 → 生徒についても 中学校卒業程度 (コンマ追加)		小林
学籍	2 - 4	5(2)ア、イ	(できれば文章変更)	H15.3.31号外 文科省令12号 可能であれば文章を変更し、できなければ次年度へ申し送り	次年度 申し送り
学籍	2 - 4	5(1)イ 根拠	市町 立 学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学籍	2 - 5	6	児童・生徒の…(中略)…役立たせるための原簿としての性格をもつものであるが、児童・生徒を継続して指導していく上で一層役立つものとする観点から、様式等について改善がなされてきており、重要な法定表簿である。 → 児童・生徒の…(中略)…役立たせるための原簿となるものである。	分かりやすい文になるようにに2文に分割するか？	小林
学籍	2 - 5	6(1)ウ	前項 → イ		橋本
学籍	2 - 5	6(2)ア	転入学の際 に → 転入学の際(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 5	6(3)	保存期間経過後は 廃棄する など → 保存期間経過後は廃棄するなど(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ア(イ) 1文目	編入学 の 場合 に 又は → 編入学 した 場合又は		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(イ)	退学する場合 に 又は → 退学する場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(ウ)	場合 に 又は → 場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 9	備考欄記入例等	流行性感冒 → インフルエンザ(2か所)		橋本
学籍	2 - 10	7(2)ウ 根拠	各市町 立 学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学籍	2 - 10	7(3)ア 根拠	各市町 立 学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学籍	2 - 10	7(3)イ	児童・生徒・ 学生又は幼児 → 児童・生徒		橋本
学籍	2 - 10	7(4)イ 1文目	臨時に に 学校の → 臨時に学校の(コンマ削除)		小林
学籍	2 - 10	7(5) 根拠	各市町 立 学校管理規則 → 市町学校管理規則		橋本
就学援助	2 - 13	1	特別支援教育 への → 特別支援教育		小林
就学援助	2 - 13	2(1) 2段落目	窓口を市町教育委員会として → 市町教育委員会が窓口となり		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 13	(2)、(3)、(4)の前	行間を詰める		橋本
就学援助	2 - 13	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)表内 修学旅行費	交通費、宿泊費、見学科、並びに均一に負担すべきこととなる記念写真代・医薬品代及び旅行損害保険料 → 交通費、宿泊費、見学科及び均一に負担すべきこととなるその他経費	▲全文を要綱別記1のとおり置き換えてはどうか？	小林
就学援助	2 - 15	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)の前	行間を詰める		橋本
就学援助	2 - 16	1行目	概ね → おおむね	公用文の書き方	橋本
就学援助	2 - 16	注)1	福祉担当課により → 福祉担当課から		小林
就学援助	2 - 16	(6)	振り込まれる場合と → 振り込まれる場合、		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	行う場合又は → 行う場合又は		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	取り扱い → 取扱い		橋本
就学援助	2 - 17	g 2段落目	ただし市町 → ただし、市町 行われることになった場合は補助対象 → 行われることになった場合は、補助対象 (コンマ追加)		橋本 小林
就学援助	2 - 17	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 18	3 見出し	(特別支援学級への → (特別支援教育		
就学援助	2 - 19	(3)表内 修学旅行費	見学科、並びに → 見学科及び		小林
就学援助	2 - 19	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 20	(4)イ	校長はこれを、金銭をもって → 校長は、これを金銭を (コンマ移動)		小林
就学援助	2 - 20	4(1)	窓口を福祉担当課として → 担当福祉課を窓口として		橋本
就学援助	2 - 20	4(3)	よりがたいときは厚生労働大臣が → よりがたいときは、厚生労働大臣が (コンマ追加)		小林
就学援助	2 - 21	表上	令和4年4月現在 → 令和5年4月現在	年度更新	前年度申し送りより
就学援助	2 - 21	(7) 3段落目	もっとも → 最も		橋本
就学援助	2 - 21	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 22	《生活保護の認定》囲み内	【参考】 → (改定) (5) → 削除	【参考】の基準額は改定されています。 頻繁に改定されており、この表は要りますか？ →R5.10に改訂されるので様子見？	橋本
就学援助	2 - 22	一覧表 タイトル行	市町村 → 市町		小林
就学援助	2 - 22の 2	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 22の 3	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 23	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
教科書	2 - 24	(5)の前	行間を詰める		橋本
教科書	2 - 25	(6) ※	保管。 → 保管する。		橋本
教科書	2 - 25	(6) 根拠	第5条 → 第3条		橋本
教科書	2 - 25	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 27	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 27	(4)※①	学校には控えがなくなるので → 学校の控えとして		橋本
教科書	2 - 29	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
学校保健・給食	2 - 31	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 32	(エ)	行う。 → 行うとともに。		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(ア) 4文目	(1字分 字下げ)		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(イ) 5文目	(1字分 字下げ)		橋本
学校保健・給食	4 - 28	(追加)	(キ) 自動車等の運行における自動の所在確認 a 児童生徒等の通学、校外学習等のために自動車を実行するときは、児童生徒等の自動車への乗降の際に、点呼等で児童生徒の所在を確認すること。 B 幼稚園及び特別支援学校には、通学用の自動車等を実行するときは、ブザーその他の車内児童の見落としを防止する装置を装備し、降車時の①の所在を確認すること。	R4.12.28 教学指第1309号(文部科学省令第41号) 学校保健法安全施行規則(昭和33年文部省令第18号)の一部改正 通学、校外学習等で自動車を運航する際の安全管理の項目として追加 →このページでよいか確認	田端
学校保健・給食	2 - 33	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く) → インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)		橋本
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種	咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎 → 咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎	学校保健安全法施行規則 第18条	北出
学校保健・給食	2 - 34	オ 根拠	市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学校保健・給食	2 - 35	(3)イ(イ)b 咽頭結膜熱の次	新型コロナウイルス感染症 発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで → (追加)	学校保健安全法施行「規則」第19条	北出
学校保健・給食	2 - 35	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 36	イ(イ) 2文目	除く) → 除く。 (句点追加)		橋本
学校保健・給食	2 - 37	2(4)	各自自治体 → 各市町		橋本
学校保健・給食	2 - 39	(8)	支払い → 支払		橋本
人事	3 - 1	1(1) 3段落目	「定年退職者等の再任用」 → 「暫定再任用」、「定年前再任用短時間勤務」	・暫定再任用とか定年前再任用短時間とか入れたらいいですかね ・臨時的任用は採用ではない・・・	橋本
	3 - 1	1(1)ア(イ)	奥能登教育事務所管内の場合 → 例:奥能登教育事務所管内	例がページによって表記が違う 1-24、2-16:例:〇〇 1-26、1-27、1-28、4-29:例 〇〇 3-3、3-4、3-5、3-6:例:〇〇の場合 3-19:例 〇〇による場合	田端

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
人事	3 - 3～5	(例)	例:奥能登教育事務所管内の場合 → 例:奥能登教育事務所管内(3か所)		
人事	3 - 4	ウ 根拠	育休法__第6条 → 育休法_第6条		橋本
人事	3 - 4	オ 見出し	定年退職者等の再任用 → 定年退職者等の暫定再任用	R7年度からR10年度まで現行と同様の暫定的な再任用制度が設けられる。 オ 定年退職者等の再任用 で追記するか。	前年度申し送りより 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	第28条の4 → 附則第4条		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	地方公務員法第28条の5 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 2段落目	この制度は、定年等により退職した職員のうち、…(中略)…に発揮できるようにしたものである。 → この制度は、定年引上げ期間において、年金受給開始年齢までの継続的な勤務ができるようにしたものである。		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)c(b)	(a)に該当する者として再任用されたことがある者→(a)に該当する者として暫定再任用または旧地方公務員法の規定による再任用をされたことがあるもの		
人事	3 - 4	オ(ア)bの次	c 定年前再任用短時間勤務職員としての任期を満了して退職した者 → (追加)		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)c	c → d	c追加のため変更	橋本
人事	3 - 4	オ(ア) 根拠	定年条例附則第3条 → (追加)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ(ア)c 根拠	再任用条例第2条 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 5	(イ) 根拠	地方公務員法第28条の4 → 定年条例附則第3条	根拠になる条例に変更	橋本 正井
人事	3 - 5	(エ) 根拠 (オ) 根拠	再任用条例第3条 → (削除) 再任用条例第4条 → (削除)	本文の根拠になっていない	橋本 正井
人事	3 - 5		カ 定年前再任用短時間勤務制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の4、第22条の5、附則 定年前再任用短時間勤務制 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り	前年度申し送りより
人事	3 - 6	イ(例)	(例:輪島市の場合) → (例:輪島市)		
人事	3 - 6	(4)ウ 1文目	職員の定年は60歳とする。 → 職員の定年は、令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳とする。		竹原 橋本
人事	3 - 6	(4)ウ	定年年齢の段階的引き上げの表を追加		竹原 橋本
人事	3 - 6 ～ 10		(5)役職定年制 → (追加) (5) → (6) 以下(11)までを番号繰り下げ	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の2～第22条の4 役職定年制による降任 (5)追加のため番号変更	前年度申し送りより
服務	3 - 13	1(1)※	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 14	(9)	平成29年4月1日以降、 → (削除)		橋本
服務	3 - 14	(9) 根拠	H29.3.2 → H29.3.22		橋本
服務	3 - 16	2(1)	正規職員、臨時的任用職員 → 職員 再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員	臨時的任用職員？非常勤、嘱託の職員？再任用は？	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
サービス	3 - 16	2(1)	除く) → 除く _レ)		橋本
サービス	3 - 16 ～ 37	給与の取扱い 給与上の扱い 給与等の取扱い	給与等の取扱い	統一してはどうか。 3-19ウ、3-24エ、3-27エ、3-32エ、3-34オ、3-34エ、3-35ウ、3-36オ、3-36エ、3-37オ	正井
サービス	3 - 16 ～ 37	付与単位・付与される 取得単位・取得できる	付与単位・付与される。	統一してはどうか。 1日、半日又は1時間 ○○の付与単位 など 付与されると取得できるでは意味が違うので修正しませんでした。	正井
サービス	3 - 17	ウ ※2つ目	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
サービス	3 - 17	(2)ア 中点1つ目	90日以内 → (2字分 字上げ)		橋本
サービス	3 - 17	根拠の線	(下まで伸ばす)		橋本
サービス	3 - 17	ウ※2つ目		根拠は？ 例規集等でも根拠は見つかりませんでした。例規集の 条文を解釈してハンドブックに記載した？	橋本
サービス	3 - 19	イ(ア)(例)	(例_金沢市学校管理規則による場合) → (例_金沢市)		
サービス	3 - 20	別表1 親族の死亡欄 備考	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
サービス	3 - 20	別表1 妊娠障害欄 備考	(切迫流産含むを1行目に移動)		橋本
サービス	3 - 21	別表1 婚姻欄 備考	※「結婚の日」 → 「結婚の日」		橋本
サービス	3 - 21	別表1 育児参加休暇 期間	産後8週間 → 産後1年	R4.9.30教職355号	橋本
サービス	3 - 22	別表1 配偶者、父母子の祭日 備考欄	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
サービス	3 - 22	表内 ボランティア休暇 欄	専ら親族に対する支援となる活動を除く のあとで改行		橋本
サービス	3 - 24	(4)エ ※2	休業手当金 → 介護休業手当金		橋本
サービス	3 - 24	ページ番号	3二 → 3 _二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 26	(イ)c	住民票の記載事項証明(市町長の証明) → 住民票	提出は住民票でも問題ないが、教委から求められているものは住民票の記載事項証明なので、変更しない。 (住民票にすると、住民票を提出しなければいけないとなる)	橋本
サービス	3 - 26	(ウ)	という) → という _レ)		橋本
サービス	3 - 26	(5)の前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 26	ページ番号	3二 → 3 _二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 27	ウ	こと → こと _レ		橋本
サービス	3 - 27	(6)の前	行間を詰める		
サービス	3 - 27	(6)ア(ア)	, → , (4か所)		橋本
サービス	3 - 27	(6)ア(イ)	取得可能 _レ) → 取得可能)		橋本
サービス	3 - 27	(6)イの前	行間を詰める		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
サービス	3 - 28	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 29	ウの前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 29	ウ 見出し	再任用短時間職員 → 定年前再任用短時間職員		橋本
サービス	3 - 29	ウ(ア)b	6:27、4:51、3:53 → 6:27、4:50、3:53	半角、数字	竹原
サービス	3 - 29	ウ(ア)b 例2つ目	2時間55分 → 2時間54分		
サービス	3 - 29	ウ(ア)c	1日又は半日※又は時間 → 1日又は半日又は時間	※とは？	橋本
サービス	3 - 29	ウ(イ)a	フルタイム勤務職員 → 再任用フルタイム勤務職員		橋本
サービス	3 - 30	エの前	行間を詰める		
サービス	3 - 30の3	(イ)表 男性の育児参加休暇欄	産後8週間以内 → 産後1年まで	、石川県職員及び石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規則(昭和32年石川県人事委員会規則第4号)の改正。規則第11条第8号に規定する特別休暇(男性の育児参加のための特別休暇)	田端
サービス	3 - 31	(1) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		橋本
サービス	3 - 31	3(1)ア 表	育児休業をとる → 育児休業をする(2か所)	例規集・通知では「する」となっている。	
サービス	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができる職員 欄	※非常勤職員で育児休業をすることができるものは、次項(2)非常勤職員の育児休業を参照 → (追加)		
サービス	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができない職員 欄	・育児短時間勤務代替職員 ・臨時的に任用される職員 ・育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 ・定年の特例により勤務を延長されている職員 ・60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 ・任期付き短時間勤務職員(修学部分休業、高齢者部分休業、介護休暇及び部分休業の代替職員) ・非常勤職員	1年以内に任期が満了する職員及び定年により退職する職員の根拠は？ R4.9.30教職356号の通りに修正するか。 通知文、例規集、小穴法にも根拠なし。解釈の仕方？	橋本
サービス	3 - 31	(1)ア 表内 育児休業をとることができない職員 欄	60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 まれに60歳以降も管理職になるパターンもある	前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 31	(1)ア	育児休業をとることができない職員に追加→非常勤職員	以下例外あり 非常勤職員の育児休業 ①育児休業の対象となる職員 次のいずれにも該当する職員 ア 子が1歳6か月に達する日(以下「1歳6か月到達日」という。)までに任期(任期が更新される場合にあっては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者 ただし、子の出生後8週間(出生の日から57日間)以内の期間において育児休業をする場合は、次のいずれにも該当する職員 ア 子の出生後8週間(期間の末日から6月を経過する日まで)に任期(任期が更新される場合にあっては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者	前年度申し送りより 竹原
	3 - 31	(1)イ 見出し	期間 → 期間等	イに2回までの記述をするなら等を付ける	橋本
人事	3 - 31	3(1)イ 1段落目	(文章変更)	男性職員は子の出生の日から、女性職員は産後8週間の特別休暇後から、子が3歳に達する日(3歳の誕生日の前日)までの間で、原則2回まで取得することができる。男性職員はこれとは別に、出生後8週間以内の期間において更に2回まで取得することができる。	橋本
サービス	3 - 31	3(1)イ(ア)	1回 → 2回		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
サービス	3 - 31～37	根拠	(法令名等と条番号の間のスペースを半角に)		橋本
サービス	3 - 32	中点3、4つ目	(削除)?	最新の通知には見当たりません。確認をお願いします。	次年度 申し送り
サービス	3 - 32	ウ(ア)b	(削除)?	最新の通知には見当たりません。確認をお願いします。	次年度 申し送り
サービス	3 - 33	(2)	(2)非常勤職員の育児休業 → (追加) これに伴い、(2)～(7) は番号を繰り下げる	R4.9.30教職356号 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り	橋本
サービス	3 - 33	(2)ア(ウ)～(エ)	(ウ)育休法第6条の規定により採用された任期付職員 (エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き 管理監督者を占める職員 (オ)定年の特例により勤務を延長されている職員	変更、並び替え R4.9.30教職356号 60歳以降も管理職になるパターン	竹原
サービス	3 - 36	(6) ア	定年退職前5年以内 → 定年退職前10年以内	R5.3.10教職724号	前年度申し送りより
サービス	3 - 36	(6)イ 1段落目	定年から10年を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年の4月1日以後。ただし、定年退職日が令和13年3月31日以前の職員については、定年から下表の定年退職日に対応する年数を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年度の4月1日以後 → (追加)		前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 36	(6)イ 1段落目	(定年退職日に応じて定年から減ずる年数の表を追加)	定年の段階的延長 R5.4.1改正 定年退職日 年数 令和7年3月31日→6年 令和9年3月31日→7年 令和11年3月31日→8年 令和13年3月31日→9年	
サービス	3 - 36	(6)イ 1段落目	(削除し、以下の文を2段落目に追加) 定年退職前5年以内で、1週間の勤務時間の勤務時間の2分の1を超えない範囲で5分単位で取得できる。また、勤務しない時間は日単位で取得することもできる。		
サービス	3 - 36	(6)イ 根拠	修学休業条例 附則第19条 → (追加)		橋本
サービス	3 - 37	4の前	(1行空ける)		橋本
サービス	3 - 39	ア 根拠	20項 → 第20項		橋本
サービス	3 - 39	【私傷病休職】の図	成人病 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病		橋本
サービス	3 - 41	5(1)ア	(教員免許状更新講習の受講も含める) → (削除)		橋本
サービス	3 - 42	(1)	薄くする。 → 薄くすること又は 免除する。 → 免除することである。		橋本
サービス	3 - 43	(2)ア 根拠	(位置を調整)		橋本
サービス	3 - 43	8		電子記録による出勤管理について記載するか。	次年度 申し送り
給与・諸手当	3 - 45～74	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 46	(5) 根拠	給与規則 第2条、第20条 → 第2、20条	原稿作成要領のとおり	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 46	(4)イ(ア)、(イ)、(オ) (6)ア(イ) (6)イ(ア)	(インデントを修正)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	除く) → 除く。		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	成人病等 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病等		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(9) 中点2つ目	(上の中点に合わせる)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ 根拠	(第2を右寄せ)		橋本
給与・諸手当	3 - 48	(11)	60歳以降の給料の取り扱いについて 国家公務員の定年引き上げにおける取り扱いを踏まえ、 当分の間、特定日(60歳に達した日後の最初の4月1日。 以下同じ)以後、給料月額を7割水準とする措置を講ず る。(非常勤職員を除く) → (追加)	R4.10.13教職388号 給与条例附則 60歳以降の給料	竹原
給与・諸手当	3 - 50	(3)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 51	2(1)ウb	除く) → 除く _△)		橋本
給与・諸手当	3 - 52	(3)アb(a)～(c) (3)アド(b) (3)アe(a)～(d)	(2行目以降のインデント調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 53	[扶養手当を受けられる範囲 図]	この他 → このほか		橋本
給与・諸手当	3 - 53	(イ)f	受けたり、又は → 受けたり、 大学院修学休業 → 大学院修学休業等	自己啓発等休業、配偶者同行休業の間も支給されま せん	橋本
給与・諸手当	3 - 54	(ア)a	(別表参照) → (削除)	別表はどこに？	橋本
給与・諸手当	3 - 55	(ウ)a、b		分かりやすくする。認定なのか資格喪失なのか。	橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ア 2文目	場合は支給。 → 場合も支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)イ(エ)※	優先 _△ → 優先		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ	額 _△ → 額		橋本
給与・諸手当	3 - 58	ク	任期付職員を含む → 臨時的任用職員、短時間再任用 職員を除く。		橋本
給与・諸手当	3 - 59	コ 2段落目	平成24年4月1日改正 → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 60	〈別表2〉	[注1] → ・ [注2] → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 各欄和暦	提出年月日、受付確認年月日 4年 → X年 所得の合計額 3年 → X年	ここはX年じゃなくていいんでしたっけ？	橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 62	児童手当・特例給付額改定認 定請求書 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 65	c(b) 2文目	インターネット上で公開されている地図ソフト → ウェブ 上で公開されている地図サイト		橋本
給与・諸手当	3 - 68	ウ	案分 → 按分		橋本
給与・諸手当	3 - 70	ページ全体	(行間を狭める)	ページ設定or段落の設定で	橋本
給与・諸手当	3 - 70	(エ)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	カの前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	(7)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 75	[注]3の下	(3の前へ移動、協議のあとで改行)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 75	[注]3の下	(1字上げる)		
給与・諸手当	3 - 75	イ 本文	(1字下げる)		橋本
給与・諸手当	3 - 76	オ 提出書類	・添付書類 → (1字下げる) 配偶者との別居の～ → (1字下げる) 配偶者と別居することが～ → (1字下げる) その他～ → (2字下げる)		橋本
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 表内	義務養育学校 → 義務教育学校(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 根拠	特勤手当条例 → 特勤手当規則		橋本
給与・諸手当	3 - 78	(イ)表内 第1項第2号 業務の種類欄	実施するものに限る → 実施するものに限る。		橋本
給与・諸手当	3 - 80	事例2 手続・処置等欄 中点5つ目 2行目	(1字下げ)		橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例6、7勤務の割り振りをしない場合、8 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4、5に同じ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例7 勤務の割り振りをしない場合 手続・処置等欄	条例第10条の4第1項3号業務 → 対外運動競技等	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例8 手続・処置等欄	注:部活動手当の支給対象 → (削除) ・部活動手当のみ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 83	表	(上の線を調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	教員特殊業務手当実績簿 → 教員特殊業務手当		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(細い線を削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(○印 → 丸囲みの印)(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)	一律支給される。(出費がかさむ時期の生計補給的な手当) → 出費がかさむ時期の生計補給として、一律支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)ア 中点4つ目	含む) → 含む。		橋本
給与・諸手当	3 - 88	(ウ)b(c)	育児休業期間の2分の1の期間 → 育児休業期間の2分の1の期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。)		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)	勤務成績に応じて支給される。(能率給的な手当) → 能率給的な手当として、勤務成績に応じて支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	育児休業期間の全期間。 → 育児休業の全期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。)		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	部分休業をした職員については → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 92	期末手当・勤勉手当の除算について 表	(追加)	(育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。)を表内に追加	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11) 2文目、4文目	(削除)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)	白山保護自然センター中宮展示館 → 白山保護自然センター中宮展示館 白山自然保護センター白峰駐在地 → 白山自然保護センター白峰駐在地		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)	指定公署 → 指定公署(抜粋)	駐在所とかは載せなくてよいのでは？	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)金沢市 白山市	湯涌駐在所, しらやま交番, 河内駐在所…(削除)	駐在所・交番を削除	
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員 → (イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 1文目	(1字下げる)	「ただし、旧白山麓5村～」です	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(経過措置について記述を削除)	「※支給地域の～」から「H29.11～」まで	橋本
給与・諸手当	3 - 97～ 100	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	※	場合。 → 場合(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	(12)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 98	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)ア	[給料の月額+ 扶養手当] → [給料の月額+ 扶養手当]		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(15)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	・算出方法及び支給割合	・ → オ		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(16)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ウ 根拠	第4条 → 第5条	石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)ア(ア)a	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 104	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19)	60歳に達した日以後、非違によることなく退職した者の退職手当の基本額については、当分の間、退職事由を「定年退職」として算定する。また、職員が特定日から7割水準以下の給料月額となる場合等は、退職手当の基本額の計算方法の特例(ピーク時特例)を適用する。 → (追加)	根拠わかる方、追加してほしいです	竹原

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 105 の2	早見表 定年 31年	42.80375 → 42.31035		橋本 8/31追加
給与・諸手当	3 - 105 の3	ア、イの前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 107	期末手当勤勉手当表	1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 → 1.150 1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 1.150	支給率変更	竹原
給与・諸手当	3 - 107	期末手当 勤勉手当	(支給割合を変更)	定年前再任用短時間勤務職員に	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 特地勤務手当	※経過措置あり(令和2年3月31日まで) → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	所得制限限度額以上所得上限限度額未満 5,000円 → (一番下の行に追加)	特例給付は全部なくなったわけじゃありませんでした・・・昨年のミスです。	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	H24.6～ → R4.10～		橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 時間外勤務手当・休日 勤務手当	(縦の線を調整)	微妙にずれています	橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 通勤手当	ア、交通機関等利用者 → ア_交通機関等利用者 イ、交通用具 → イ_交通用具 ウ、併用者 → ウ_併用者	アと交通機関等利用者の間にスペース、のように	橋本
給与・諸手当	3 - 110 ～ 114 の2	ページ全体	(給料表を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①給料表改正	前年度申し 送りより
給与・諸手当	3 - 110～ 114の2	給料表 年の修正	平成31年 → 令和4年		
給与・諸手当	3 - 113	ページ番号	3 -113 → 3 -113		橋本
給与・諸手当	3 - 115		3 非常勤職員の報酬等 → (追加)	安江さんから案をいただいています →その場合大分類の番号が繰り下がる 会計年度の人(非常勤講師)の報酬を説明したページ がない。時間給ですよ、とか、手当はないですよ、とか。 例規集に根拠が載ってるような気がします。 P3-31の休暇の部分では、昨年度の改訂作業でこっそり 登場してますけどね。給与でなく報酬なので、入れる としたら、3-115の前か。	前年度申し 送りより 橋本
給与・諸手当	3 - 115 118	3 4	3 → 4 4 → 5	非常勤職員の報酬等を追加するなら番号繰り下げ	
給与・諸手当	3 - 115	3(1)ウ(7)	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 115	3(1)エ(1)	、 → 、(4か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 115 ～ 118 の2	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(I)	全額 → 税額(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(I)	退職手当等に対しては、退職所得控除額の → 退職手 当等に対しては、「退職所得の受給に関する申告書」を提出 した場合、退職所得控除額の		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(2) 3文目	125万円 → 135万円		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(3)	という) → という。)		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4) 2文目	均等割を <u>合計して計算する。</u> → 均等割が <u>ある。</u>		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 118	4(4)イ	均等割の計算 → 均等割の税額		橋本
旅費	3 - 119	1(1)	エ 同一地域 同一市町村のことをいう。(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	橋本
旅費	3 - 119	1(3) 1行目	旅6費 → 旅費		北出 橋本
旅費	3 - 119 ~ 128	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
旅費	3 - 120	(6)ア	時刻表等参照のこと → 時刻表等を参照のこと		橋本
旅費	3 - 120	(カ)	(カ) シーズン別指定席特急料金 最繁忙期に特急の普通車指定席を利用の場合、通常期の指定席特急料金に400円増し、繁忙期は通常期の指定席特急料金に200円増し、閑散期は通常期の指定席特急料金から200円引きとなる。利用する路線によって時期設定が異なるので注意する。 JR北海道内の在来線を利用の場合 JR東海内・JR西日本内(北陸新幹線を除く)・JR四国内・JR九州内 ・JR各会社間を利用の場合 JR九州内の在来線・西九州新幹線に閑散期の設定はない JR東日本内・北海道新幹線・北陸新幹線を利用の場合 ※ 新幹線と在来線の特別急行列車を乗り継ぐ場合は在来線の特別急行料金の半額が割引かれるが、その際はシーズン別割増(引)料金を含めた額が半額となる。(2024年3月16日乗車分より廃止予定)	JRのホームページより抜粋。少し作文しました。	
旅費	3 - 120	(キ)	(キ) 往復フリーきっぷ 発着駅ごとに料金が設定されている。有効期間や利用期間はそれぞれ異なる。 名古屋往復割引きっぷ ※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなったため、旅費計算に適用しないこととなった。(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	橋本
旅費	3 - 123	ウ 囲み内	(交通費規定額+宿泊料規定額のフォントの色)		橋本
旅費	3 - 124	(10)、(11)の前	行間を詰める		橋本
旅費	3 - 124	(10) 根拠	旅費のキャンセル支給に係る運用の → H28.10.6(県教委) 旅費のキャンセル料支給に係る運用の見直しについて H28.10.6 県教委	キャンセル料の「料」がない。 文書の発信日と発信者を先に示す。 発信者はカッコ書き。	前年度申し送りより
旅費	3 - 125	(12)イ	取扱 → 取扱い		橋本
旅費	3 - 125	表内 中能登 旅費計算書締切日	5日 → 7日		
旅費	3 - 127	(イ)	----- → -----	もう少し点線っぽくなったらいいいかな 半角ハイフンと半角スペースで	橋本
旅費	3 - 128	ウ(ア)	支給しない → 支給しない ₂		橋本
旅費	3 - 129	表内	名古屋往復割引きっぷ ※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなったため、旅費計算に適用しないこととなった。(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	
福利厚生	3 - 131	(1)、(2)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 131	(2)表 長期給付欄	(リフレッシュ給付金を追加)	概要欄「リフレッシュ休暇取得者に給付を行う。」 内容欄「リフレッシュ給付金」	橋本 正井
福利厚生	3 - 132	(3)の前	行間を詰める		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 132	↓	(3) 資格について ア(ア)(ウ)(エ)(オ)	↓ 文章を大幅に追加・変更したので、確認をお願いいたします。	北出
福利厚生	3 - 132	(3) 互助会会員の規定変更	会員から除く 2ヶ月以内の期間を定めて使用される教職員であって当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれないもの	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正 可能であれば共済組合・互助会の文章を変更し、できれば次年度へ申し送り	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員○	臨任職員 2ヶ月を超える任用期間が要件であることや、臨任職員に係る経過措置があるが、共済組合員となれば、同時に互助会員となる。	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	(3)' 組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員×	再任用短時間職員(週31時間勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務で3月のみ17日<旧嘱託職員>) 会計年度任用職員(週29時間～週20時間勤務<旧臨時職員・旧パート職員>)	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 臨任職員 (育休代替職員は変更なし)	組合員種別:一般組合員 → 短期組合員 長期給付(厚生年金):共済組合 → 日本年金機構 短期給付(健康保険):共済組合 → 共済組合	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 2ヶ月以内の期間を超えないもの	組合員種別:一般組合員 → 組合員資格なし 長期給付(厚生年金):共済組合 → なし(国民年金) 短期給付(健康保険):共済組合 → なし(国民健康保険)	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 2ヶ月の取扱い	①2ヶ月以内に期間を定めて使用される者であって、当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれない者 ②2ヶ月以内の期間を定めて使用されるものであって、当該定めた期間を超えて引き続き使用されることが見込まれるもの → 当初(採用時)から組合員資格を取得する ③上記①に該当した方が、引き続き使用され、合わせて2ヶ月を超えることが見込まれた場合 → 引き続き使用された時点から組合員資格を取得する	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(3文目に追加) 組合員には、主に一般組合員と短期組合員の2つの組合員種別がある。		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(追加)	(案) (ア) 一般組合員 主にフルタイムで勤務している常勤職員が該当する(臨時的任用職員を除く。)。共済組合が実施する全ての事業が適用される。 (イ) 短期組合員 臨時的任用職員等が該当する。短期給付、福祉事業が適用される。長期給付は適用されないため、日本年金機構の厚生年金に加入し、日本年金機構に保険料を納める。	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[共済組合] → ア 共済組合	講師・非常勤の共済組合 一般組合員/短期組合員	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	任期付任用職員・臨時的任用職員等 → 任期付職員等		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[互助会]	任期付任用職員 → 任期付職員		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[共済組合] → ア 共済組合		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 2段落目	(徴収されるのあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 3段落目	(徴収されるのあとに3文目を挿入し改行する)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 132	(4)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 137	(10)	ア 掛金免除要件について (ア)～(オ) イ 育児休業等に係る掛金等の免除例 R4.9.16(公共石) 育児休業期間中の掛金等の免除に係る改正についてを参照。	R4.9.16 公共石669号 育休中の掛金免除について追加で記載するか？ 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り →ア(ア)～(オ)、イを追加しました。確認をお願いします。	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)	ついて → ついても		橋本
福利厚生	3 - 133	(5) 提出書類	・被扶養者の認定申告書 → ・被扶養者認定申告書		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表内 共済組合の被扶養者の所得制限欄	障害年金受給者又は60歳以上の公的年金等の受給者 → 障害年金を受給する程度の障害がある又は60歳以上	R5.2.3 公共石1039号	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表	パート勤務を_始めた → パート勤務を始めた 被扶養者__取消し → 被扶養者取消し		橋本
福利厚生	3 - 135	(6)	死亡したとき、又は → 死亡したとき又は		橋本
福利厚生	3 - 135	(7)、(8)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄 被扶養者出産欄	42万円 → 50万円(産科医療補償制度対象分娩でない場合は48万8千円)(それぞれ2か所)	共済組合ホームページを確認しました。	橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄	母子手帳(写) → 母子手帳笠(写)		橋本
福利厚生	3 - 137	(10)、(11)、(12)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 137	(11)、(12)	(11)災害にあったとき → (11)_災害にあったとき (12)交通事故にあったとき → (12)_交通事故にあったとき		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 1文目	(ただし、昭和19年4月1日までに生まれた方は1割) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 2段落目	また、自己負担部分が一定の金額を越えた場合には、後日共済組合から一部負担金払戻金又は家族療養費附加金として給付される。 → (2文目に追加)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ウ 中点1つ目	「2_地方公務員の災害補償制度」 → 「2_地方公務員の災害補償制度」		橋本
福利厚生	3 - 139	オの前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)	医療費の自己負担補助については、 → (削除) 以下で求めた金額が給付される。 → (追加)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)b	が給付される。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	(給付される。のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	提出書類_(ア) → 提出書類__・(ア)	スペースを追加してカ(イ)の提出書類と揃える	橋本
福利厚生	3 - 139	キ	健康保険法適用外で <u>病氣治療</u> の目的で、はり・きゅう・あんま・指圧・マッサージを受けたとき → 健康保険法適用外で、はり・灸・あんま・指圧・マッサージ(<u>病氣治療</u>)を受けたとき		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 140	(14)、(15)	(14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき → (14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき (15)給料が支給されなくなったとき → (15)給料が支給されなくなったとき		橋本
福利厚生	3 - 140	(15)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 141	(16)表 教育貸付欄	(文章変更)	R4.8.8 事務連絡 「組合員、被扶養者又は被扶養者でない子、孫若しくは兄弟姉妹が小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校又は各種学校に入学又は修学するため資金を必要とする場合」	橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)	(17)永年勤続をしたとき → (17)永年勤続をしたとき (18)退職後の療養について → (18)退職後の療養について		橋本
福利厚生	3 - 143	2 3段落目	非常勤職員の場合は地方公務員災害補償法に基づく条例_労働者災害補償保険法、 → 非常勤職員の場合は労働者災害補償保険法により国が、		橋本
福利厚生	3 - 143	(1)の前	行間を詰める		橋本 8/31追加
福利厚生	3 - 144	表 天災地変欄	公務上 → 公務上とする		橋本
福利厚生	3 - 144	(2)の前	行間を詰める		橋本 8/31追加
福利厚生	3 - 144	(2) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		前年度申し送りより
福利厚生	3 - 144	(2)	往_復 → 往復		橋本
福利厚生	3 - 144	(2) 表内 勤務場所欄	限る) → 限る。)		橋本
福利厚生	3 - 148	表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等(2か所)		橋本
福利厚生	3 - 149	(イ)表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等		橋本
福利厚生	3 - 154 ～ 160	ページ番号	(下げる)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	昭和61年4月の改正で、国民年金はその他の公的年金制度の基礎となる年金制度となり、 → 国民年金は公的年金制度の基礎となる年金制度で、		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	厚生年金に二重に加入している。 → 厚生年金保険にも加入している。		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 民間サラリーマン	(報酬比例) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 公務員等	退職等年金給付 → 年金払い退職給付		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	(定額部分) → (削除)	基礎年金＝定額部分ではない	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	厚生年金(報酬比例部分) → 厚生年金(報酬比例)	民間も公務員も厚生年金が報酬比例なのは同じ。	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 表下	国民年金及び年金 → 国民年金及び厚生年金		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(ア)、(イ)、(ウ)	国民年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)(3か所)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 155	(2)ア(イ)	者に対して → 場合に		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)イ(ア)	共済年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 全文	本来、老齢厚生年金は65歳からの受給となっているが、受給開始年齢が引き上げられたことの経過措置として特別支給の老齢厚生年金が支給されている。受給開始年齢は生年月日と性別に応じて異なる。(文章変更)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 2文目	(削除し、受給要件を箇条書き)	受給要件 ・厚生年金被保険者期間(注1)が1年以上あること ・受給資格期間が10年以上あること	橋本
福利厚生	3 - 156			経過の職域加算、年金払い退職給付についての記述がない 可能であれば文章を追加し、できれば次年度へ申し送り	橋本
福利厚生	3 - 156	(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目	60歳から65歳までの間支給。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目 文末	3-156(イ)参照 (追加)	(文の終わりに3-156(イ)参照?を追加)	橋本
福利厚生	3 - 157	エ	繰り上げ支給 → 繰り上げて受給		橋本
福利厚生	3 - 157	オ 1文目	(文章変更)	年金の受給開始を66歳から75歳までの間に先延ばしすることができる。	橋本
福利厚生	3 - 157	オ	(することができる。のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 157	オ	1ヵ月 → 1ヵ月		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)ア	老齢基礎年金の支給額は777,800円(令和4年度水準)。 → 令和5年度の支給額は67歳以下は795,000円、68歳以上は792,600円。	(1文すべて変更)	橋本
福利厚生	3 - 157	(6)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)ア	老齢厚生年金 → 老齢年金		橋本
福利厚生	3 - 158	(8)、(9)、(10)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(10)イ 2文目	但し、 → ただし、		橋本
福利厚生	3 - 159	(2)、(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)ア	臨時的任用職員を除く → 短時間再任用職員、会計年度任用職員を除く。		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)イ	できるものであること → できる。		橋本
福利厚生	3 - 159	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(4) 2段落目	通帳はなく契約証書のみで → 通帳の発行に代えて契約証書が交付される。 財形貯蓄残高報告書が年2回契約金融機関より → また、年2回財形貯蓄残高報告書が、金融機関より		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 160	中点2つ目	又は _レ → 又は(コンマ削除)		橋本
福利厚生	3 - 160	3行目	預金 → 預入		橋本
福利厚生	3 - 160	(5)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(5) 表内 一般財形貯蓄 要件違反の課税	(斜線入れる)		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)	雇用・能力開発機構 → 勤労者退職金共済機構		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)○1つ目	特に定められている。 → 定められている。		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)ア〜ウ	もの _レ → もの(3か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(3)ア 根拠	(義務教育費国庫負担法の倍率を80%に)(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	※表内 交付金	<u>〃</u> 改築 → <u>学校給食施設</u> 改築	▲「〃」ではなく具体的に表記してはどうか？	小林
校費・学校予算	4 - 2	イ 根拠	(学校職員給与負担法の倍率を90%に)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	※表内 交付金	地震防災(耐震補強) → 補強 地域学校連携施設整備1/3 → (削除) 木の教育環境整備1/3 → (削除)		橋本
校費・学校予算	4 - 3	2(3)ア 根拠	地方自治法 <u>第209. 209条 2</u> → 第209条	209条全体が本文の根拠になっていますので、包括的に。 どうせ、209条は1項と2項しかないのです。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	(4)	概ね → おおむね		橋本
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア 根拠	地教行法 第25. 25条 4 → 第25条 1. 4	この表記の方がスマート。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 5	(3)	保証 → 保障		橋本
校費・学校予算	4 - 6	(5)	はかり → 図り		橋本
校費・学校予算	4 - 7	イ	かかる → 係る		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ	行う。 → 行う <u>ことである</u> 。		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ 3文目	支払い → 支払		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2段落目	手続き → 手続(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2〜3段落目	支払い → 支払(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(10)	おこなわれて → 行われて		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11)	すでに → 既に		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11) 2文目	石川県公立小中学校教育事務研究会 → (文の始めに追加)		橋本
校費・学校予算	4 - 9	4(1)ア	備え付け → 備付け		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
校費・学校予算	4 - 10	1行目	とする) → とする _レ)		橋本
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 1段落目	お慶び → お喜び		小林
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 3段落目	致します → <u>いた</u> します		小林
校費・学校予算	4 - 12	エ 例内 2段落目	致します → <u>いた</u> します		小林
校費・学校予算	4 - 12	(4)ア	含む) → 含む _レ)		橋本
校費・学校予算	4 - 13	イ(イ)※	ある) → ある。 _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 15	(2) 根拠	(削除)	「H14(文科省)第14,15号」は、あまりにもざっくりし過ぎたいい加減な書き方。何という通知の14号、15号なんでしょう？いまさら追跡できないのであれば、消しませんか。20年も前の通知ですし。 →「H14(文科省)第14,15号」はそれぞれ「小学校設置基準」「中学校設置基準」のことなので根拠は削除しましょう(橋本)	前年度申し送りより
学校の施設・設備	4 - 15	1(2)ア(ウ) 全文	(校舎には少なくとも教室(普通教室、特別教室等)、図書室、保健室及び職員室を備えるものとする。また、必要に応じて特別支援学級のための教室を備えるものとする。)(文章変更)		橋本
学校の施設・設備	4 - 16	イの前	行間を詰める		小林
学校の施設・設備	4 - 16	イ	(削除)	もういらない	橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)e、i	(削除)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f～o	(e、iの削除に伴い番号繰り上げ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f	(d) バリアフリー化等施設整備工事(追加) (g) 防犯対策施設整備工事 → (e) 防犯対策施設整備工事 (f) 特別防犯対策施設整備工事(追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 18	(b)1文目	ティームティーチング → ティーム <u>ニ</u> ティーチング (中点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 18	イ(ア) 根拠	(理科教育振興法施行令を倍率80%に)		橋本
学校の施設・設備	4 - 19	ウ(エ)	利用するときは、学校の管理機関と… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 19	カ(イ)a	改_造 → 改造(スペース削除)		小林
学校の施設・設備	4 - 20	エの前	行間を詰める		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	キ	反する結果にもなるので、学校構内に… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)ア	除く) → 除く _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(ア)	定める → 定める _レ (句点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(エ)	明確にする → 明確にする _レ (句点追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	いう) → いう _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校の施設・設備	4 - 23	(ウ)e※	kℓ → kL(2か所)		橋本
学校の施設・設備	4 - 23	(エ) 1文目	場合があるので、 <u>注意</u> が必要である。 (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 24	キ(イ)	学校の実態に応じて定め、 <u>実施</u> する… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 25	四角囲み 左から2個目	学校内で処理できる <u>こと</u> → 学校内で処理できる <u>もの</u>		小林
学校の施設・設備	4 - 25	(8)イ	含む) → 含む <u>。</u>		橋本
学校の施設・設備	4 - 25	(8)ウ 1文目	健康上よい環境ではないため、 <u>学校</u> などの… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 26	オ(ア)	<u>上司</u> の指揮 → <u>校長</u> の指揮	上司ではない、文言に言い換え	小林
学校の施設・設備	4 - 26	(10)	(10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理 → (10) <u>児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理</u>		橋本
学校の施設・設備	4 - 27～ 28	ア～イ		内容が古いので更新したい	次年度 申し送り
学校の施設・設備	4 - 27	2段落目	(2行目を1字上げる)		橋本
学校の施設・設備	4 - 26～ 28	ア(ア)～イ(イ)b	こと → こと <u>。</u> (句点追加)(18か所)		小林
学校の施設・設備	4 - 27	ア(ウ)b	非常時においては、 <u>常に</u> 複数の教職員で対応する体制をとるなど、 <u>あらゆる</u> … (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 28	(カ)c	取り組み → 取組		橋本
学校の施設・設備	4 - 28	※3	火災以外の緊急時において使用したときは、 <u>その</u> 緊急内容と火災でない旨を当該報知を受けた人々に早急に周知するとともに、 <u>消防機関</u> に速やかに連絡する等の配慮がなされること。(読点追加)	読点が一つも無い文章のため、入れました。	小林
物品	4 - 29	(例)	(例、 <u>金沢市</u>) → (例、 <u>金沢市</u>) (3か所)		
物品	4 - 29	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 29	1(1)ア	その他 → <u>その他の</u>		橋本 8/31追加
物品	4 - 29	1(1)ア	除く) → 除く <u>。</u>		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	1万円 → 5万円		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	考古資料並びに図書館等で保存する蔵書を除く。) → 考古資料を除く。)又は2年以内に消費するもの		橋本
物品	4 - 29	1(3)イ	物 → もの		橋本
物品	4 - 30	見出し	(4) <u>物品・分類</u> → (4) <u>分類・整理</u>	目次の文言に合わせる	前年度申し 送りより
物品	4 - 30	(4)	物品出納員又は物品取扱員 → 物品出納員		橋本
物品	4 - 30	2(1) 囲み内(2)、(3)	(文章1字ずつ下げる)		橋本
物品	4 - 31	(2)の前	詰める		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
物品	4 - 31	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 33	ページ番号	(下げる)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 1	(1)、(2)の前	行間を詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 1	2(1)(2)	(文章1字ずつ下げる)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 3	(3)の前	行間を詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	5～	タイトル部分:職員一覧 各項目:該当する職員をチェック 様式集より出力:(各ページ下部に記述する) (統一)	ページによって表記がバラバラなのが気になります (職員の選択欄にチェックが良いかな?) (職員?職員の確定?) 統一 各事務所によっては出力様式以外を使用している	橋本
給与・共済互助会システム	5 - 7	⑤	画面がでる → 画面が出る		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	クリック。 → クリック		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 10	④	(フォント修正)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 18		…保管し、コピーを本人に渡す。 → …保管する。		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管する → 保管する _△ (句点追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点2つ目、3つ目	(受け取るのあとで改行せずに詰める、中点3つ目削除)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部の四角囲み内 2行目	申告書 _△ を出力。 → 申告書 _△ を出力する _△ 。		小林
給与・共済互助会システム	5 - 22	⑩の前	「 → [橋本
給与・共済互助会システム	5 - 24	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	⑥→⑤		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	(2, 3行目を1字下げ)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 29	一覧表内 その他 中点2つ目	変更があったときは変更内容を → 変更があったときは _△ 変更内容を (コンマ追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 30	一覧表内 3月	削除	空欄になっている。残しておく必要はあるか?	小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 29～30 用途等欄	職員確認用 → 職員記入用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 31 用途等欄	職員配付用 → 職員記入用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 34	3(1)(2)	(文章1字ずつ下げる)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(エ)	連絡する) → 連絡する _△)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(カ) 2文目	読点をコンマに変更(2か所)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イウ	(文章1字ずつ下げる)		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	所属別帳票を選択し各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書はミシン線入りの用紙に印刷し該当職員に → 所属別帳票を選択し、各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書は、ミシン線入りの用紙に印刷し、該当職員に(コンマ追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	<u>忘れずに</u> 出力する → 出力する		橋本
学校事務用語の解説	5 - 36	「及び」と「並びに」 2文目	ふつつ → 普通		小林
学校事務用語の解説	5 - 37	ガイドライン	(説明文1字下げる)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	中学校・高等学校 → 中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	新学習指導要領のスケジュール～令和3年4月から中学校で全面实施 → (削除) 現行の学習指導要領は平成29年3月31日に告示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から実施されている。 → (追加)	移行スケジュールのうち、周知・徹底、移行措置開始は削除しても良いのでは	橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	課税対象給与額	除く) → 除く。)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	寡婦・寡夫	又は妻(夫) → 又は去(妻)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 41	教員免許更新制 2段落目	仕組みが始まる → 仕組みが始ま <u>った</u>		小林 橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 1文目	含む) → 含む <u>ま</u>)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 3文目	(削除)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	(追加)	36協定 → (追加)	労働者に法定労働時間を超えて労働させる場合や、休日労働をさせる場合に、労働者と結ぶ取り決めのことであり、労働基準法第36条に定められた労使協定であることから、通称「36(サブロク)協定」と呼ばれている。	前年度申し送りより 竹原
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法	(国庫補助金とコンプライアンスの間に移動、インデント調整)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法 4文目	施行される → 施行されて <u>いる</u>		小林
学校事務用語の解説	5 - 46	(追加)	地方教育費調査 → (追加)		前年度申し送りより
学校事務用語の解説	5 - 47	チーム・ティーチング	<u>チ</u> ーム・ティーチング → <u>ティ</u> ーム・ティーチング (通学区域の弾力的運用の次へ移動)		小林
学校事務用語の解説	5 - 47	(追加)	統合型校務支援システム → (追加)		小林
学校事務用語の解説	5 - 48	ねんきん特別便	ねんきん特別便 → ねんきん <u>定期便</u> (用語変更及び文章変更)	社会保険庁(当時)が公的年金の加入記録の確認を目的として、平成19年12月から平成20年3月までに加入者・年金受給者に送付した通知書。これに併せて、公立学校共済組合からも共済年金の加入記録の確認のため公務員共済ねんきん特別便が送付された。	橋本
学校事務用語の解説	5 - 50	メンタルヘルス	このため産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ心身の健康に → このため、 <u>産業界や労働組合でも</u> 身体の健康とあわせ、 <u>心身の健康に</u>		小林
学校事務用語の解説	5 - 50の2	(追加)	リフレッシュ休暇 (追加)	互助会にリフレッシュ給付金があるが、リフレッシュ休暇については一切記載がない。 可能であれば文章を追加、できなければ次年度へ申し送り	次年度申し送り
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 56	大分類-人事 表内各種手当認定簿(退職/異動者)欄	現況届等通勤届 → 現況届等、 <u>通勤届</u>		橋本
物品分類表	5 - 62～66	物品分類表	(改正のため差替え)	修正案できました	橋本
教科書事務・質疑応答	5 - 72	4つ目の【答】	冒頭スペース 1文字分削除		小林

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
教科書事務・質疑応答	5 - 73	1つ目の【答】	(削除)	▲現在は理科の給与の仕方が学年ごとの給与になっている。削除してもよいのではないか？	小林
事務職員研修体系(通知)	5 - 75	ページ番号	(中央揃えにする)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1追加変更分

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名	
就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 850円 → 1,080円、中学校 770円 → 1,000円	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)		
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表内	小学校 同学年の児童で編制する学級 第1、2、3学年 35人 → (削除) 小学校 同学年の児童で編制する学級 第4学年～第6学年 40人 → (削除)	義務標準法 第3条2 に合わせて	北出	誤字訂正
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編制の基準(抜粋) 表下	※ 小学校の同学年の児童で編制する学級編制の基準は、令和3年度から令和7年度にかけて、段階的に40人から35人に引き下げられる。(追加)	経過措置について		誤字訂正
文書・公印	1 - 29	ウ 2段落目	また、学校においては → 学校においては、		小林	コンマ追加
文書・公印	1 - 29	ウ(7)ㄐ	(目的外利用)するときや学校以外に提供(外部提出)するときは → (目的外利用)するときや、学校以外に提供(外部提出)するときは、(コンマ追加)		小林	コンマ追加
調査統計	1 - 31	(1) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学(短期大学を含む)、高等専門学校、専修学校及び各種学校	小林	学校種訂正
調査統計	1 - 31	(3) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校	小林	学校種訂正
人事	3 - 1	1(1)ア(イ)	奥能登教育事務所管内の場合 → 例:奥能登教育事務所管内	例がページによって表記が違う 1-24、2-16:例:○○ 1-26、1-27、1-28、4-29:例 ○○ 3-3、3-4、3-5、3-6:例:○○の場合 3-19:例 ○○による場合	田端	E,F列変更
人事	3 - 3～5	(例)	例:奥能登教育事務所管内の場合 → 例:奥能登教育事務所管内(3か所)			F列変更
人事	3 - 4	オ(7)ㄐ(b)	(a)に該当する者として再任用されたことがある者→(a)に該当する者として暫定再任用または旧地方公務員法の規定による再任用をされたことがあるもの		田端	E,F列修正
人事	3 - 6	(4)ウ 1文目	職員の定年は60歳とする。 → 職員の定年は、令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳とする。		竹原 橋本	F列変更
	3 - 6			○○参照もページによって表記が違う 要確認	橋本	この行はなくてもいいかな？
人事	3 - 6	(5)	(5)役職定年制 → (追加) これに伴い、(5)～(11)は番号を繰り下げる	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の2～第22条の4 役職定年制による降任	前年度申し送りより	この2行はドッキングし、上の行に統一
人事	3 - 6～10	(5)～(11)	(5) → (6) 以下(11)までを番号繰り下げ	(5)追加のため変更		
服務	3 - 14	(7) 根拠	(給与規則の文字間隔を標準に)		橋本	この行は削除
服務	3 - 16～37	付与単位・付与される取得単位・取得できる	付与単位・付与される。	統一してはどうか。 1日、半日又は1時間 ○○の付与単位 など 付与されると取得できるでは意味が違うので修正しました。	正井	未解決
服務	3 - 17	ウ※2つ目		根拠は？ 例規集等でも根拠は見つかりませんでした。例規集の条文を解釈してハンドブックに記載した？	橋本	未解決
服務	3 - 22	表内 ボランティア休暇 欄	専ら親族に対する支援となる活動を除く のあとで改行		橋本	追加
服務	3 - 25	(ウ)		2行目の文字間が詰まっているように見えるので要確認。 1行目と同じだったので、修正なし。	橋本	この行は削除
服務	3 - 26	(イ)ㄐ	住民票の記載事項証明(市町長の証明) → 住民票	提出は住民票でも問題ないが、教委から求められているものは住民票の記載事項証明なので、変更しない。 (住民票にすると、住民票を提出しなければいけないとなる)	橋本	この行は削除
服務	3 - 33	(2)	(2)非常勤職員の育児休業 → (追加) これに伴い、(2)～(7)は番号を繰り下げる	R4.9.30教職356号 可能であれば文章を追加し、できれば次年度へ申し送り	橋本	この2行はドッキングし、上の行に統一
人事	3 - 32	項目の番号を変更	(2)育児短時間勤務職員 → (3)育児短時間勤務職員、以下の項目も1つずらす。	(2)非常勤職員の育児休業を追加のため	田端	
人事	3 - 27	(6)の前	行間を詰める		田端	E,F列変更
人事	3 - 29	ウ(7)ㄐ 例2つ目	2時間55分 → 2時間54分		田端	E,F列変更

修正箇所
A

修正箇所
C

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.12.1追加変更分

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名	
人事	3 - 30	エの前	行間を詰める		田端	E.F列変更
服務	3 - 30の3	(イ)表 男性の育児参加休暇欄	産後8週間以内 → 産後1年まで	・石川県職員及び石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規則(昭和32年石川県人事委員会規則第4号)の改正。規則第11条第8号に規定する特別休暇(男性の育児参加のための特別休暇)	田端	E.F列変更
人事	3 - 31	3(1)ア 表	育児休業をとる → 育児休業をする(2か所)	例規集・通知では「する」となっている。	田端	E.F列変更
人事	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができる職員 欄	※非常勤職員で育児休業をすることができるものは、次項(2)非常勤職員の育児休業を参照 → (追加)			追加
服務	3 - 31	3(1)ア 表 育児休業をとることができない職員 欄	・育児短時間勤務代替職員 ・臨時的に任用される職員 ・育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 ・定年の特例により勤務を延長されている職員 ・60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 ・任期付き短時間勤務職員(修学部分休業、高齢者部分休業、介護休暇及び部分休業の代替職員) ・非常勤職員	1年以内に任期が満了する職員及び定年により退職する職員の根拠は？ R4.9.30教職356号の通りに修正するか。 通知文、例規集、小六法にも根拠なし。解釈の仕方？	橋本	E.F列変更 全部箇条書きしなくてもまとめて書いていいかもしれませんが...
人事	3 - 31	3(1)イ 1段落目	(文章変更)	男性職員は子の出生の日から、女性職員は産後8週間の特別休暇後から、子が3歳に達する日(3歳の誕生日の前日)までの間で、原則2回まで取得することができる。男性職員はこれとは別に、出生後8週間以内の期間において更に2回まで取得することができる。	橋本	追加
服務	3 - 31	3(1)イ(7)	1回 → 2回		橋本	追加
服務	3 - 31～37	根拠	(法令名等と条番号の間のスペースを半角に)		橋本	追加
服務	3 - 32	中点3、4つ目	(削除)？	最新の通知には見当たりません。確認をお願いします。	次年度 申し送り	追加
服務	3 - 32	ウ(7)b	(削除)？	最新の通知には見当たりません。確認をお願いします。	次年度 申し送り	追加
服務	3 - 33	(2)ア(ウ)～(エ)	(ウ)育児法第6条の規定により採用された任期付職員 (エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督者を占める職員 (オ)定年の特例により勤務を延長されている職員	変更、並び替え	竹原	この2行は ドッキング し、上の行 に統一 F列変更 しました
服務	3 - 33	(2)ア	(エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 60歳以降も管理職になるパターン	前年度申し 送りより 竹原	
服務	3 - 33	(2)ア(エ)	(エ) → (オ)	通知どおりの順番で書くとうなります。	前年度申し 送りより	
服務	3 - 36	(6)イ 1段落目	定年から10年を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年の4月1日以後。ただし、定年退職日が令和13年3月31日以前の職員については、定年から下表の定年退職日に対応する年数を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年度の4月1日以後 → (追加)		前年度申し 送りより 竹原	E.F列変更
服務	3 - 36	(6)イ 1段落目	(定年退職日に応じて定年から減ずる年数の表を追加)	定年の段階的延長 R5.4.1改正 定年退職日 年数 令和7年3月31日→6年 令和9年3月31日→7年 令和11年3月31日→8年 令和13年3月31日→9年		E.F列変更
服務	3 - 36	(6)イ 1段落目	(削除し、以下の文を2段落目に追加) 定年退職前5年以内で、1週間の勤務時間の勤務時間の2分の1を超えない範囲で5分単位で取得できる。また、勤務しない時間は日単位で取得することもできる。			追加 F列の記 述、これ でいいす かね？
服務	3 - 36	(6)イ 根拠	修学休業条例 附則第19条 → (追加)		橋本	追加
服務	3 - 43	8		電子記録による出勤管理について記載するか。	次年度 申し送り	
給与・諸手当	3 - 115		3 非常勤職員の報酬等 → (追加)	安江さんから案をいただいています →その場合大分類の番号が繰り下がる 会計年度の人(非常勤講師)の報酬を説明したページがない。時間給ですよ、とか、手当はないですよ、とか。例規集に根拠が載っているような気がします。 P3-31の休暇の部分では、昨年度の改訂作業でこっそり登場してますけど。給与でなく報酬なので、入れるとしたら、3-115の前か。	前年度申し 送りより 橋本	参照ページの記載(P3-●●参照)→(P3.-70参照)、(P3-●●参照)→(P3.-87参照)
給与・諸手当	3 - 110～114の2	給料表 年の修正	平成31年 → 令和4年			修正 箇所D

教育事務ハンドブック

令和5年度

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 850円 → 1,080円、 中学校 770円 → 1,000円	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)	
		全体	項目の各細別の間にある行間を詰める	を入れる。各細別の「ア」や「(ア)」なども同様に処理する。原稿作成要領に明記するか。 下記例の様に間に行間を空けない。 例) 設又は公認の機関である。 (1) 学校の種類 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	前年度申し送りより
		全体	市町学校管理規則 市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則 各市町立学校管理規則 (表記を統一)	根拠の「学校管理規則」がページによって表記が違う 1-17、3-2、3-6、3-19、3-20:市町学校管理規則 2-4、2-34:市町立学校管理規則 2-10:各市町立学校管理規則 市町学校管理規則で統一 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
		全体	例: ○○ 例: ○○ → 例: ○○ 例: ○○による場合 (表記を統一) 例: ○○の場合	例がページによって表記が違う 1-24、2-16:例: ○○ 1-26、1-27、1-28、4-29:例: ○○ 3-3、3-4、3-5、3-6:例: ○○の場合 3-19:例: ○○による場合 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
		全体		○○参照もページによって表記が違う 要確認 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
学校及び学校事務	1 - 1	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編成の基準(抜粋) 表内	小学校・同学年の児童で編成する学級 第1、2、3学年 35人 → (削除) 小学校・同学年の児童で編成する学級 第4学年～第6学年 40人 → (削除)	義務標準法 第3条.2 に合わせて	北出
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編成の基準(抜粋) 表下	※ 小学校の同学年の児童で編成する学級編成の基準は令和3年度から令和7年度にかけて、段階的に40人から35人に引き下げられる。(追加)	経過措置について	
学校及び学校事務	1 - 5	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 6	(5)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 6	(5) 2段落目2文目	運営に関し相互に → 運営に関し、相互に(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 7	1行目	取り組み → 取組	公用文の書き方	橋本
学校及び学校事務	1 - 7	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 7	ウ)の後ろ	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点3つ目 2文目	地教行法は教育機関である → 地教行法は、教育機関である(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点4つ目	・ → イ	任命権者は位置づけとはちょっと違うかな?	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目の前	ウ 学校事務職員の職務規定 → (追加)	見出しの追加	橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目	平成29年4月の改正 → 平成29年4月の <u>学校教育法</u> の改正		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	イ 見出し	イ → エ		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	1～2行目	ただし指定都市 → <u>ただし</u> 指定都市 事務は当該指定都市 → <u>事務は</u> 当該指定都市 (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 9	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	(3)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 10	(4) 1文目	職務の範囲は自治体や → 職務の範囲は <u>自治体</u> や (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 10	下部 四角囲み内 6文目	職務を遂行して行けるよう → 職務を遂行して <u>い</u> けるよう		小林
学校及び学校事務	1 - 10	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 11	(5)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 1文目	学校のうちその指定する → 学校のうち <u>その</u> 指定する (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 全文	共同処理することが当該事務の効率的な処理に資するものとして政令で定めるものとは、以下の通りである。 ①教材、教具その他の備品の共同購入に関する事務 ②教職員の給与及び旅費の支給に関する事務 ③そのほか共同学校事務室において共同処理することが効果的な処理に資するものとして教育委員会規則で定める事務 (文章変更)	削除し、例規に合わせて箇条書き	小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 根拠	地教行法施行令第7条の2 → (追加)		橋本
文書・公印	1 - 15	(1)ア 2文目	意思決定が行われ統一的な → 意思決定が行われ <u>統一的な</u> (コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 15	(2)ア(イ) 1文目	何れか → いずれか		小林 橋本
文書・公印	1 - 16	(3)イ(ア) 1文目	(4字分 字下げ)		小林 橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(ア)	文書取扱担当者が確認して受け取ることをいう。 → <u>文書取扱担当者が受領したのち一定の手続きに従って整理し、文書の到達を確認することであり、通常、受付という。</u>		橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(イ) 見出し、1文目	(削除)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ) 見出し	(ウ) → (イ)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ)※公文書の流れの例	各担当者又は供覧 受付 の線を消す	受付と各担当者又は供覧の間の線は？	橋本
文書・公印	1 - 18	イの前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 19	(b) 1文目	個人の場合は <u>その</u> 氏名 → 個人の場合はその氏名 (コンマ削除)		橋本
文書・公印	1 - 20	(c) 1文目	かぎ括弧等 → かぎ括弧等(中点削除)		小林
文書・公印	1 - 20	(d)の前	行間を詰める		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
文書・公印	1 - 20	(ウ)a	共に → とともに	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ア) 2文目	且つ → かつ		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 2段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 3段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 1段落目	保存文書が保存期間を経過したとき、 → 保存期間を経過した文書を		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 2段落目	漏洩 → 漏えい		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 ○4つ目	おこない、 → 行い、		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 最終段落	改行しない	▲また、近年、…の1文は「改行」ではなく、前文に続けられよいのではないか？	小林
文書・公印	1 - 24	2(2) 2段落目 根拠	(各市町教委公印規則の倍率を90%に)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2行目	(1字分 字下げ)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2文目	改行しない		橋本
文書・公印	1 - 25	3(1) 4段落目	保護法(条のあとで改行せずに詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(2)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)ア 1文目	「情報公開制度」 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)イ 見出し	「情報公開制度」 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 26	(例)	(例_ → (例_ (4か所)		
文書・公印	1 - 26	ウ 1文目	文書等に関しては石川県情報公開条例 → 文書等に関しては_石川県情報公開条例(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ) 1文目	磁気方式その他 → 磁気方式_その他(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ)	以下同じ。 → (削除)		橋本
文書・公印	1 - 26	ウ(エ)b	個人が識別され、又は識別される情報 → 個人のプライバシーを侵害するおそれのある情報	石川県ホームページ	橋本
文書・公印	1 - 27	(例)	(例_ → (例_ (4か所)		
文書・公印	1 - 28	(4)ア 1文目	取扱 → 取扱 _い	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(例)	(例_石川県条例) → (例_石川県条例)		
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(ア) 1文目	もの_ → もの(句点削除)		橋本
文書・公印	1 - 29	イ 3段落目	開示請求が増え個人情報保護審査会 → 開示請求が増え_個人情報保護審査会(コンマ追加)		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
文書・公印	1 - 29	イ 4段落目	請求されていることから地方自治体の → 請求されていることから、地方自治体の(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 1文目	よく話を聞きその内容が → よく話を聞き、その内容が(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	ふむ → 踏む		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2段落目	<u>また、</u> 学校において → 学校において		小林
文書・公印	1 - 29	ウ(ア)c	(目的外利用)するときや学校以外に提供 → (目的外利用)するときや、学校以外に提供(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	手続き → 手続		橋本
文書・公印	1 - 29	ウ 3段落目 2文目	関わる → かかわる	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 30	(石川県内の事例)	(1字分 字上げ)		橋本
調査統計	1 - 31	(1) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、 <u>幼保連携型認定こども園</u> 、小学校、中学校、 <u>義務教育学校</u> 、高等学校、 <u>中等教育学校</u> 、大学、 <u>短期大学</u> 、 <u>高等専門学校</u> 、 <u>特別支援学校</u> 及び各種専修学校等	小林
調査統計	1 - 31	四角囲み内 中点1つ目	廃止、 <u>教員養成計画</u> 等具体的な → 廃止等具体的な		小林
調査統計	1 - 31	(2)	(削除)	地方教育費の調査は用語解説のページに移動	前年度申し送りより
調査統計	1 - 31 32	(3) (4) (5) (6)	(3) 学校教員統計調査 → (2) 学校教員統計調査 (4) 教職員調査書 → (3) 教職員調査書 (5) 勤務条件等に関する調査 → (4) 勤務条件等に関する調査 (6) その他 → (5) その他	(2)削除により変更	
調査統計	1 - 31	(3) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園、 <u>幼保連携型認定こども園</u> 、小学校、中学校、 <u>義務教育学校</u> 、高等学校、 <u>中等教育学校</u> 、大学、 <u>短期大学</u> 、 <u>高等専門学校</u> 、 <u>特別支援学校</u> 及び各種専修学校等	小林
調査統計	1 - 31	(3) 根拠	(規則名を1行にする、1行分上げる)		橋本
調査統計	1 - 31	(3) 2段落目	この調査には、以下の調査がある。 → (追加)		橋本
調査統計	1 - 32	(4)	<u>勤務する教職員</u> → <u>籍を置く教職員等</u>	校医は・・・？	橋本
調査統計	1 - 32	(2)の前	行間を詰める		正井
調査統計	1 - 32	(3)の前	行間を詰める		正井
調査統計	1 - 32	(4)の前	行間を詰める		正井
学籍	2 - 1	1 3段落目	手続き → 手続(2か所)	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 1	2 2段落目	転学の場合は、当該児童…(中略)…指定する <u>など入学の場合と同じである。</u> → 転学の場合は、 <u>入学の場合と同じく</u> 当該児童…(中略)…指定する <u>。</u>	入学の場合と同じであると分かるように変更	橋本
学籍	2 - 1	2(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 2	(4) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学籍	2 - 2	(4)イ(イ)	教科用図書給与証明書を <u>保護者</u> に → 教科用図書給与証明書を保護者に(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	指導要録写 → 指導要録 <u>の</u> 写		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	すでに → 既に		橋本
学籍	2 - 3	4	盲・ろう・知的障害・肢体不自由及び病弱者 → <u>視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者</u> (2か所)	1文の中に及びがたくさんあるので	橋本
学籍	2 - 3	4(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 4	5(1)エ	市町教育委員会への <u>卒業</u> 者 → 市町教育委員会への卒業者(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 4	5(2)ア	生徒についても中学校卒業程度 → 生徒についても <u>中学校卒業程度</u> (コンマ追加)		小林
学籍	2 - 4	5(2)ア、イ	(できれば文章変更)	H15.3.31号外 文科省令12号 可能であれば文章を変更し、できなければ次年度へ申し送り	次年度 申し送り
学籍	2 - 4	5(1)イ 根拠	市町 <u>立</u> 学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学籍	2 - 5	6	児童・生徒の…(中略)…役立たせるための原簿としての性格をもつものであるが、児童・生徒を継続して指導していく上で一層役立つものとする観点から、様式等について改善がなされてきており、重要な法定表簿である。 → 児童・生徒の…(中略)…役立たせるための原簿となるものである。	分かりやすい文になるようにに2文に分割するか？	小林
学籍	2 - 5	6(1)ウ	前項 → イ		橋本
学籍	2 - 5	6(2)ア	転入学の際 <u>、</u> → 転入学の際(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 5	6(3)	保存期間経過後は <u>、</u> 廃棄するなど → 保存期間経過後は廃棄するなど(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ア(イ) 1文目	編入学 <u>の場合、</u> 又は → 編入学 <u>した</u> 場合又は		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(イ)	退学する場合 <u>、</u> 又は → 退学する場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(ウ)	場合 <u>、</u> 又は → 場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 9	備考欄記入例等	流行性感冒 → インフルエンザ(2か所)		橋本
学籍	2 - 10	7(2)ウ 根拠	各市町 <u>立</u> 学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学籍	2 - 10	7(3)ア 根拠	各市町 <u>立</u> 学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学籍	2 - 10	7(3)イ	児童・生徒・ <u>学生又は幼児</u> → 児童・生徒		橋本
学籍	2 - 10	7(4)イ 1文目	臨時に <u>、</u> 学校の → 臨時に学校の(コンマ削除)		小林
学籍	2 - 10	7(5) 根拠	各市町 <u>立</u> 学校管理規則 → 市町学校管理規則		橋本
就学援助	2 - 13	1	特別支援教育 <u>への</u> → 特別支援教育		小林
就学援助	2 - 13	2(1) 2段落目	<u>窓口を</u> 市町教育委員会として → 市町教育委員会が <u>窓口となり</u>		橋本
就学援助	2 - 13	(2)、(3)、(4)の前	行間を詰める		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 13	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)表内 修学旅行費	交通費、宿泊費、見学科、並びに均一に負担すべきこととなる記念写真代・医薬品代及び旅行損害保険料 → 交通費、宿泊費、見学科及び均一に負担すべきこととなるその他経費	▲全文を要綱別記1のとおり置き換えてはどうか？	小林
就学援助	2 - 15	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)の前	行間を詰める		橋本
就学援助	2 - 16	1行目	概ね → おおむね	公用文の書き方	橋本
就学援助	2 - 16	注)1	福祉担当課により → 福祉担当課から		小林
就学援助	2 - 16	(6)	振り込まれる場合と → 振り込まれる場合		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	行う場合又は → 行う場合又は		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	取り扱い → 取扱い		橋本
就学援助	2 - 17	g 2段落目	ただし市町 → ただし市町 行われることになった場合は補助対象 → 行われることになった場合は補助対象 (コンマ追加)		橋本 小林
就学援助	2 - 17	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 18	3 見出し	(特別支援学級への → (特別支援教育		
就学援助	2 - 19	(3)表内 修学旅行費	見学科、並びに → 見学科及び		小林
就学援助	2 - 19	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 20	(4)イ	校長はこれを、金銭をもって → 校長は、これを金銭を (コンマ移動)		小林
就学援助	2 - 20	4(1)	窓口を福祉担当課として → 担当福祉課を窓口として		橋本
就学援助	2 - 20	4(3)	よりがたいときは厚生労働大臣が → よりがたいときは、厚生労働大臣が (コンマ追加)		小林
就学援助	2 - 21	表上	令和4年4月現在 → 令和5年4月現在	年度更新	前年度申し送りより
就学援助	2 - 21	(7) 3段落目	もっとも → 最も		橋本
就学援助	2 - 21	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 22	《生活保護の認定》囲み内	【参考】 → (改定) (5) → 削除	【参考】の基準額は改定されています。 頻繁に改定されており、この表は要りますか？ →R5.10に改訂されるので様子見？	橋本
就学援助	2 - 22	一覧表 タイトル行	市町村 → 市町		小林
就学援助	2 - 22の 2	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 22の 3	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 23	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 24	(5)の前	行間を詰める		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
教科書	2 - 25	(6) ※	保管。 → 保管する。		橋本
教科書	2 - 25	(6) 根拠	第5条 → 第3条		橋本
教科書	2 - 25	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 27	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 27	(イ)※①	学校には控えがなくなるので → 学校の控えとして		橋本
教科書	2 - 29	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
学校保健・給食	2 - 31	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 32	(エ)	行う _二 → 行う _{ととも} に _二		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(ア) 4文目	(1字分 字下げ)		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(イ) 5文目	(1字分 字下げ)		橋本
学校保健・給食	4 - 28	(追加)	(キ) 自動車等の運行における自動の所在確認 a 児童生徒等の通学、校外学習等のために自動車を運行するときは、児童生徒等の自動車への乗降者の際に、点呼等で児童生徒等の所在を確認すること。 B 幼稚園及び特別支援学校には、通学用の自動車を運行するときは、フザーその他の車内児童の見落としを防止する装置を装備し、降車時の①の所在を確認すること。	R4.12.28 教学指第1309号(文部科学省令第41号) 学校保健法安全施行規則(昭和33年文部省令第18号)の一部改正 通学、校外学習等で自動車を運航する際の安全管理の項目として追加 →このページでよいか確認	田端
学校保健・給食	2 - 33	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く) → インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)		橋本
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種	咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎 → 咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎	学校保健安全法施行規則 第18条	北出
学校保健・給食	2 - 34	オ 根拠	市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学校保健・給食	2 - 35	(3)イ(イ) b 咽頭結膜熱の次	新型コロナウイルス感染症 発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで → (追加)	学校保健安全法施行「規則」 第19条	北出
学校保健・給食	2 - 35	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 36	イ(イ) 2文目	除く) → 除く _二 (句点追加)		橋本
学校保健・給食	2 - 37	2(4)	各自治体 → 各市町		橋本
学校保健・給食	2 - 39	(8)	支払い → 支払		橋本
人事	3 - 1	1(1) 3段落目	「定年退職者等の再任用」 → 「暫定再任用」、「定年前再任用短時間勤務」	・暫定再任用とか定年前再任用短時間とか入れたらいいですかね ・臨時的任用は採用ではない・・・	橋本
	3 - 1	1(1)ア(イ)	(奥能登教育事務所管内の場合) → (例:奥能登教育事務所管内)		
人事	3 - 3~5	(例)	(例:奥能登教育事務所の場合) → (例:奥能登教育事務所) (3か所)		

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
人事	3 - 4	ウ 根拠	育休法__第6条 → 育休法_第6条		橋本
人事	3 - 4	オ 見出し	定年退職者等の再任用 → 定年退職者等の暫定再任用	R7年度からR10年度まで現行と同様の暫定的な再任用制度が設けられる。 オ 定年退職者等の再任用 で追記するか。	前年度申し送りより 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	第28条の4 → 附則第4条		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	地方公務員法第28条の5 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 2段落目	この制度は、定年等により退職した職員のうち、…(中略)…に発揮できるようにしたものである。→ この制度は、定年引上げ期間において、年金受給開始年齢までの継続的な勤務ができるようにしたものである。		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)(b)	(a)に該当する者として再任用されたことがある者→(a)に該当する者として暫定再任用または旧法の規定による再任用をされたことがあるもの		
人事	3 - 4	オ(ア)bの次	c 定年前再任用短時間勤務職員としての任期を満了して退職した者 → (追加)		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)c	c → d	c追加のため変更	橋本
人事	3 - 4	オ(ア) 根拠	定年条例附則第3条 → (追加)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ(ア)c 根拠	再任用条例第2条 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 5	(イ) 根拠	地方公務員法第28条の4 → 定年条例附則第3条	根拠になる条例に変更	橋本 正井
人事	3 - 5	(エ) 根拠 (オ) 根拠	再任用条例第3条 → (削除) 再任用条例第4条 → (削除)	本文の根拠になっていない	橋本 正井
人事	3 - 5		カ 定年前再任用短時間勤務制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の4、第22条の5、附則 定年前再任用短時間勤務制 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り	前年度申し送りより
人事	3 - 6	イ(例)	(例:輪島市の場合) → (例:輪島市)		
人事	3 - 6	(4)ウ 1文目	職員の定年は60歳とする。…(中略)…最初の3月31日に退職する。→ 職員の定年は令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳となる。定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。		竹原 橋本
人事	3 - 6	(4)ウ	定年年齢の段階的引き上げの表を追加		竹原 橋本
人事	3 - 6		(5)役職定年制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の2～第22条の4 役職定年制による降任	前年度申し送りより
人事	3 - 6～10	(5)～(11)	(5) → (6) 以下(11)までを番号繰り下げ	(5)追加のため変更	
服務	3 - 13	1(1)※	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 14	(7) 根拠	(給与規則の文字間隔を標準に)		橋本
服務	3 - 14	(9)	平成29年4月1日以降、 → (削除)		橋本
服務	3 - 14	(9) 根拠	H29.3.2 → H29.3.22		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
サービス	3 - 16	2(1)	正規職員、臨時の任用職員 → 職員 再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員	臨時の任用職員？非常勤、嘱託の職員？再任用は？	橋本
サービス	3 - 16	2(1)	除く) → 除く _レ)		橋本
サービス	3 - 16 ～ 37	給与の取扱い 給与上の扱い 給与等の取扱い	給与等の取扱い	統一してはどうか。 3-19ウ、3-24エ、3-27エ、3-32エ、3-34オ、3-34エ、3-35ウ、3-36オ、3-36エ、3-37オ	正井
サービス	3 - 16 ～ 37	付与単位・付与される 取得単位・取得できる	付与単位・付与される。	統一してはどうか。 1日、半日又は1時間 ○○の付与単位 など 付与されると取得できるでは意味が違うので修正しました。	正井
サービス	3 - 17	ウ ※2つ目	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
サービス	3 - 17	(2)ア 中点1つ目	90日以内 → (2字分 字上げ)		橋本
サービス	3 - 17	根拠の線	(下まで伸ばす)		橋本
サービス	3 - 17	ウ※2つ目		根拠は？ 例規集等でも根拠は見つかりませんでした。例規集の条文を解釈してハンドブックに記載した？	橋本
サービス	3 - 19	イ(ア)(例)	(例_金沢市学校管理規則による場合) → (例_金沢市)		
サービス	3 - 20	別表1 親族の死亡欄 備考	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
サービス	3 - 20	別表1 妊娠障害欄 備考	(切迫流産含むを1行目に移動)		橋本
サービス	3 - 21	別表1 婚姻欄 備考	※「結婚の日」 → 「結婚の日」		橋本
サービス	3 - 21	別表1 育児参加休暇 期間	産後8週間 → 産後1年	R4.9.30教職355号	橋本
サービス	3 - 22	別表1 配偶者、父母子の祭日 備考欄	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
サービス	3 - 24	(4)エ ※2	休業手当金 → 介護休業手当金		橋本
サービス	3 - 24	ページ番号	3二 → 3 _二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 26	(イ)c	住民票の記載事項証明(市町長の証明) → 住民票	提出は住民票でも問題ないが、教委から求められているものは住民票の記載事項証明なので、変更しない。 (住民票にすると、住民票を提出しなければいけないとなる)	橋本
サービス	3 - 26	(ウ)	という) → という _レ)		橋本
サービス	3 - 26	(5)の前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 26	ページ番号	3二 → 3 _二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 27	ウ	こと → こと _レ		橋本
サービス	3 - 27	(6)講師等の休暇	項目の各細別の間にある行間を詰める		
サービス	3 - 27	(6)ア(ア)	, → , (4か所)		橋本
サービス	3 - 27	(6)ア(イ)	取得可能 _レ → 取得可能)		橋本
サービス	3 - 27	(6)イの前	行間を詰める		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
サービス	3 - 28	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 29	ウの前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 29	ウ 見出し	再任用短時間職員 → 定年前再任用短時間職員		橋本
サービス	3 - 29	ウ(ア)b	6:27、4:51、3:53 → 6:27、4:50、3:53	半角、数字	竹原
サービス	3 - 29	ウ(ア)b 週4日勤務の年休取得時間	1日(4:51)+2:55=7:45 →1日(4:51)+2:54=7:45		
サービス	3 - 29	ウ(ア)c	1日又は半日※又は時間 → 1日又は半日又は時間	※とは？	橋本
サービス	3 - 29	ウ(イ)a	フルタイム勤務職員 → 再任用フルタイム勤務職員		橋本
サービス	3 - 30	エ 非常勤講師	項目の各細別の間にある行間を詰める		
サービス	3 - 30の3	(イ)表	産後8週間 → 産後1年	、石川県職員及び石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規則(昭和32年石川県人事委員会規則第4号)の改正。規則第11条第8号に規定する特別休暇(男性の育児参加のための特別休暇)	田端
サービス	3 - 31	(1) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		橋本
サービス	3 - 31	ア 表	育児休業をとることができる→育児休業をすることができる 育児休業をとることができ→育児休業をすることができない	例規集・通知では「する」となっている。	
サービス	3 - 31	(1)ア	・育児休業短時間勤務代替職員 ・臨任職員 ・育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 ・定年後勤務を延長した職員 ・60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 ・任期付き短時間勤務職員	1年以内に任期が満了する職員及び定年により退職する職員の根拠は？ R4.9.30教職356号の通りに修正するか。 通知文、例規集、小六法にも根拠なし。解釈の仕方？	橋本
サービス	3 - 31	(1)ア 表内 育児休業をとることができない職員 欄	60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 まれに60歳以降も管理職になるパターンもある	前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 31～34		非常勤の育休だけ別項目にする？ 別項目として記載。	R4.9.30教職356号 可能であれば文章を追加し、できれば次年度へ申し送り	橋本
サービス	3 - 31	(1)ア	育児休業をとることができない職員に追加→非常勤職員	以下例外あり 非常勤職員の育児休業 ①育児休業の対象となる職員 次のいずれにも該当する職員 ア 子が1歳6か月に達する日(以下「1歳6か月到達日」という。)までに任期(任期が更新される場合にあっては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者 ただし、子の出生後8週間(出生の日から57日間以内の期間において育児休業をする場合は、次のいずれにも該当する職員 ア 子の出生後8週間の期間の末日から6月を経過する日までに任期(任期が更新される場合にあっては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者	前年度申し送りより 竹原
	3 - 31	(1)イ 見出し	期間 → 期間等	イに2回までの記述をするなら等を付ける	橋本
サービス	3 - 32	項目の番号を変更	(2)育児短時間勤務職員 → (3)育児短時間勤務職員、以下の項目も1つずらす。	(2)非常勤職員の育児休業を追加のため	
サービス	3 - 33	(2) ア	(イ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 60歳以降も管理職になるパターン	前年度申し送りより 竹原

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
服務	3 - 33	(2)ア(ウ)(エ)	(ウ)育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 (エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き 管理監督者を占める職員(オ)定年の特例により勤務を 延長されている職員	変更、並び替え	竹原
服務	3 - 33	(2)ア(エ)	(エ) → (オ)	通知どおりの順番で書くようになります。	前年度申し送りより
服務	3 - 36	(6) ア	定年退職前5年以内 → 定年退職前10年以内	R5.3.10教職724号	前年度申し送りより
服務	3 - 36	(6)ア	定年から10年を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年の4月1日以後ただし、定年退職日が令和13年3月31日以前の職員については、定年から下表の定年退職日に対応する年数を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年度の4月1日以後 → (追加)	どこに追加？	前年度申し送りより 竹原
服務	3 - 36	(6)ア	(表を追加) 定年の段階的延長 R5.4.1改正 定年退職日 年数 令和7年3月31日→6年 令和9年3月31日→7年 令和11年3月31日→8年 令和13年3月31日→9年		
服務	3 - 37	4の前	(1行空ける)		橋本
服務	3 - 39	ア 根拠	20項 → 第20項		橋本
服務	3 - 39	【私傷病休職】の図	成人病 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病		橋本
服務	3 - 41	5(1)ア	(教員免許状更新講習の受講も含める) → (削除)		橋本
服務	3 - 42	(1)	薄くする _△ → 薄くすること又は 免除する。 → 免除することである。		橋本
服務	3 - 43	(2)ア 根拠	(位置を調整)		橋本
服務	3 - 43	8		電子記録による出勤管理について記載するか。	次年度申し送り
給与・諸手当	3 - 45～74	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 46	(5) 根拠	給与規則 第2条、第20条 → 第2、20条	原稿作成要領のとおり	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 46	(4)イ(ア)、(イ)、(オ) (6)ア(イ) (6)イ(ア)	(インデントを修正)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	除く) → 除く _△)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	成人病等 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病等		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(9) 中点2つ目	(上の中点に合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ 根拠	(第2を右寄せ)		橋本
給与・諸手当	3 - 48	(11)	60歳以降の給料の取り扱いについて 国家公務員の定年引き上げにおける取り扱いを踏まえ、 当分の間、特定日(60歳に達した日後の最初の4月1日。 以下同じ)以後、給料月額を7割水準とする措置を講ずる。 (非常勤職員を除く) → (追加)	R4.10.13教職388号 給与条例附則 60歳以降の給料	竹原
給与・諸手当	3 - 50	(3)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 51	2(1)ウb	除く) → 除く _△)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 52	(3)アb(a)～(c) (3)アd(b) (3)アe(a)～(d)	(2行目以降のインデント調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 53	[扶養手当を受けられる範囲図]	この他 → このほか		橋本
給与・諸手当	3 - 53	(イ)f	受けたり, 又は → 受けたり, 大学院修学休業 → 大学院修学休業等	自己啓発等休業、配偶者同行休業の間も支給されません	橋本
給与・諸手当	3 - 54	(ア)a	(別表参照) → (削除)	別表はどこに？	橋本
給与・諸手当	3 - 55	(ウ)a、b		分かりやすくする。認定なのか資格喪失なのか。	橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ア 2文目	場合は支給。 → 場合も支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)イ(エ)※	優先 _上 → 優先		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ	額 _上 → 額		橋本
給与・諸手当	3 - 58	ク	任期付職員を含む → 臨時的任用職員、短時間再任用職員を除く。		橋本
給与・諸手当	3 - 59	コ 2段落目	平成24年4月1日改正 → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 60	〈別表2〉	[注1] → ・ [注2] → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 各欄和暦	提出年月日、受付確認年月日 4年 → X年 所得の合計額 3年 → X年	ここはX年じゃなくていいんではたっけ？	橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 62	児童手当・特例給付額改定認定請求書 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 65	c(b) 2文目	インターネット上で公開されている地図ソフト → ウェブ上で公開されている地図サイト		橋本
給与・諸手当	3 - 68	ウ	案分 → 按分		橋本
給与・諸手当	3 - 70	ページ全体	(行間を狭める)	ページ設定or段落の設定で	橋本
給与・諸手当	3 - 70	(エ)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	カの前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	(7)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 75	[注]3の下	(3の前へ移動、協議のあとで改行)		橋本
給与・諸手当	3 - 75	[注]3の下	(1字上げる)		
給与・諸手当	3 - 75	イ 本文	(1字下げる)		橋本
給与・諸手当	3 - 76	オ 提出書類	・添付書類 → (1字下げる) 配偶者との別居の～ → (1字下げる) 配偶者と別居することが～ → (1字下げる) その他～ → (2字下げる)		橋本
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 表内	義務養育学校 → 義務教直学校(2か所)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 根拠	特勤手当 <u>条例</u> → 特勤手当 <u>規則</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 78	(イ)表内 第1項第2号 業務の種類欄	実施するものに限る → 実施するものに限る <u>。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 80	事例2 手続・処置等欄 中点5つ目 2行目	(1字下げ)		橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例6、7勤務の割り振りをしない場合、8 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4、5に同じ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例7 勤務の割り振りをしない場合 手続・処置等欄	条例第10条の4第1項3号業務 → 対外運動競技等	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例8 手続・処置等欄	注:部活動手当の支給対象 → (削除) ・部活動手当のみ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 83	表	(上の線を調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	教員特殊業務手当 <u>実績簿</u> → 教員特殊業務手当		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(細い線を削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(○印 → 丸囲みの印)(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)	一律支給される。(出費がかさむ時期の生計補給的な手当) → <u>出費がかさむ時期の生計補給として、</u> 一律支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)ア 中点4つ目	含む) → 含む <u>。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 88	(ウ)b(c)	育児休業期間の2分の1の期間 <u>。</u> → 育児休業期間の2分の1の期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く <u>。</u>) <u>。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)	勤務成績に応じて支給される。(能率給的な手当) → <u>能率給的な手当として、</u> 勤務成績に応じて支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	育児休業期間の全期間。 → 育児休業の全期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く <u>。</u>) <u>。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	部分休業をした職員については → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 92	期末手当・勤勉手当の除算について 表	(追加)	(育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く <u>。</u>)を表内に追加	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11) 2文目、4文目	(削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)	白山保護自然センター中宮展示館 → 白山保護自然センター中宮展示館 <u>。</u> 白山自然保護センター白峰駐在地 → 白山自然保護センター白峰駐在地 <u>。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)	指定公署 → 指定公署(抜粋)	駐在所とかは載せなくてよいのでは？	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)金沢市 白山市	湯涌駐在所、しらやま交番、河内駐在所…(削除)	駐在所・交番を削除	
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員 → (イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 1文目	(1字下げる)	「ただし、旧白山麓5村～」です	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(経過措置について記述を削除)	「※支給地域の～」から「H29.11～」まで	橋本
給与・諸手当	3 - 97～ 100	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	※	場合。 → 場合(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	(12)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 98	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)ア	[給料の月額+ 扶養手当] → [給料の月額_+ 扶養手当]		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(15)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	・算出方法及び支給割合	・ → オ		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(16)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ウ 根拠	第4条 → 第5条	石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)ア(ア) a	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 104	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19)	60歳に達した日以後、非違によることなく退職した者の退職手当の基本額については、当分の間、退職事由を「定年退職」として算定する。また、職員が特定日から7割水準以下の給料月額となる場合等は、退職手当の基本額の計算方法の特例(ピーク時特例)を適用する。 → (追加)	根拠わかる方、追加してほしいです	竹原
給与・諸手当	3 - 105 の2	早見表 定年 31年	42.80375 → 42.31035		橋本 8/31追加
給与・諸手当	3 - 105 の3	ア、イの前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 107	期末手当勤奨手当表	1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 1.150 → 1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 1.150	支給率変更	竹原

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 107	期末手当 勤労手当	(支給割合を変更)	定年前再任用短時間勤務職員に	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 特地勤務手当	※経過措置あり(令和2年3月31日まで) → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	所得制限限度額以上所得上限限度額未満 5,000円 → (一番下の行に追加)	特例給付は全部なくなったわけじゃありませんでした・・・昨年のミスです。	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	H24.6～ → R4.10～		橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 時間外勤務手当・休日勤務手当	(縦の線を調整)	微妙にずれています	橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 通勤手当	ア、交通機関等利用者 → ア_交通機関等利用者 イ、交通用具 → イ_交通用具 ウ、併用者 → ウ_併用者	アと交通機関等利用者の間にスペース、のように	橋本
給与・諸手当	3 - 110 ～ 114 の2	ページ全体	(給料表を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①給料表改正	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 113	ページ番号	3 -113 → 3 -_113		橋本
給与・諸手当	3 - 115		3 非常勤職員の報酬等 → (追加)	安江さんから案をいただいています → その場合大分類の番号が繰り下がる 会計年度の人(非常勤講師)の報酬を説明したページがない。時間給ですよ、とか、手当はないですよ、とか。例規集に根拠が載ってるような気がします。P3-31の休暇の部分では、昨年度の改訂作業でこっそり登場してますけどね。給与でなく報酬なので、入れるとしたら、3-115の前か。	前年度申し送りより 橋本
給与・諸手当	3 - 115 118	3 4	3 → 4 4 → 5	非常勤職員の報酬等を追加するなら番号繰り下げ	
給与・諸手当	3 - 115	3(1)ウ(ア)	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 115	3(1)エ(イ)	、 → 、(4か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 115 ～ 118 の2	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(イ)	全額 → 税額(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(イ)	退職手当等に対しては、退職所得控除額の → 退職手当等に対しては、「 <u>退職所得の受給に関する申告書</u> 」を提出した場合、退職所得控除額の		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(2) 3文目	125万円 → 135万円		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(3)	という) → という。)		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4) 2文目	均等割を合計して計算する。 → 均等割がある。		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4)イ	均等割の計算 → 均等割の税額		橋本
旅費	3 - 119	1(1)	エ 同一地域 同一市町村のことをいう。(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	橋本
旅費	3 - 119	1(3) 1行目	旅 _ロ 費 → 旅費		北出 橋本
旅費	3 - 119 ～ 128	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
旅費	3 - 120	(6)ア	時刻表等参照のこと → 時刻表等 _を 参照のこと		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
旅費	3 - 120	(カ)	(カ) シーズン別指定席特急料金 最繁忙期に特急の普通車指定席を利用の場合、通常期の指定席特急料金に400円増し、繁忙期は通常期の指定席特急料金に200円増し、閑散期は通常期の指定席特急料金から200円引きとなる。利用する路線によって時期設定が異なるので注意する。 JR北海道内の在来線を利用の場合 JR東海内・JR西日本内(北陸新幹線を除く)・JR四国内・JR九州内 ・JR各会社間を利用の場合 JR九州内の在来線・西九州新幹線に閑散期の設定はない JR東日本内・北海道新幹線・北陸新幹線を利用の場合 ※ 新幹線と在来線の特別急行列車を乗り継ぐ場合は在来線の特別急行料金の半額が割引かれるが、その際はシーズン別割増(引)料金を含めた額が半額となる。(2024年3月16日乗車分より廃止予定)	JRのホームページより抜粋。少し作文しました。	
旅費	3 - 120	(キ)	(キ) 往復フリーきっぷ 発着駅ごとに料金が設定されている。有効期間や利用期間はそれぞれ異なる。 名古屋往復割引きっぷ ※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなったため、旅費計算に適用しないこととなった。(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	橋本
旅費	3 - 123	ウ 囲み内	(交通費規定額+宿泊料規定額のフォントの色)		橋本
旅費	3 - 124	(10)、(11)の前	行間を詰める		橋本
旅費	3 - 124	(10) 根拠	旅費のキャンセル支給に係る運用の 見直しについて H28.10.6 県教委 → H28.10.6(県教委) 旅費のキャンセル料支給に係る運用の見直しについて	キャンセル料の「料」がない。 文書の発信日と発信者を先に示す。 発信者はカッコ書き。	前年度申し送りより
旅費	3 - 125	(12)イ	取扱 → 取扱い		橋本
旅費	3 - 125	表内 中能登 旅費計算書締切日	5日 → 7日		
旅費	3 - 127	(イ)	----- → - - - - -	もう少し点線っぽくなったらいいかな 半角ハイフンと半角スペースで	橋本
旅費	3 - 128	ウ(ア)	支給しない → 支給しない _ニ		橋本
旅費	3 - 129	表内	名古屋往復割引きっぷ ※R4.4.1乗車分よりインターネットでの予約のみとなったため、旅費計算に適用しないこととなった。(追加)	小松教育事務所の旅費担当に確認しました。	
福利厚生	3 - 131	(1)、(2)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 131	(2)表 長期給付欄	(リフレッシュ給付金を追加)	概要欄「リフレッシュ休暇取得者に給付を行う。」 内容欄「リフレッシュ給付金」	橋本 正井
福利厚生	3 - 132	(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 132	↓	(3) 資格について ア(ア)ウ(エ)オ	↓文章を大幅に追加・変更したので、確認をお願いいたします。	北出
福利厚生	3 - 132	(3) 互助会会員の規定変更	会員から除く 2ヶ月以内の期間を定めて使用される教職員であって当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれないもの	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正 可能であれば共済組合・互助会の文章を変更し、できなければ次年度へ申し送り	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員○	臨任職員 2ヶ月を超える任用期間が要件であることや、臨任職員に係る経過措置があるが、共済組合員となれば、同時に互助会員となる。	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 132	(3)' 組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員×	再任用短時間職員(週31時間勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務で3月のみ17日<旧嘱託職員>) 会計年度任用職員(週29時間～週20時間勤務<旧臨時職員・旧パート職員>)	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 臨任職員 (育休代替職員は変更なし)	組合員種別:一般組合員 → 短期組合員 長期給付(厚生年金):共済組合 → 日本年金機構 短期給付(健康保険):共済組合 → 共済組合	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 2ヶ月以内の期間を超えないもの	組合員種別:一般組合員 → 組合員資格なし 長期給付(厚生年金):共済組合 → なし(国民年金) 短期給付(健康保険):共済組合 → なし(国民健康保険)	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 2ヶ月の取扱い	①2ヶ月以内に期間を定めて使用される者であって、当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれない者 ②2ヶ月以内の期間を定めて使用されるものであって、当該定めた期間を超えて引き続き使用されることが見込まれるもの →当初(採用時)から組合員資格を取得する ③上記①に該当した方が、引き続き使用され、合わせて2ヶ月を超えることが見込まれた場合→引き続き使用された時点から組合員資格を取得する	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(3文目に追加) 組合員には、主に一般組合員と短期組合員の2つの組合員種別がある。		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(追加)	(案) (ア) 一般組合員 主にフルタイムで勤務している常勤職員が該当する(臨時的任用職員を除く。)。共済組合が実施する全ての事業が適用される。 (イ) 短期組合員 臨時的任用職員等が該当する。短期給付、福祉事業が適用される。長期給付は適用されないため、日本年金機構の厚生年金に加入し、日本年金機構に保険料を納める。	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[共済組合] → ア 共済組合	講師・非常勤の共済組合 一般組合員／短期組合員	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	任期付任用職員・臨時的任用職員等 → 任期付職員等		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[互助会]	任期付任用職員 → 任期付職員		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[共済組合] → ア 共済組合		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 2段落目	(徴収されるのあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 3段落目	(徴収されるのあとに3文目を挿入し改行する)		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 137	(10)	ア 掛金免除要件について (ア)～(オ) イ 育児休業等に係る掛金等の免除例 R4.9.16(公共石) 育児休業期間中の掛金等の免除に係る改正についてを参照。	R4.9.16 公共石669号 育児中の掛金免除について追加で記載するか？ 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り →ア(ア)～(オ)、イを追加しました。確認をお願いします。	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)	ついて → ついても		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 133	(5) 提出書類	・被扶養者の認定申告書 → ・被扶養者認定申告書		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表内 共済組合の被扶養者の所得制限欄	障害年金受給者又は60歳以上の公的年金等の受給者 → 障害年金を受給する程度の障害がある又は60歳以上	R5.2.3 公共石1039号	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表	パート勤務を始めた → パート勤務を始めた被扶養者__取消し → 被扶養者取消し		橋本
福利厚生	3 - 135	(6)	死亡したとき、又は → 死亡したとき又は		橋本
福利厚生	3 - 135	(7)、(8)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄 被扶養者出産欄	42万円 → 50万円(産科医療補償制度対象分娩でない場合は48万8千円)(それぞれ2か所)	共済組合ホームページを確認しました。	橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄	母子手帳(写) → 母子手帳筆(写)		橋本
福利厚生	3 - 137	(10)、(11)、(12)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 137	(11)、(12)	(11)災害にあったとき → (11)災害にあったとき (12)交通事故にあったとき → (12)交通事故にあったとき		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 1文目	(ただし、昭和19年4月1日までに生まれた方は1割) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 2段落目	また、自己負担部分が一定の金額を越えた場合には、後日共済組合から一部負担金払戻金又は家族療養費附加金として給付される。 → (2文目に追加)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ウ 中点1つ目	「2_地方公務員の災害補償制度」 → 「2_地方公務員の災害補償制度」		橋本
福利厚生	3 - 139	オの前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)	医療費の自己負担補助については、 → (削除) 以下で求めた金額が給付される。 → (追加)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)b	が給付される。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	(給付される。のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	提出書類_(ア) → 提出書類__・(ア)	スペースを追加してカ(イ)の提出書類と揃える	橋本
福利厚生	3 - 139	キ	健康保険法適用外で病氣治療の目的で、はり・きゅう・あんま・指圧・マッサージを受けたとき → 健康保険法適用外で、はり・灸・あんま・指圧・マッサージ(病氣治療)を受けたとき		橋本
福利厚生	3 - 140	(14)、(15)	(14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき → (14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき (15)給料が支給されなくなったとき → (15)給料が支給されなくなったとき		橋本
福利厚生	3 - 140	(15)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 141	(16)表 教育貸付欄	(文章変更)	R4.8.8 事務連絡 「組合員、被扶養者又は被扶養者でない子、孫若しくは兄弟姉妹が小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校又は各種学校に入学又は修学するため資金を必要とする場合」	橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)の前	行間を詰める		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)	(17)永年勤続をしたとき → (17)永年勤続をしたとき (18)退職後の療養について → (18)退職後の療養について		橋本
福利厚生	3 - 143	2 3段落目	非常勤職員の場合は地方公務員災害補償法に基づく条例、労働者災害補償保険法、 → 非常勤職員の場合は労働者災害補償保険法により国が、		橋本
福利厚生	3 - 143	(1)の前	行間を詰める		橋本 8/31追加
福利厚生	3 - 144	表 天災地変欄	公務上 → 公務上とする		橋本
福利厚生	3 - 144	(2)の前	行間を詰める		橋本 8/31追加
福利厚生	3 - 144	(2) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		前年度申し送りより
福利厚生	3 - 144	(2)	往_復 → 往復		橋本
福利厚生	3 - 144	(2) 表内 勤務場所欄	限る) → 限る。)		橋本
福利厚生	3 - 148	表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等(2か所)		橋本
福利厚生	3 - 149	(4)表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等		橋本
福利厚生	3 - 154 ~ 160	ページ番号	(下げる)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	昭和61年4月の改正で、国民年金は <u>その他の</u> 公的年金制度の基礎となる年金制度となり、 → 国民年金は公的年金制度の基礎となる年金制度で、		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	厚生年金に <u>二重</u> に加入している。 → 厚生年金 <u>保険</u> にも加入している。		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 民間サラリーマン	(報酬比例) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 公務員等	退職等年金給付 → 年金払い退職給付		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	(定額部分) → (削除)	基礎年金＝定額部分ではない	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	厚生年金(報酬比例 <u>部分</u>) → 厚生年金(報酬比例)	民間も公務員も厚生年金が報酬比例なのは同じ。	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 表下	国民年金及び年金 → 国民年金及び <u>厚生</u> 年金		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(ア)、(イ)、(ウ)	国民年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)(3か所)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(イ)	者に対して → 場合に		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)イ(ア)	共済年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 全文	本来、老齢厚生年金は65歳からの受給となっているが、受給開始年齢が引き上げられたことの経過措置として特別支給の老齢厚生年金が支給されている。受給開始年齢は生年月日と性別に応じて異なる。(文章変更)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 2文目	(削除し、受給要件を簡条書き)	受給要件 ・厚生年金被保険者期間(注1)が1年以上あること ・受給資格期間が10年以上あること	橋本
福利厚生	3 - 156			経過的職域加算、年金払い退職給付についての記述がない 可能であれば文章を追加し、できれば次年度へ申し送り	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 156	(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目	60歳から65歳までの間支給。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目 文末	3-156(イ)参照 (追加)	(文の終わりに3-156(イ)参照？を追加)	橋本
福利厚生	3 - 157	エ	繰り上げ支給 → 繰り上げて受給		橋本
福利厚生	3 - 157	オ 1文目	(文章変更)	年金の受給開始を66歳から75歳までの間に先延ばしすることができる。	橋本
福利厚生	3 - 157	オ	(することができる。 のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 157	オ	1ヵ月 → 1ヵ月		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)ア	老齢基礎年金の支給額は777,800円(令和4年度水準)。 → 令和5年度の支給額は67歳以下は795,000円、68歳以上は792,600円。	(1文すべて変更)	橋本
福利厚生	3 - 157	(6)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)ア	老齢厚生年金 → 老齢年金		橋本
福利厚生	3 - 158	(8)、(9)、(10)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(10)イ 2文目	但し、 → ただし、		橋本
福利厚生	3 - 159	(2)、(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)ア	臨時的任用職員を除く → 短時間再任用職員、会計年度任用職員を除く。		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)イ	できるものであること → できる。		橋本
福利厚生	3 - 159	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(4) 2段落目	通帳はなく契約証書のみで → 通帳の発行に代えて契約証書が交付される。 財形貯蓄残高報告書が年2回契約金融機関より → また、年2回財形貯蓄残高報告書が金融機関より		橋本
福利厚生	3 - 160	中点2つ目	又は、 → 又は(コンマ削除)		橋本
福利厚生	3 - 160	3行目	預金 → 預入		橋本
福利厚生	3 - 160	(5)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(5) 表内 一般財形貯蓄 要件違反の課税	(斜線入れる)		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)	雇用・能力開発機構 → 勤労者退職金共済機構		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
校費・学校予算	4 - 1	1(2)〇1つ目	特に定められている。 → 定められている。		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)ア～ウ	もの _ㄴ → もの(3か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(3)ア 根拠	(義務教育費国庫負担法の倍率を80%(に)(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	※表内 交付金	<u>〃</u> 改築 → <u>学校給食施設</u> 改築	▲「〃」ではなく具体的に表記してはどうか？	小林
校費・学校予算	4 - 2	イ 根拠	(学校職員給与負担法の倍率を90%(に)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	※表内 交付金	地震防災(耐震補強) → 補強 地域学校連携施設整備1/3 → (削除) 木の教育環境整備1/3 → (削除)		橋本
校費・学校予算	4 - 3	2(3)ア 根拠	地方自治法 <u>第209. 209条 2</u> → 第209条	209条全体が本文の根拠になっていますので、包括的に。 どうせ、209条は1項と2項しかないのです。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	(4)	概ね → おおむね		橋本
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア 根拠	地教行法 第25. 25条.4 → 第25条.1. 4	この表記の方がスマート。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 5	(3)	保証 → 保障		橋本
校費・学校予算	4 - 6	(5)	はかり → 図り		橋本
校費・学校予算	4 - 7	イ	かかる → 係る		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ	行う。 → 行う <u>ことである</u> 。		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ 3文目	支払い → 支払		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2段落目	手続き → 手続(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2～3段落目	支払い → 支払(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(10)	おこなわれて → 行われて		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11)	すでに → 既に		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11) 2文目	石川県公立小中学校教育事務研究会 → (文の始めに追加)		橋本
校費・学校予算	4 - 9	4(1)ア	備え付け → 備付け		橋本
校費・学校予算	4 - 10	1行目	とする) → とする _ㄴ)		橋本
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 1段落目	お慶び → お喜び		小林
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 3段落目	致します → <u>いたします</u>		小林
校費・学校予算	4 - 12	エ 例内 2段落目	致します → <u>いたします</u>		小林
校費・学校予算	4 - 12	(4)ア	含む) → 含む _ㄴ)		橋本
校費・学校予算	4 - 13	イ(イ)※	ある) → ある。)		橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校の施設・設備	4 - 15	(2) 根拠	(削除)	「H14(文科省)第14.15号」は、あまりにもごっそり過ぎたいい加減な書き方。何という通知の14号、15号なんだろう？いまさら追跡できないのであれば、消しませんか。20年も前の通知ですし。 →「H14(文科省)第14.15号」はそれぞれ「小学校設置基準」「中学校設置基準」のことなので根拠は削除しましょう(橋本)	前年度申し送りより
学校の施設・設備	4 - 15	1(2)ア(ウ) 全文	(校舎には少なくとも教室(普通教室、特別教室等)、図書室、保健室及び職員室を備えるものとする。また、必要に応じて特別支援学級のための教室を備えるものとする。)(文章変更)		橋本
学校の施設・設備	4 - 16	イの前	行間を詰める		小林
学校の施設・設備	4 - 16	イ	(削除)	もういらない	橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)e、i	(削除)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f～o	(e、iの削除に伴い番号繰り上げ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f	(d) バリアフリー化等施設整備工事(追加) (g) 防犯対策施設整備工事 → (e) 防犯対策施設整備工事 (f) 特別防犯対策施設整備工事(追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 18	(b)1文目	ティームティーチング → ティームとティーチング (中点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 18	イ(ア) 根拠	(理科教育振興法施行令を倍率80%に)		橋本
学校の施設・設備	4 - 19	ウ(エ)	利用するときは、学校の管理機関と… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 19	カ(イ)a	改_造 → 改造(スペース削除)		小林
学校の施設・設備	4 - 20	エの前	行間を詰める		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	キ	反する結果にもなるので、学校構内に… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)ア	除く) → 除く_)		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(ア)	定める → 定める_) (句点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(エ)	明確にする → 明確にする_) (句点追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	いう) → いう_)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学校の施設・設備	4 - 23	(ウ)e※	kℓ → kL(2か所)		橋本
学校の施設・設備	4 - 23	(エ)1文目	場合があるので_注意が必要である。 (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 24	キ(イ)	学校の実態に応じて定め_実施する… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 25	四角囲み 左から2個目	学校内で処理できる <u>こと</u> → 学校内で処理できる <u>もの</u>		小林
学校の施設・設備	4 - 25	(8)イ	含む) → 含む_)		橋本
学校の施設・設備	4 - 25	(8)ウ 1文目	健康上よい環境ではないため_学校などの… (読点追加)		小林

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校の施設・設備	4 - 26	オ(ア)	<u>上司</u> の指揮 → <u>校長</u> の指揮	上司ではない、文言に言い換え	小林
学校の施設・設備	4 - 26	(10)	(10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理 → (10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理		橋本
学校の施設・設備	4 - 27～28	ア～イ		内容が古いので更新したい	次年度 申し送り
学校の施設・設備	4 - 27	2段落目	(2行目を1字上げる)		橋本
学校の施設・設備	4 - 26～28	ア(ア)～イ(イ)b	こと → こと _レ (句点追加)(18か所)		小林
学校の施設・設備	4 - 27	ア(ウ)b	非常時においては _レ 常に複数の教職員で対応する体制をとるなど _レ あらゆる… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 28	(カ)c	取り組み → 取組		橋本
学校の施設・設備	4 - 28	※3	火災以外の緊急時において使用したときは _レ その緊急内容と火災でない旨を当該報知を受けた人々に早急に周知するとともに _レ 消防機関に速やかに連絡する等の配慮がなされること。(読点追加)	読点の一つもない文章のため、入れました。	小林
物品	4 - 29	(例)	(例 _レ 金沢市) → (例 _レ 金沢市) (3か所)		
物品	4 - 29	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 29	1(1)ア	その他 → その他 _レ		橋本 8/31追加
物品	4 - 29	1(1)ア	除く) → 除く _レ)		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	1万円 → 5万円		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	考古資料並びに図書館等で保存する蔵書を除く。) → 考古資料を除く。)又は2年以内に消費するもの		橋本
物品	4 - 29	1(3)イ	物 → もの		橋本
物品	4 - 30	見出し	(4)物品・分類 → (4)分類・整理	目次の文言に合わせる	前年度申し送りより
物品	4 - 30	(4)	物品出納員又は物品取扱員 → 物品出納員		橋本
物品	4 - 30	2(1) 囲み内(2)、(3)	(文章1字ずつ下げる)		橋本
物品	4 - 31	(2)の前	詰める		橋本
物品	4 - 31	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 33	ページ番号	(下げる)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 1	(1)、(2)の前	行間を詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 1	2(1)(2)	(文章1字ずつ下げる)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 3	(3)の前	行間を詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 28の2		タイトル部分:職員一覧 各項目:該当する職員をチェック 様式集より出力:(各ページ下部に記述する) (統一)	ページによって表記がバラバラなのが気になります (職員の選択欄にチェックが良いかな?) (職員?職員の確定?) 統一 各事務所によっては出力様式以外を使用している	橋本

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20現在

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・共済互助会システム	5 - 7	⑤	画面がでる → 画面が出る		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	クリック。 → クリック		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 10	④	(フォント修正)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 18		…保管し、 <u>コピーを本人に渡す。</u> → …保管する。		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管する → 保管する <u>。</u> (句点追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点2つ目、3つ目	(受け取るのあとで改行せずに詰める、中点3つ目削除)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部の四角囲み内 2行目	申告書を出力。 → 申告書を出力する。		小林
給与・共済互助会システム	5 - 22	⑩の前	「 → [橋本
給与・共済互助会システム	5 - 24	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	⑥→⑤		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	(2. 3行目を1字下げ)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 29	一覧表内 その他 中点2つ目	変更があったときは変更内容を → 変更があったときは、 <u>変更内容を</u> (コンマ追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 30	一覧表内 3月	削除	空欄になっている。残しておく必要はあるか？	小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 29～30 用途等欄	職員 <u>確認</u> 用 → 職員 <u>記入</u> 用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 31 用途等欄	職員 <u>配付</u> 用 → 職員 <u>記入</u> 用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 34	3(1)(2)	(文章1字ずつ下げる)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(エ)	連絡する) → 連絡する <u>。</u>		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(カ) 2文目	読点をコンマに変更(2か所)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イウ	(文章1字ずつ下げる)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	所属別帳票を選択し各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書はマシン線入りの用紙に印刷し該当職員に → 所属別帳票を選択し、 <u>各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書は、</u> マシン線入りの用紙に印刷し、 <u>該当職員に</u> (コンマ追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	忘れずに出力する → 出力する		橋本
学校事務用語の解説	5 - 36	「及び」と「並びに」 2文目	ふつう → 普通		小林
学校事務用語の解説	5 - 37	ガイドライン	(説明文1字下げる)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	中学校・高等学校 → 中学校・ <u>義務教育学校</u> ・高等学校・ <u>中等教育学校</u> ・ <u>特別支援学校</u>		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	新学習指導要領のスケジュール～令和3年4月から中学校で全面实施 → (削除) 現行の学習指導要領は平成29年3月31日に告示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から実施されている。 → (追加)	移行スケジュールのうち、周知・徹底、移行措置開始は削除しても良いのでは	橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	課税対象給与額	除く) → 除く。)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	寡婦・寡夫	又は妻(夫) → 又は夫(妻)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 41	教員免許更新制 2段落目	仕組みが始まる → 仕組みが始まった		小林 橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 1文目	含む) → 含む。)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 3文目	(削除)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	(追加)	36協定 → (追加)	労働者に法定労働時間を超えて労働させる場合や、休日労働をさせる場合に、労働者と結ぶ取り決めのことであり、労働基準法第36条に定められた労使協定であることから、通称「36(サブロク)協定」と呼ばれている。	前年度申し送りより 竹原
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法	(国庫補助金とコンプライアンスの間に移動、インデント調整)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法 4文目	施行される → 施行されている		小林
学校事務用語の解説	5 - 46	(追加)	地方教育費調査 → (追加)		前年度申し送りより
学校事務用語の解説	5 - 47	チーム・ティーチング	チーム・ティーチング → ティーム・ティーチング (通学区域の弾力的運用の次へ移動)		小林
学校事務用語の解説	5 - 47	(追加)	統合型校務支援システム → (追加)		小林
学校事務用語の解説	5 - 48	ねんきん特別便	ねんきん特別便 → ねんきん定期便 (用語変更及び文章変更)	社会保険庁(当時)が公的年金の加入記録の確認を目的として、平成19年12月から平成20年3月までに加入者・年金受給者に送付した通知書。これに併せて、公立学校共済組合からも共済年金の加入記録の確認のため公務員共済ねんきん特別便が送付された。	橋本
学校事務用語の解説	5 - 50	メンタルヘルス	このため産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ心身の健康に → このため、産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ、心身の健康に		小林
学校事務用語の解説	5 - 50の2	(追加)	リフレッシュ休暇 (追加)	互助会にリフレッシュ給付金があるが、リフレッシュ休暇については一切記載がない。 可能であれば文章を追加、できれば次年度へ申し送り	次年度 申し送り
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 56	大分類-人事 表内 各種手当認定簿(退職/異動者)欄	現況届等通勤届 → 現況届等、通勤届		橋本
物品分類表	5 - 62～66	物品分類表	(改正のため差替え)	修正案できました	橋本
教科書事務・質疑応答	5 - 72	4つ目の【答】	冒頭スペース 1文字分削除		小林
教科書事務・質疑応答	5 - 73	1つ目の【答】	(削除)	▲現在は理科の給与の仕方が学年ごとの給与になっている。削除してもよいのではないかな？	小林
事務職員研修体系(通知)	5 - 75	ページ番号	(中央揃えにする)		橋本

教育事務ハンドブック

令和5年度

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.10.20追加変更分

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 850円 → 1,080円、 中学校 770円 → 1,000円	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)	
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編成の基準(抜粋) 表下	※ 小学校の同学年の児童で編制する学級編制の基準は令和3年度から令和7年度にかけて、段階的に40人から35人に引き下げられる。(追加)	経過措置について	
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 全文	共同処理することが当該事務の効率的な処理に資するものとして政令で定めるものとは、以下の通りである。 ①教材、教具その他の備品の共同購入に関する事務 ②教職員の給与及び旅費の支給に関する事務 ③そのほか共同学校事務室において共同処理することが効果的な処理に資するものとして教育委員会規則で定める事務(文章変更)	削除し、例規に合わせて箇条書き	小林
文書・公印	1 - 20	下の方	詰める	往復文書の一般的形式(事例)がおさまるなら1-17～1-20にかけて行間削除等で詰められるのであれば詰める。修正一覧表には載せない。 詰められなかったもので修正一覧表から削除します。	橋本
調査統計	1 - 32	(2)の前	行間を詰める		
調査統計	1 - 32	(3)の前	行間を詰める		
調査統計	1 - 32	(4)の前	行間を詰める		

就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 850円 → 1,080円、中学校 770円 → 1,000円	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)	
		全体	項目の各細別の間にある行間を詰める	を入れる。各細別の「ア」や「(ア)」なども同様に処理する。原稿作成要領に明記するか。 下記例の様に間に行間を空けない。 例) 設又は公認の機関である。 (1) 学校の種類 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	前年度申し送りより
		全体	市町学校管理規則 市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則 各市町立学校管理規則 (表記を統一)	根拠の「学校管理規則」がページによって表記が違う 1-17、3-2、3-6、3-19、3-20:市町学校管理規則 2-4、2-34:市町立学校管理規則 2-10:各市町立学校管理規則 市町学校管理規則で統一 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
		全体	例: ○○ 例: ○○ → 例: ○○ 例: ○○による場合 (表記を統一) 例: ○○の場合	例がページによって表記が違う 1-24、2-16:例: ○○ 1-26、1-27、1-28、4-29:例: ○○ 3-3、3-4、3-5、3-6:例: ○○の場合 3-19:例: ○○による場合 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
		全体		○○参照もページによって表記が違う 要確認 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	橋本
学校及び学校事務	1 - 1	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編成の基準(抜粋) 表内	小学校・同学年の児童で編成する学級 第1、2、3学年 35人 → (削除) 小学校・同学年の児童で編成する学級 第4学年～第6学年 40人 → (削除)	義務標準法 第3条2 に合わせて	北出
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編成の基準(抜粋) 表下	表下に小学校の学級編成の標準の引き下げについての記述を追加	経過措置について	
学校及び学校事務	1 - 5	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 6	(5)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 6	(5) 2段落目2文目	運営に関し相互に → 運営に関し、相互に(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 7	1行目	取り組み → 取組	公用文の書き方	橋本
学校及び学校事務	1 - 7	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 7	ウの後ろ	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点3つ目 2文目	地教行法は教育機関である → 地教行法は、教育機関である(コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点4つ目	・ → イ	任命権者は位置づけとはちょっと違うかな?	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目の前	ウ 学校事務職員の職務規定 → (追加)	見出しの追加	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目	平成29年4月の改正 → 平成29年4月の <u>学校教育法の改正</u>		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	イ 見出し	イ → エ		橋本

学校及び学校事務	1 - 9	1～2行目	ただし指定都市 → ただし_指定都市 事務は当該指定都市 → 事務は_当該指定都市 (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 9	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	(3)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 10	(4) 1文目	職務の範囲は自治体や → 職務の範囲は_自治体や (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 10	下部 四角囲み内 6文目	職務を遂行して行けるよう → 職務を遂行して_いけるよう		小林
学校及び学校事務	1 - 10	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 11	(5)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 1文目	学校のうちその指定する → 学校のうち_その指定する (コンマ追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 全文	共同処理することが当該事務の効率的な処理に資するものとして政令で定めるものとは、以下の通りである。 ・教材、教具その他の備品の共同購入に関する事務 ・教職員の給与及び旅費の支給に関する事務 ・そのほか共同学校事務室において共同処理することが効果的な処理に資するものとして教育委員会規則で定める事務 (文章変更)	削除し、箇条書き	小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 根拠	地教行法施行令第7条の2 → (追加)		橋本
文書・公印	1 - 15	(1)ア 2文目	意思決定が行われ統一的な → 意思決定が行われ_統一的な(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 15	(2)ア(イ) 1文目	何れか → いずれか		小林 橋本
文書・公印	1 - 16	(3)イ(ア) 1文目	(4字分 字下げ)		小林 橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(ア)	文書取扱担当者が確認して受け取ることをいう。 → 文書取扱担当者が受領したのち一定の手続に従って整理し、文書の到達を確認することであり、通常、受付という。		橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(イ) 見出し、1文目	(削除)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ) 見出し	(ウ) → (イ)		橋本
文書・公印	1 - 18	(ウ)※公文書の流れの例	各担当者又は供覧 受付 の線を消す	受付と各担当者又は供覧の間の線は？	橋本
文書・公印	1 - 18	イの前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 19	(b) 1文目	個人の場合は_その氏名 → 個人の場合はその氏名 (コンマ削除)		橋本
文書・公印	1 - 20	(c) 1文目	かぎ_括弧等 → かぎ括弧等(中点削除)		小林
文書・公印	1 - 20	(d)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 20	(ウ)a	共に → とともに	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 20	下の方	詰める	往復文書の一般的形式(事例)がおさまるなら1-17～1-20にかけて行間削除等で詰められるのであれば詰める。修正一覧表には載せない。	橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ア) 2文目	且つ → かつ		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 2段落目	保管 → 保存		橋本

文書・公印	1 - 21	エ(イ) 3段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 1段落目	保存文書が保存期間を経過したとき、 → 保存期間を経過した文書を		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 2段落目	漏洩 → 漏えい		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 ○4つ目	おこない、 → 行い、		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 最終段落	改行しない	▲また、近年、…の1文は「改行」ではなく、前文に続けられよいのではないかな？	小林
文書・公印	1 - 24	2(2) 2段落目 根拠	(各市町教委公印規則の倍率を90%に)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2行目	(1字分 字下げ)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2文目	改行しない		橋本
文書・公印	1 - 25	3(1) 4段落目	保護法(条のあとで改行せず)に詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(2)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)ア 1文目	「情報公開制度」 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)イ 見出し	「情報公開制度」 → 情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 26	(例)	(例_ → (例_ (4か所)		
文書・公印	1 - 26	ウ 1文目	文書等に関しては石川県情報公開条例 → 文書等に関しては_石川県情報公開条例(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ) 1文目	磁気方式その他 → 磁気方式_その他(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ)	以下同じ。 → (削除)		橋本
文書・公印	1 - 26	ウ(エ)b	個人が識別され、又は識別される情報 → 個人のプライバシーを侵害するおそれのある情報	石川県ホームページ	橋本
文書・公印	1 - 27	(例)	(例_ → (例_ (4か所)		
文書・公印	1 - 28	(4)ア 1文目	取扱 → 取扱 い	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(例)	(例_石川県条例) → (例_ い 石川県条例)		
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(ア) 1文目	もの_ → もの(句点削除)		橋本
文書・公印	1 - 29	イ 3段落目	開示請求が増え個人情報保護審査会 → 開示請求が増え_個人情報保護審査会(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	イ 4段落目	請求されていることから地方自治体の → 請求されていることから、地方自治体の(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 1文目	よく話を聞きその内容が → よく話を聞き、その内容が(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	ふむ → 踏む		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2段落目	また、 学校において → 学校において		小林

文書・公印	1 - 29	ウ(ア)○	(目的外利用)するときや学校以外に提供 → (目的外利用)するときや、学校以外に提供(コンマ追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	手続き → 手続		橋本
文書・公印	1 - 29	ウ 3段落目 2文目	関わる → かかわる	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 30	(石川県内の事例)	(1字分 字上げ)		橋本
調査統計	1 - 31	(1) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 小学校, 中学校, 義務教育学校, 高等学校, 中等教育学校, 大学, 短期大学, 高等専門学校, 特別支援学校及び各種専修学校等	小林
調査統計	1 - 31	四角囲み内 中点1つ目	廃止, 教員養成計画等具体的な → 廃止等具体的な		小林
調査統計	1 - 31	(2)	(削除)	地方教育費の調査は用語解説のページに移動	前年度申し送りより
調査統計	1 - 31 32	(3) (4) (5) (6)	(3) 学校教員統計調査 → (2) 学校教員統計調査 (4) 教職員調査書 → (3) 教職員調査書 (5) 勤務条件等に関する調査 → (4) 勤務条件等に関する調査 (6) その他 → (5) その他	(2) 削除により変更	
調査統計	1 - 31	(3) 2文目	(学校種の追加)	幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 小学校, 中学校, 義務教育学校, 高等学校, 中等教育学校, 大学, 短期大学, 高等専門学校, 特別支援学校及び各種専修学校等	小林
調査統計	1 - 31	(3) 根拠	(規則名を1行にする、1行分上げる)		橋本
調査統計	1 - 31	(3) 2段落目	この調査には、以下の調査がある。 → (追加)		橋本
調査統計	1 - 32	(4)	勤務する教職員 → 籍を置く教職員等	校医は・・・?	橋本
学籍	2 - 1	(2)ア	生徒についても中学校卒業程度 → 生徒についても、中学校卒業程度(コンマ追加)		小林
学籍	2 - 1	1 3段落目	手続き → 手続(2か所)	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 1	2(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 1	2 2段落目	転学の場合は、当該児童…(中略)…指定するなど入学の場合と同じである。 → 転学の場合は、入学の場合と同じく当該児童…(中略)…指定する。	入学の場合と同じであると分かるように変更	橋本
学籍	2 - 2	(4) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(イ)	教科用図書給与証明書を、保護者に → 教科用図書給与証明書を保護者に(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	指導要録写 → 指導要録の写		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	すでに → 既に		橋本
学籍	2 - 3	4	盲・ろう・知的障害・肢体不自由及び病弱者 → 視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者(2か所)	1文の中に及びがたくさんあるので	橋本
学籍	2 - 3	4(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 4	5(1)エ	市町教育委員会への、卒業生 → 市町教育委員会への卒業生(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 4	5(2)ア、イ	(できれば文章変更)	H15.3.31号外 文科省令12号 可能であれば文章を変更し、できなければ次年度へ申し送り	橋本
学籍	2 - 4	5(1)イ 根拠	市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則		

学籍	2 - 5	6		分かりやすい文になるように2文に分割するか？	小林
学籍	2 - 5	6(1)ウ	前項 → イ		橋本
学籍	2 - 5	6(2)ア	転入学の際 _レ → 転入学の際(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 5	6(3)	保存期間経過後は _レ 廃棄するなど → 保存期間経過後は廃棄するなど(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ア(イ) 1文目	編入学の場合 _レ 又は → 編入学した場合又は		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(イ)	退学する場合 _レ 又は → 退学する場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(ウ)	場合 _レ 又は → 場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 9	備考欄記入例等	流行性感冒 → インフルエンザ(2か所)		橋本
学籍	2 - 10	(4)イ 1文目	臨時に、学校の → 臨時に学校の(コンマ削除)		小林
学籍	2 - 10	7(3)イ	児童・生徒・学生又は幼児 → 児童・生徒		橋本
学籍	2 - 10	7(3)ア 根拠	各市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則		
就学援助	2 - 13	1	特別支援教育への → 特別支援教育		小林
就学援助	2 - 13	2(1) 2段落目	窓口を市町教育委員会として → 市町教育委員会が窓口となり		橋本
就学援助	2 - 13	(2)、(3)、(4)の前	行間を詰める		橋本
就学援助	2 - 13	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)表内 修学旅行費	交通費、宿泊費、見学科、並びに均一に負担すべきこととなる記念写真代・医薬品代及び旅行損害保険料 → 交通費、宿泊費、見学科及び均一に負担すべきこととなるその他経費	▲全文を要綱別記1のとおり置き換えてはどうか？	小林
就学援助	2 - 15	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)の前	行間を詰める		橋本
就学援助	2 - 16	1行目	概ね → おおむね	公用文の書き方	橋本
就学援助	2 - 16	注)1	福祉担当課により → 福祉担当課から		小林
就学援助	2 - 16	(6)	振り込まれる場合と → 振り込まれる場合 _レ		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	行う場合 _レ 又は → 行う場合又は		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	取り扱い → 取扱い		橋本
就学援助	2 - 17	g 2段落目	ただし市町 → ただし _レ 市町 行われることになった場合は補助対象 → 行われることになった場合は _レ 補助対象 (コンマ追加)		橋本 小林
就学援助	2 - 17	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 18	3 見出し	(特別支援学級への → (特別支援教育		
就学援助	2 - 19	(3)表内 修学旅行費	見学科、並びに → 見学科及び		小林
就学援助	2 - 19	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本

就学援助	2 - 20	(4)イ	校長はこれを、金銭をもって → 校長は、これを金銭を(コンマ移動)		小林
就学援助	2 - 20	4(1)	窓口を福祉担当課として → 担当福祉課を窓口として		橋本
就学援助	2 - 20	4(3)	よりがたいときは厚生労働大臣が → よりがたいときは、厚生労働大臣が(コンマ追加)		小林
就学援助	2 - 21	表上	令和4年4月現在 → 令和5年4月現在	年度更新	前年度申し送りより
就学援助	2 - 21	(7) 3段落目	もっとも → 最も		橋本
就学援助	2 - 21	ページ番号	2二 → 2二	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 22	《生活保護の認定》囲み内	【参考】(2つ) → ? (5) → 削除	【参考】の基準額は改定されています。 頻繁に改定されており、この表は要りますか？ →R5.10に改訂されるので様子見？	橋本
就学援助	2 - 22	四角囲み内 (5)		過去表記に修正	小林
就学援助	2 - 22	一覧表 タイトル行	市町村 → 市町		小林
就学援助	2 - 22の2	ページ番号	2二 → 2二	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 22の3	ページ番号	2二 → 2二	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 23	ページ番号	2二 → 2二	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 24	(5)の前	行間を詰める		橋本
教科書	2 - 25	(6) ※	保管。 → 保管する。		橋本
教科書	2 - 25	(6) 根拠	第5条 → 第3条		橋本
教科書	2 - 25	ページ番号	2二 → 2二	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 27	ページ番号	2二 → 2二	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 27	(4)※①	学校には控えがなくなるので → 学校の控えとして		橋本
教科書	2 - 29	ページ番号	2二 → 2二	マイナス(半角)に	橋本
学校保健・給食	2 - 31	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 32	(エ)	行う。 → 行うとともに、		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(ア) 4文目	(1字分 字下げ)		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(イ) 5文目	(1字分 字下げ)		橋本
学校保健・給食	4 - 28	(追加)	(キ) 自動車等の運行における自動の所在確認 a 児童生徒等の通学、校外学習等のために自動車を運行するときは、児童生徒等の自動車への乗降者の際に、点呼等で児童生徒の所在を確認すること。 B 幼稚園及び特別支援学校には、通学用の自動車を運行するときは、ブザーその他の車内児童の見落としを防止する装置を装備し、降車時の①の所在を確認すること。	R4.12.28 教学指第1309号(文部科学省令第41号) 学校保健法安全施行規則(昭和33年文部省令第18号)の一部改正 通学、校外学習等で自動車を運航する際の安全管理の項目として追加 →このページでよいか確認	田端
学校保健・給食	2 - 33	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種	咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎 → 咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎	学校保健安全法施行規則 第18条	北出

学校保健・給食	2 - 34	オ 根拠	市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則		
学校保健・給食	2 - 35	(3)イ(イ)ｂ 咽頭結膜熱の次	新型コロナウイルス感染症 発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで → (追加)	学校保健安全法施行「規則 第19条	北出
学校保健・給食	2 - 35	ページ番号	(1行下げる)	ページ設定を確認してください	橋本
学校保健・給食	2 - 36	イ(イ) 2文目	除く) → 除く。)		橋本
学校保健・給食	2 - 37	2(4)	各自自治体 → 各市町		橋本
学校保健・給食	2 - 39	(8)	支払い → 支払		橋本
人事	3 - 1	1(1) 3段落目	「定年退職者等の再任用」 → 「暫定再任用」、「定年前再任用短時間勤務」	・暫定再任用とか定年前再任用短時間とか入れたらいいですかね ・臨時的任用は採用ではない・・・	橋本
人事	3 - 3～5	(例)	(例:奥能登教育事務所の場合) → (例:奥能登教育事務所) (3か所)		
人事	3 - 4	ウ 根拠	育休法__第6条 → 育休法_第6条		橋本
人事	3 - 4	オ 見出し	定年退職者等の再任用 → 定年退職者等の暫定再任用	R7年度からR10年度まで現行と同様の暫定的な再任用制度が設けられる。 オ 定年退職者等の再任用 で追記するか。	前年度申し送りより 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	第28条の4 → 附則第4条		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	地方公務員法第28条の5 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 2段落目	この制度は、定年等により退職した職員のうち、…(中略)…に発揮できるようにしたものである。 → この制度は、定年引上げ期間において、年金受給開始年齢までの継続的な勤務ができるようにしたものである。		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)ｂの次	ｃ 定年前再任用短時間勤務職員としての任期を満了して退職した者 → (追加)		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)ｃ	ｃ → ｄ	ｃ追加のため変更	橋本
人事	3 - 4	オ(ア) 根拠	定年条例附則第3条 → (追加)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ(ア)ｃ 根拠	再任用条例第2条 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 5	(イ) 根拠	地方公務員法第28条の4 → 定年条例附則第3条	根拠になる条例に変更	橋本 正井
人事	3 - 5	(エ) 根拠 (オ) 根拠	再任用条例第3条 → (削除) 再任用条例第4条 → (削除)	本文の根拠になっていない	橋本 正井
人事	3 - 5		カ 定年前再任用短時間勤務制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の4、第22条の5、附則 定年前再任用短時間勤務制 可能であれば文章を追加し、できれば次年度へ申し送り	前年度申し送りより
人事	3 - 6	イ(例)	(例:輪島市の場合) → (例:輪島市)		
人事	3 - 6	(4)ウ 1文目	職員の定年は60歳とする。…(中略)…最初の3月31日に退職する。 → 職員の定年は令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳となる。定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。		竹原 橋本
人事	3 - 6	(4)ウ	定年年齢の段階的引き上げの表を追加		竹原 橋本

人事	3 - 6		(5)役職定年制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の2～第22条の4 役職定年制による降任	前年度申し送りより
人事	3 - 6～10	(5)～(11)	(5) → (6) 以下(11)までを番号繰り下げ	(5)追加のため変更	
服務	3 - 13	1(1)※	再任用短時間勤務職員 → <u>定年前</u> 再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 14	(7) 根拠	(給与規則の文字間隔を標準に)		橋本
服務	3 - 14	(9)	平成29年4月1日以降、 → (削除)		橋本
服務	3 - 14	(9) 根拠	H29.3.2 → H29.3.22		橋本
服務	3 - 16	2(1)	<u>正規職員、臨時的任用職員</u> → <u>職員</u> 再任用短時間勤務職員 → <u>定年前</u> 再任用短時間勤務職員	臨時的任用職員？非常勤、嘱託の職員？再任用は？	橋本
服務	3 - 16	2(1)	除く) → 除く _レ)		橋本
服務	3 - 16～37	給与の取扱い 給与上の扱い 給与等の取扱い	給与等の取扱い	統一してはどうか。 3-19ウ、3-24エ、3-27エ、3-32エ、3-34オ、3-34エ、3-35ウ、3-36オ、3-36エ、3-37オ	正井
服務	3 - 16～37	付与単位・付与される 取得単位・取得できる	付与単位・付与される。	統一してはどうか。 1日、半日又は1時間 ○○の付与単位 など	正井
服務	3 - 17	ウ ※2つ目	再任用短時間勤務職員 → <u>定年前</u> 再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 17	(2)ア 中点1つ目	90日以内 → (2字分 字上げ)		橋本
服務	3 - 17	根拠の線	(下まで伸ばす)		橋本
服務	3 - 17	ウ※2つ目		根拠は？	橋本
服務	3 - 19	イ(ア)(例)	(例_金沢市学校管理規則による場合) → (例_金沢市)		
服務	3 - 20	別表1 親族の死亡欄 備考	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
服務	3 - 20	別表1 妊娠障害欄 備考	(切迫流産含むを1行目に移動)		橋本
服務	3 - 21	別表1 婚姻欄 備考	※「結婚の日」 → 「結婚の日」		橋本
服務	3 - 21	別表1 育児参加休暇 期間	産後8週間 → 産後1年	R4.9.30教職355号	橋本
服務	3 - 22	別表1 配偶者、父母子の祭日 備考欄	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
服務	3 - 24	(4)エ ※2	休業手当金 → <u>介護</u> 休業手当金		橋本
服務	3 - 24	ページ番号	3二 → 3 _二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
服務	3 - 25	(ウ)		2行目の文字間が詰まっているように見えるので要確認	橋本
服務	3 - 26	(イ)c	住民票の記載事項証明(市町長の証明) → 住民票		橋本
服務	3 - 26	(ウ)	という) → という _レ)		橋本
服務	3 - 26	(5)の前	行間を詰める		橋本
服務	3 - 26	ページ番号	3二 → 3 _二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本

サービス	3 - 27	ウ	こと → こと ₂		橋本
サービス	3 - 27	(6)ア(ア)	, → , (4か所)		橋本
サービス	3 - 27	(6)ア(イ)	取得可能 ₂ → 取得可能)		橋本
サービス	3 - 27	(6)イの前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 28	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 29	ウの前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 29	ウ 見出し	再任用短時間職員 → 定年前再任用短時間職員		橋本
サービス	3 - 29	ウ(ア)b	6:27、4:51、3:53 → 6:27、4:50、3:53	半角、数字	竹原
サービス	3 - 29	ウ(ア)c	1日又は半日※又は時間 → 1日又は半日又は時間	※とは？	橋本
サービス	3 - 29	ウ(イ)a	フルタイム勤務職員 → 再任用フルタイム勤務職員		橋本
サービス	3 - 30の3	(イ)表	産後8週間 → 産後1年	、石川県職員及び石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規則(昭和32年石川県人事委員会規則第4号)の改正。規則第11条第8号に規定する特別休暇(男性の育児参加のための特別休暇)	田端
サービス	3 - 31	(1) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		橋本
サービス	3 - 31	(1)ア	・育児休業短時間勤務代替職員 ・臨任職員 ・育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 ・定年後勤務を延長した職員 ・60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 ・任期付き短時間勤務職員	1年以内に任期が満了する職員及び定年により退職する職員の根拠は？ R4.9.30教職356号の通りに修正するか。	橋本
サービス	3 - 31	(1)ア 表内 育児休業をとることができない職員 欄	60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 まれに60歳以降も管理職になるパターンもある	前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 31～34		非常勤の育休だけ別項目にする？	R4.9.30教職356号 可能であれば文章を追加し、できれば次年度へ申し送り	橋本
サービス	3 - 31	(1)ア	育児休業をとることができない職員に追加→非常勤職員	以下例外あり 非常勤職員の育児休業 ①育児休業の対象となる職員 次のいずれにも該当する職員 ア 子が1歳6か月に達する日(以下「1歳6か月到達日」という。)までに任期(任期が更新される場合にあつては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者 ただし、子の出生後8週間(出生の日から57日間以内の期間)において育児休業をする場合は、次のいずれにも該当する職員 ア 子の出生後8週間の期間の末日から6月を経過する日までに任期(任期が更新される場合にあつては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者	前年度申し送りより 竹原
	3 - 31	(1)イ 見出し	期間 → 期間等	イに2回までの記述をするなら等を付ける	橋本
サービス	3 - 33	(2) ア	(イ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 60歳以降も管理職になるパターン	前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 33	(2)ア(ウ)(エ)	(ウ)育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 (エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督者を占める職員(オ)定年の特例により勤務を延長されている職員	変更、並び替え	竹原
サービス	3 - 33	(2)ア(エ)	(エ) → (オ)	通知どおりの順番で書くようになります。	前年度申し送りより

服務	3 - 36	(6) ア	定年退職前 <u>5</u> 年以内 → 定年退職前 <u>10</u> 年以内	R5.3.10教職724号	前年度申し送りより
服務	3 - 36	(6)ア	定年から10年を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年の4月1日以後ただし、定年退職日が令和13年3月31日以前の職員については、定年から下表の定年退職日に対応する年数を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年度の4月1日以後 → (追加)	どこに追加？	前年度申し送りより 竹原
服務	3 - 36	(6)ア	(表を追加) 定年の段階的延長 R5.4.1改正 定年退職日 年数 令和7年3月31日→6年 令和9年3月31日→7年 令和11年3月31日→8年 令和13年3月31日→9年		
服務	3 - 37	4の前	(1行空ける)		橋本
服務	3 - 39	ア 根拠	20項 → 第20項		橋本
服務	3 - 39	【私傷病休職】の図	成人病 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病		橋本
服務	3 - 41	5(1)ア	(教員免許状更新講習の受講も含める) → (削除)		橋本
服務	3 - 42	(1)	薄くする _u → 薄くすること又は免除する。 → 免除することである。		橋本
服務	3 - 43	(2)ア 根拠	(位置を調整)		橋本
服務	3 - 43	8		電子記録による出勤管理について記載するか。	次年度申し送り
給与・諸手当	3 - 45～74	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 46	(5) 根拠	給与規則 第2条、第20条 → 第2. 20条	原稿作成要領のとおり	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 46	(4)イ(ア)、(イ)、(オ) (6)ア(イ) (6)イ(ア)	(インデントを修正)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	除く) → 除く _u)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	成人病等 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病等		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(9) 中点2つ目	(上の中点に合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 48	(11)	60歳以降の給料の取り扱いについて 国家公務員の定年引き上げにおける取り扱いを踏まえ、 当分の間、特定日(60歳に達した日後の最初の4月1日。 以下同じ)以後、給料月額を7割水準とする措置を講ずる。 (非常勤職員を除く) → (追加)	R4.10.13教職388号 給与条例附則 60歳以降の給料	竹原
給与・諸手当	3 - 48	(11) 根拠	R4.10.13教職388号 給与条例附則 60歳以降の給料		前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ 根拠	(第2を右寄せ)		橋本
給与・諸手当	3 - 50	(3)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 51	2(1)ウb	除く) → 除く _u)		橋本
給与・諸手当	3 - 52	(3)アb(a)～(c) (3)アd(b) (3)アe(a)～(d)	(2行目以降のインデント調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 53	[扶養手当を受けられる範囲図]	この <u>他</u> → この <u>ほか</u>		橋本

給与・諸手当	3 - 53	(イ)f	受けたり、又は → 受けたり、 大学院修学休業 → 大学院修学休業等	自己啓発等休業、配偶者同行休業の間も支給されません	橋本
給与・諸手当	3 - 54	(ア)a	(別表参照) → (削除)	別表はどこに？	橋本
給与・諸手当	3 - 55	(ウ)a、b		分かりやすくする。認定なのか資格喪失なのか。	橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ア 2文目	場合は支給。 → 場合も支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)イ(エ)※	優先 _上 → 優先		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ	額 _上 → 額		橋本
給与・諸手当	3 - 58	ク	任期付職員を含む → 臨時的任用職員、短時間再任用職員を除く。		橋本
給与・諸手当	3 - 59	コ 2段落目	平成24年4月1日改正 → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 60	〈別表2〉	[注1] → ・ [注2] → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 各欄和暦	提出年月日、受付確認年月日 4年 → X年 所得の合計額 3年 → X年	ここはX年じゃなくていいんではたっけ？	橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 62	児童手当・特例給付額改定 認定請求書 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 65	c(b) 2文目	インターネット上で公開されている地図ソフト → ウェブ 上で公開されている地図サイト		橋本
給与・諸手当	3 - 68	ウ	案分 → 按分		橋本
給与・諸手当	3 - 70	ページ全体	(行間を狭める)	ページ設定or段落の設定で	橋本
給与・諸手当	3 - 70	(エ)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	カの前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	(7)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 75	[注]3の下	(3の前へ移動、協議のあとで改行)		橋本
給与・諸手当	3 - 75	[注]3の下	(1字上げる)		
給与・諸手当	3 - 75	イ 本文	(1字下げる)		橋本
給与・諸手当	3 - 76	オ 提出書類	・添付書類 → (1字下げる) 配偶者との別居の～ → (1字下げる) 配偶者と別居することが～ → (1字下げる) その他～ → (2字下げる)		橋本
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 表内	義務養育学校 → 義務教直学校(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 根拠	特勤手当条例 → 特勤手当規則		橋本
給与・諸手当	3 - 78	(イ)表内 第1項第2号 業務 の種類欄	実施するものに限る → 実施するものに限る _上		橋本
給与・諸手当	3 - 80	事例2 手続・処置等欄 中点5つ目 2行目	(1字下げ)		橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例6、7勤務の割り振りをし ない場合、8 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4、5に同じ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本

給与・諸手当	3 - 81	事例7 勤務の割り振りをしない場合 手続・処置等欄	条例第10条の4第1項3号業務 → 対外運動競技等	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例8 手続・処置等欄	注:部活動手当の支給対象 → (削除) ・部活動手当のみ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 83	表	(上の線を調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	教員特殊業務手当実績簿 → 教員特殊業務手当		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(細い線を削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(○印 → 丸囲みの印)(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)	一律支給される。(出費がかさむ時期の生計補給的な手当) → <u>出費がかさむ時期の生計補給として、一律支給される。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)ア 中点4つ目	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 88	(ウ)b(c)	育児休業期間の2分の1の期間 → 育児休業期間の2分の1の期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。))。		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)	勤務成績に応じて支給される。(能率給的な手当) → <u>能率給的な手当として、勤務成績に応じて支給される。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	育児休業期間の全期間。 → 育児休業の全期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。))。		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	部分休業をした職員については → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 92	期末手当・勤勉手当の除算について 表	(追加)	(育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。)を表内に追加	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11) 2文目、4文目	(削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(7)	白山保護自然センター中宮展示館 → 白山保護自然センター中宮展示館 白山自然保護センター白峰駐在地 → 白山自然保護センター白峰駐在地		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(7)	指定公署 → 指定公署(抜粋)	駐在所とかは載せなくてよいのでは?	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(7)金沢市 白山市	湯涌駐在所, しらやま交番, 河内駐在所…(削除)	駐在所・交番を削除	
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員 → (イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 1文目	(1字下げる)	「ただし、旧白山麓5村～」です	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(経過措置について記述を削除)	「※支給地域の～」から「H29.11～」まで	橋本
給与・諸手当	3 - 97～ 100	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	※	場合。 → 場合(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	(12)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 98	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本

給与・諸手当	3 - 99	(14)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)ア	[給料の月額+ 扶養手当] → [給料の月額+ 扶養手当]		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(15)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	・算出方法及び支給割合	・ → オ		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(16)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ウ 根拠	第4条 → 第5条	石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)ア(7)a	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 104	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19)	60歳に達した日以後、非違によることなく退職した者の退職手当の基本額については、当分の間、退職事由を「定年退職」として算定する。また、職員が特定日から7割水準以下の給料月額となる場合等は、退職手当の基本額の計算方法の特例(ピーク時特例)を適用する。 → (追加)	根拠わかる方、追加してほしいです	竹原
給与・諸手当	3 - 105 の2	早見表 定年 31年	42.80375 → 42.31035		橋本 8/31追加
給与・諸手当	3 - 105 の3	ア、イの前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 107	期末手当 勤奨手当 表	(勤奨手当の支給率を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①ボーナス支給率	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 107	期末手当勤奨手当表	1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 → 1.150 1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 1.150	支給率変更	竹原
給与・諸手当	3 - 107	期末手当 勤奨手当	(支給割合を変更)	定年前再任用短時間勤務職員に	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 特地勤務手当	※経過措置あり(令和2年3月31日まで) → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	所得制限限度額以上所得上限限度額未満 5,000円 → (一番下の行に追加)	特例給付は全部なくなったわけじゃありませんでした・・・昨年のミスです。	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	H24.6～ → R4.10～		橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 時間外勤務手当・休日勤務手当	(縦の線を調整)	微妙にずれています	橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 通勤手当	ア、交通機関等利用者 → ア_交通機関等利用者 イ、交通用具 → イ_交通用具 ウ、併用者 → ウ_併用者	アと交通機関等利用者の間にスペース、のように	橋本
給与・諸手当	3 - 110 ～ 114 の2	ページ全体	(給料表を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①給料表改正	前年度申し送りより

給与・諸手当	3 - 113	ページ番号	3-113 → 3-113		橋本
給与・諸手当	3 - 115		3 非常勤職員の報酬等 → (追加)	安江さんから案をいただいています → <u>その場合大分類の番号が繰り下がる</u> 会計年度の人(非常勤講師)の報酬を説明したページがない。時間給ですよ、とか、手当はないですよ、とか。例規集に根拠が載ってるような気がします。P3-31の休暇の部分では、昨年度の改訂作業でこっそり登場してますけどね。給与でなく報酬なので、入れるとしたら、3-115の前か。	前年度申し送りより 橋本
給与・諸手当	3 - 115 118	3 4	3 → 4 4 → 5	非常勤職員の報酬等を追加するなら番号繰り下げ	
給与・諸手当	3 - 115	3(1)ウ(7)	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 115	3(1)エ(4)	、 → 、(4か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 115 118 の2	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(エ)	全額 → 税額(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(エ)	退職手当等に対しては、退職所得控除額の → 退職手当等に対しては、「 <u>退職所得の受給に関する申告書</u> 」を提出した場合、退職所得控除額の		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(2) 3文目	125万円 → 135万円		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(3)	という) → という。)		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4) 2文目	均等割を合計して計算する。 → 均等割がある。		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4)イ	均等割の計算 → 均等割の税額		橋本
旅費	3 - 119	1(1)	エ 同一地域(追加)		橋本
旅費	3 - 119	1(3) 1行目	旅費 → 旅費		北出 橋本
旅費	3 - 119 128	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
旅費	3 - 120	(6)ア	時刻表等参照のこと → 時刻表等を参照のこと		橋本
旅費	3 - 120	(カ)	最繁忙期(400円増)(追加)	要確認	
旅費	3 - 120	(キ)	確認して削除	要確認	橋本
旅費	3 - 123	ウ 囲み内	(交通費規定額+宿泊料規定額のフォントの色)		橋本
旅費	3 - 124	(10)、(11)の前	行間を詰める		橋本
旅費	3 - 124	(10) 根拠	旅費のキャンセル支給に係る運用の → H28.10.6(県教委)旅費のキャンセル料支給に係る運用の見直しについて H28.10.6 県教委	キャンセル料の「料」がない。文書の発信日と発信者を先に示す。発信者はカッコ書き。	前年度申し送りより
旅費	3 - 125	(12)イ	取扱 → 取扱い		橋本
旅費	3 - 125	(12)ア(ウ)	その月の月末まで → 支給後5日以内(遅くとも月末まで)		北出
旅費	3 - 125	表内 中能登 旅費計算書締切日	5日 → 7日		

旅費	3 - 127	(イ)	----- → -----	もう少し点線っぽくなったらいいかな 半角ハイフンと半角スペースで	橋本
旅費	3 - 128	ウ(ア)	支給しない → 支給しない		橋本
旅費	3 - 129	表内	名古屋往復割引きっぷ 確認して削除	要確認	
福利厚生	3 - 131	(1)、(2)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 131	(2)表 長期給付欄	(リフレッシュ給付金を追加)	概要欄「リフレッシュ休暇取得者に給付を行う。」 内容欄「リフレッシュ給付金」	橋本 正井
福利厚生	3 - 132	(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 132	(3) 互助会会員の規定変更	会員から除く 2ヶ月以内の期間を定めて使用される教職員であって当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれないもの	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正 可能であれば共済組合・互助会の文章を変更し、できれば次年度へ申し送り	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員○	臨任職員 2ヶ月を超える任用期間が要件であることや、臨任職員に係る経過措置があるが、共済組合員となれば、同時に互助会員となる。	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員×	再任用短時間職員(週31時間勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務で3月のみ17日<旧嘱託職員>) 会計年度任用職員(週29時間～週20時間勤務<旧臨時職員・旧パート職員>)	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 臨任職員 (育休代替職員は変更なし)	組合員種別:一般組合員 → 短期組合員 長期給付(厚生年金):共済組合 → 日本年金機構 短期給付(健康保険):共済組合 → 共済組合	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 2ヶ月以内の期間を超えないもの	組合員種別:一般組合員 → 組合員資格なし 長期給付(厚生年金):共済組合 → なし(国民年金) 短期給付(健康保険):共済組合 → なし(国民健康保険)	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3) 2ヶ月の取扱い	①2ヶ月以内に期間を定めて使用される者であって、当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれない者 ②2ヶ月以内の期間を定めて使用されるものであって、当該定めた期間を超えて引き続き使用されることが見込まれるもの →当初(採用時)から組合員資格を取得する ③上記①に該当した方が、引き続き使用され、合わせて2ヶ月を超えることが見込まれた場合→引き続き使用された時点から組合員資格を取得する	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(3文目に追加) 組合員には、主に一般組合員と短期組合員の2つの組合員種別がある。		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(追加)	(案) (ア) 一般組合員 主にフルタイムで勤務している常勤職員が該当する(臨時的任用職員を除く。)。共済組合が実施する全ての事業が適用される。 (イ) 短期組合員 臨時的任用職員等が該当する。短期給付、福祉事業が適用される。長期給付は適用されないため、日本年金機構の厚生年金に加入し、日本年金機構に保険料を納める。	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[共済組合] → ア 共済組合	講師・非常勤の共済組合 一般組合員／短期組合員	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	任期付任用職員・臨時的任用職員等 → 任期付職員等		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[互助会]	任期付任用職員 → 任期付職員		橋本

福利厚生	3 - 132	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[共済組合] → ア 共済組合		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 2段落目	(徴収されるのあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 3段落目	(徴収されるのあとに3文目を挿入し改行する)		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 137	(10)	詳細を追加するか検討	R4.9.16 公共石669号 育休中の掛金免除について追加で記載するか？ 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)	ついて → ついても		橋本
福利厚生	3 - 133	(5) 提出書類	・被扶養者の認定申告書 → ・被扶養者認定申告書		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表内 共済組合の被扶養者の所得制限欄	障害年金受給者又は60歳以上の公的年金等の受給者 → 障害年金を受給する程度の障害がある又は60歳以上	R5.2.3 公共石1039号	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表	パート勤務を_始めた → パート勤務を始めた 被扶養者__取消し → 被扶養者取消し		橋本
福利厚生	3 - 135	(6)	死亡したとき、又は → 死亡したとき又は		橋本
福利厚生	3 - 135	(7)、(8)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄 被扶養者出産欄	42万円 → 50万円(それぞれ2か所)	要確認	橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄	母子手帳(写) → 母子手帳等(写)		橋本
福利厚生	3 - 137	(10)、(11)、(12)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 137	(11)、(12)	(11)災害にあったとき → (11)_災害にあったとき (12)交通事故にあったとき → (12)_交通事故にあったとき		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 1文目	(ただし、昭和19年4月1日までに生まれた方は1割) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 2段落目	また、自己負担部分が一定の金額を越えた場合には、後日共済組合から一部負担金払戻金又は家族療養費附加金として給付される。 → (2文目に追加)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ウ 中点1つ目	「2_地方公務員の災害補償制度」 → 「2_地方公務員の災害補償制度」		橋本
福利厚生	3 - 139	オの前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)	医療費の自己負担補助については、 → (削除) 以下で求めた金額が給付される。 → (追加)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)b	が給付される。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	(給付される。のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	提出書類_(ア) → 提出書類__・(ア)	スペースを追加してカ(イ)の提出書類と揃える	橋本

福利厚生	3 - 139	キ	健康保険法適用外で病氣治療の目的で、はり・きゅう・あんま・指圧・マッサージを受けたとき → 健康保険法適用外で、はり・灸・あんま・指圧・マッサージ(病氣治療)を受けたとき		橋本
福利厚生	3 - 140	(14)、(15)	(14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき → (14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき (15)給料が支給されなくなったとき → (15)給料が支給されなくなったとき		橋本
福利厚生	3 - 140	(15)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 141	(16)表 教育貸付欄	(文章変更)	R4.8.8 事務連絡 「組合員、被扶養者又は被扶養者でない子、孫若しくは兄弟姉妹が小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校又は各種学校に入学又は修学するため資金を必要とする場合」	橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)	(17)永年勤続をしたとき → (17)永年勤続をしたとき (18)退職後の療養について → (18)退職後の療養について		橋本
福利厚生	3 - 143	2 3段落目	非常勤職員の場合は地方公務員災害補償法に基づく条例、労働者災害補償保険法、 → 非常勤職員の場合は労働者災害補償保険法により国が、		橋本
福利厚生	3 - 143	(1)の前	行間を詰める		橋本 8/31追加
福利厚生	3 - 144	表 天災地変欄	公務上 → 公務上とする		橋本
福利厚生	3 - 144	(2)の前	行間を詰める		橋本 8/31追加
福利厚生	3 - 144	(2) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		前年度申し送りより
福利厚生	3 - 144	(2)	往_復 → 往復		橋本
福利厚生	3 - 144	(2) 表内 勤務場所欄	限る) → 限る。)		橋本
福利厚生	3 - 148	表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等(2か所)		橋本
福利厚生	3 - 149	(イ)表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等		橋本
福利厚生	3 - 154 ～ 160	ページ番号	(下げる)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	昭和61年4月の改正で、国民年金はその他の公的年金制度の基礎となる年金制度となり、 → 国民年金は公的年金制度の基礎となる年金制度で、		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	厚生年金に二重に加入している。 → 厚生年金保険にも加入している。		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 民間サラリーマン	(報酬比例) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 公務員等	退職等年金給付 → 年金払い退職給付		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	(定額部分) → (削除)	基礎年金＝定額部分ではない	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 右側	厚生年金(報酬比例部分) → 厚生年金(報酬比例)	民間も公務員も厚生年金が報酬比例なのは同じ。	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 表下	国民年金及び年金 → 国民年金及び厚生年金		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(ア)、(イ)、(ウ)	国民年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)(3か所)		橋本

福利厚生	3 - 155	(2)ア(イ)	者に対して → 場合に		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)イ(ア)	共済年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 全文	本来、老齢厚生年金は65歳からの受給となっているが、受給開始年齢が引き上げられたことの経過措置として特別支給の老齢厚生年金が支給されている。受給開始年齢は生年月日と性別に応じて異なる。(文章変更)		橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 2文目	(削除し、受給要件を箇条書き)	受給要件 ・厚生年金被保険者期間(注1)が1年以上あること ・受給資格期間が10年以上あること	橋本
福利厚生	3 - 156			経過時職域加算、年金払い退職給付についての記述がない 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り	橋本
福利厚生	3 - 156	(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目	60歳から65歳までの間支給。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目 文末	3-156(イ)参照 (追加)	(文の終わりに3-156(イ)参照？を追加)	橋本
福利厚生	3 - 157	エ	繰り上げ支給 → 繰り上げて受給		橋本
福利厚生	3 - 157	オ 1文目	(文章変更)	年金の受給開始を66歳から75歳までの間に先延ばし することができる。	橋本
福利厚生	3 - 157	オ	(することができる。 のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 157	オ	1ヵ月 → 1ヵ月		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)ア	老齢基礎年金の支給額は777,800円(令和4年度水準)。 → 令和5年度の支給額は67歳以下は795,000円、68歳 以上は792,600円。	(1文すべて変更)	橋本
福利厚生	3 - 157	(6)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)ア	老齢厚生年金 → 老齢年金		橋本
福利厚生	3 - 158	(8)、(9)、(10)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(10)イ 2文目	但し、 → ただし、		橋本
福利厚生	3 - 159	(2)、(3)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)ア	臨時的任用職員を除く → 短時間再任用職員、会計年度任用職員を除く。		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)イ	できるものであること → できる。		橋本
福利厚生	3 - 159	(4)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(4) 2段落目	通帳はなく契約証書のみで → 通帳の発行に代えて契約証書が交付される。 財形貯蓄残高報告書が年2回契約金融機関より → また、年2回財形貯蓄残高報告書が金融機関より		橋本
福利厚生	3 - 160	中点2つ目	又は、 → 又は(コンマ削除)		橋本
福利厚生	3 - 160	3行目	預金 → 預入		橋本

福利厚生	3 - 160	(5)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(5) 表内 一般財形貯蓄 要件違反の課税	(斜線入れる)		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)	雇用・能力開発機構 → 勤労者退職金共済機構		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)〇2つ目	特に定められている。 → 定められている。		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)ア～ウ	もの _ㄴ → もの(3か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(3)ア 根拠	(義務教育費国庫負担法の倍率を80%に)(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	下部表内 交付金	〃 改築 → 学校給食施設 改築	▲「〃」ではなく具体的に表記してはどうか？	小林
校費・学校予算	4 - 2	イ 根拠	(学校職員給与負担法の倍率を90%に)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	※表内 交付金	地震防災(耐震補強) → 補強 地域学校連携施設整備1/3 → (削除) 木の教育環境整備1/3 → (削除)		橋本
校費・学校予算	4 - 3	2(3)ア 根拠	地方自治法 第209、209条 2 → 第209条	209条全体が本文の根拠になっていますので、包括的に。 どうせ、209条は1項と2項しかないのです。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア 根拠	地教行法 第25、25条 4 → 第25条 1、4	この表記の方がスマート。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	(4)	概ね → おおむね		橋本
校費・学校予算	4 - 5	(3)	保証 → 保障		橋本
校費・学校予算	4 - 6	(5)	はかり → 図り		橋本
校費・学校予算	4 - 7	イ	かかる → 係る		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ	行う。 → 行う <u>ことである</u> 。		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ 3文目	支払い → 支払		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2段落目	手続き → 手続(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2～3段落目	支払い → 支払(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(10)	おこなわれて → 行われて		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11)	すでに → 既に		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11) 2文目	石川県公立小中学校教育事務研究会 → (文の始めに追加)		橋本
校費・学校予算	4 - 9	4(1)ア	備え付け → 備付け		橋本
校費・学校予算	4 - 10	1行目	とする) → とする _ㄴ)		橋本
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 1段落目	お慶び → お喜び		小林
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 3段落目	致します → <u>いた</u> します		小林
校費・学校予算	4 - 12	エ 例内 2段落目	致します → <u>いた</u> します		小林

校費・学校予算	4 - 12	(4)ア	含む) → 含む _レ)		橋本
校費・学校予算	4 - 13	イ(イ)※	ある) → ある。)		橋本
学校の施設・設備	4 - 15	(2) 根拠	(削除)	「H14(文科省)第14,15号」は、あまりにもざっくりし過ぎたいいい加減な書き方。何という通知の14号、15号なんだろう？いまさら追跡できないのであれば、消しませんか。20年も前の通知です。 →「H14(文科省)第14,15号」はそれぞれ「小学校設置基準」「中学校設置基準」のことなので根拠は削除しましょう(橋本)	前年度申し送りより
学校の施設・設備	4 - 15	1(2)ア(ウ) 全文	(校舎には少なくとも教室(普通教室、特別教室等)、図書室、保健室及び職員室を備えるものとする。また、必要に応じて特別支援学級のための教室を備えるものとする。)(文章変更)		橋本
学校の施設・設備	4 - 16	イ	(削除)	もういない	橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)e、i	(削除)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f～o	(e、iの削除に伴い番号繰り上げ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f	(d) バリアフリー化等施設整備工事(追加) (g) 防犯対策施設整備工事 → (e) 防犯対策施設整備工事 (f) 特別防犯対策施設整備工事(追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 18	(b)1文目	チームティーチング → ティーム・ティーチング (中点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 18	イ(ア) 根拠	(理科教育振興法施行令を倍率80%に)		橋本
学校の施設・設備	4 - 19	ウ(エ)	利用するときは、学校の管理機関と… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 19	カ(イ)a	改_造 → 改造(スペース削除)		小林
学校の施設・設備	4 - 20	エの前	行間を詰める		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	キ	反する結果にもなるので、学校構内に… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)ア	明確にする → 明確にする _レ (句点追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(ア)～(イ)	除く) → 除く _レ)		小林
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	いう) → いう _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学校の施設・設備	4 - 23	(ウ)e※	kL → kL(2か所)		橋本
学校の施設・設備	4 - 23	(エ) 1文目	場合があるので、_注意が必要である。 (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 24	キ(イ)	学校の実態に応じて定め、_実施する… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 25	四角囲み 左から2個目	学校内で処理できる <u>こと</u> → 学校内で処理できる <u>もの</u>		小林
学校の施設・設備	4 - 25	(8)イ	含む) → 含む _レ)		橋本
学校の施設・設備	4 - 25	(8)ウ 1文目	健康上よい環境ではないため、_学校などの… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 26	オ(ア)	<u>上司</u> の指揮 → <u>校長</u> の指揮	上司ではない、文言に言い換え	小林
学校の施設・設備	4 - 26	(10)	(10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理 → (10)_児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理		橋本

学校の施設・設備	4 - 27～28	ア～イ		内容が古いので更新したい	次年度 申し送り
学校の施設・設備	4 - 27	2段落目	(2行目を1字上げる)		橋本
学校の施設・設備	4 - 27	同ページ内(11か所)	こと → こと _レ (句点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 27	ア(ウ)b	非常時においては _レ 常に複数の教職員で対応する体制をとるなど _レ あらゆる… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 28	同ページ内(7か所)	こと → こと _レ (句点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 28	(カ)c	取り組み → 取組		橋本
学校の施設・設備	4 - 28	※3	火災以外の緊急時において使用したときは _レ その緊急内容と火災でない旨を当該報知を受けた人々に早急に周知するとともに _レ 消防機関に速やかに連絡する等の配慮がなされること。(読点追加)	読点が一つも無い文章のため、入れました。	小林
物品	4 - 29	(例)	(例 _レ 金沢市) → (例 _レ 金沢市) (3か所)		
物品	4 - 29	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 29	1(1)ア	その他 → その他 _レ		橋本 8/31追加
物品	4 - 29	1(1)ア	除く) → 除く _レ)		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	1万円 → 5万円		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	考古資料並びに図書館等で保存する蔵書を除く。) → 考古資料を除く。)又は2年以内に消費するもの		橋本
物品	4 - 29	1(3)イ	物 → もの		橋本
物品	4 - 30	見出し	(4)物品・分類 → (4)分類・整理	目次の文言に合わせる	前年度申し送りより
物品	4 - 30	(4)	物品出納員又は物品取扱員 → 物品出納員		橋本
物品	4 - 30	2(1) 囲み内(2)、(3)	(文章1字ずつ下げる)		橋本
物品	4 - 31	(2)の前	詰める		橋本
物品	4 - 31	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 33	ページ番号	(下げる)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 1	2(1)	2行目先頭に中点「・」があるので、前の行の最語尾に移動する。(中点の移動)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 1	(1)、(2)の前	行間を詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 3	(3)の前	行間を詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 28の2		タイトル部分:職員一覧 各項目:該当する職員をチェック 様式集より出力:(各ページ下部に記述する) (統一)	ページによって表記がバラバラなのが気になります (職員の選択欄にチェックが良いかな?) (職員?職員の確定?) 統一 各事務所によっては出力様式以外を使用している	橋本
給与・共済互助会システム	5 - 18		…保管し、コピーを本人に渡す。 → …保管する。		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 7	⑤	画面がでる → 画面が出る		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林

給与・共済互助会システム	5 - 8	③	クリック。 → クリック		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 10	④	(フォント修正)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管する → 保管する _レ (句点追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点2つ目、3つ目	(受け取るのあとで改行せずに詰める、中点3つ目削除)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部の四角囲み内 2行目	申告書を出力 _レ → 申告書を出力する _レ		小林
給与・共済互助会システム	5 - 22	⑩の前	「 → 「		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 24	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	(2, 3行目を1字下げ)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 29	一覧表内 その他 中点2つ目	変更があったときは変更内容を → 変更があったときは _レ 変更内容を(コンマ追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 30	一覧表内 3月	削除	空欄になっている。残しておく必要はあるか？	小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 29～30 用途等欄	職員確認用 → 職員記入用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 31 用途等欄	職員配付用 → 職員記入用		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(エ)	連絡する) → 連絡する _レ)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(カ) 2文目	読点をコンマに変更(2か所)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	所属別帳票を選択し各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書はミシン線入りの用紙に印刷し該当職員に → 所属別帳票を選択し _レ 各種帳票を…(中略)…給付金等支払通知書は _レ ミシン線入りの用紙に印刷し _レ 該当職員に(コンマ追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	忘れずに出力する → 出力する		橋本
学校事務用語の解説	5 - 36	「及び」と「並びに」 2文目	ふつう → 普通		小林
学校事務用語の解説	5 - 37	ガイドライン	(説明文1字下げる)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	中学校・高等学校 → 中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	新学習指導要領のスケジュール～令和3年4月から中学校で全面实施 → (削除) 現行の学習指導要領は平成29年3月31日に告示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から実施されている。 → (追加)	移行スケジュールのうち、周知・徹底、移行措置開始は削除しても良いのでは	橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	課税対象給与額	除く) → 除く。)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	寡婦・寡夫	又は妻(夫) → 又は夫(妻)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 41	教員免許更新制 2段落目	仕組みが始まる → 仕組みが始ま _{つた}		小林 橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 1文目	含む) → 含む _レ)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 3文目	(削除)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	(追加)	36協定 → (追加)	労働者に法定労働時間を超えて労働させる場合や、休日労働をさせる場合に、労働者と結ぶ取り決めのことであり、労働基準法第36条に定められた労使協定であることから、通称「36(サブロク)協定」と呼ばれている。	前年度申し送りより 竹原

学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法	(国庫補助金とコンプライアンスの間に移動、インデント調整)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法 4文目	施行される → 施行されている		小林
学校事務用語の解説	5 - 46	(追加)	地方教育費調査 → (追加)		前年度申し送りより
学校事務用語の解説	5 - 47	チーム・ティーチング	チーム・ティーチング → ティーム・ティーチング (通学区域の弾力的運用の次へ移動)		小林
学校事務用語の解説	5 - 48	ねんきん特別便	(文章変更)	社会保険庁(当時)が公的年金の加入記録の確認を目的として、平成19年12月から平成20年3月までに加入者・年金受給者に送付した通知書。これに併せて、公立学校共済組合からも共済年金の加入記録の確認のため公務員共済ねんきん特別便が送付された。	橋本
学校事務用語の解説	5 - 50	メンタルヘルス	このため産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ心身の健康に → このため産業界や労働組合でも身体の健康とあわせ心身の健康に		小林
学校事務用語の解説	5 50の2	(追加)	リフレッシュ休暇 (追加)	互助会にリフレッシュ給付金があるが、リフレッシュ休暇については一切記載がない。 可能であれば文章を追加、できなければ次年度へ申し送り	
学校事務用語の解説	5 -	(追加)	統合型校務支援システム → (追加)		小林
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 56	大分類-人事 表内 各種手当認定簿(退職/異動者)欄	現況届等通勤届 → 現況届等通勤届		橋本
物品分類表	5 - 62～66	物品分類表	(改正のため差替え)	修正案できました	橋本
教科書事務・質疑応答	5 - 72	4つ目の【答】	冒頭スペース 1文字分削除		小林
教科書事務・質疑応答	5 - 73	1つ目の【答】	(削除)	▲現在は理科の給与の仕方が学年ごとの給与になっている。削除してもよいのではないかな？	小林
事務職員研修体系(通知)	5 - 75	ページ番号	(中央揃えにする)		橋本

教育事務ハンドブック

令和5年度

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.8.1

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 850円 → 1,080円、 中学校 770円 → 1,000円	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)	
		全体	項目の各細別の間にある行間を詰める	全体において、項目の各細別は空白行をいれず、項目を入れる。各細別の「ア」や「(ア)」なども同様に処理する。原稿作成要領に明記するか。 下記例の様に間に行間を空けない。 例) 設又は公認の機関である。 (1) 学校の種類	前年度申し送りより
		全体	市町学校管理規則 市町立学校管理規則 → 市町学校管理規則 各市町立学校管理規則 (表記を統一)	根拠の「学校管理規則」がページによって表記が違う 1-17、3-2、3-6、3-19、3-20: 市町学校管理規則 2-4、2-34: 市町立学校管理規則 2-10: 各市町立学校管理規則 市町学校管理規則で統一	橋本
		全体	例: ○○ 例: ○○ → 例: ○○ 例: ○○による場合 (表記を統一) 例: ○○の場合	例がページによって表記が違う 1-24、2-16: 例: ○○ 1-26、1-27、1-28、4-29: 例: ○○ 3-3、3-4、3-5、3-6: 例: ○○の場合 3-19: 例: ○○による場合	橋本
		全体		○○参照もページによって表記が違う	橋本
学校及び学校事務	1 - 1	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編成の基準(抜粋) 表内	小学校・同学年の児童で編成する学級 第1、2、3学年 35人 → (削除) 小学校・同学年の児童で編成する学級 第4学年～第6学年 40人 → (削除)	義務標準法 第3条.2 に合わせて	北出
学校及び学校事務	1 - 3	1(2)ア 小・中学校学級編成の基準(抜粋) 表下	表下に小学校の学級編成の標準の引き下げについての記述を追加	経過措置について	
学校及び学校事務	1 - 5	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 6	(5) 4文目	ただし、二以上の学校の運営に関し、相互に… (読点追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 6	(5)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 7	1行目	取り組み → 取組	公用文の書き方	橋本
学校及び学校事務	1 - 7	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 7	ウ)の後ろ	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア ・3つ目 2文目	これを受けた地教行法は、教育機関である… (読点追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 8	(1)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点4つ目	・ → イ	任命権者は位置づけとはちょっと違うかな?	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目の前	ウ 学校事務職員の職務規定 → (追加)	見出しの追加	橋本
学校及び学校事務	1 - 9	イ 見出し	イ → エ		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	2段落目	平成29年4月の改正 → 平成29年4月の <u>学校教育法の改正</u>		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校及び学校事務	1 - 9	上から2文目	ただし、指定都市の設置する学校の県費負担教職員の任免等についての事務は、当該指定都市… (読点追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 9	イの前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 9	(3)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 10	(4) 1文目	学校事務職員の職務の範囲は、自治体や勤務校… (読点追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 10	下部 四角囲み内 6文目	職務を遂行して行けるよう → 職務を遂行していただけるよう		小林
学校及び学校事務	1 - 10	(4)の前	行間を詰める		橋本
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 1文目	所管に属する学校のうち、その指定する… (読点追加)		小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目	箇条書き	文章がわかりにくい	小林
学校及び学校事務	1 - 11	(5) 4段落目 根拠	地教行法施行令第7条の2 → (追加)		
学校及び学校事務	1 - 11	(5)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 15	(1)ア 2文目	意思決定行われ、統一的な… (読点追加)		小林
文書・公印	1 - 15	(2)ア(イ) 1文目	何れか → いずれか		小林 橋本
文書・公印	1 - 16	(3)イ(ア) 1文目	(4字分 字下げ)		小林 橋本
文書・公印	1 - 17	(5)ア(ア)	文書の收受とは、…(中略)…文書取扱担当者が確認して受け取ることをいう。 → 文書の收受とは、…(中略)…文書取扱担当者が受領したのち一定の手続に従って整理し、文書の到達を確認することであり、通常、受付という。		橋本
文書・公印	1 - 17	(5)イ 見出し、1文目	(削除)		橋本
文書・公印	1 - 18	ウ 見出し	ウ → イ		橋本
文書・公印	1 - 18	ウ)※公文書の流れの例	各担当者又は供覧 受付 の線を消す	受付と各担当者又は供覧の間の線は？	橋本
文書・公印	1 - 18	イの前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 19	(b) 1文目	個人の場合は、その氏名 → 個人の場合はその氏名 (コンマ削除)		橋本
文書・公印	1 - 20	(C) 1文目	かぎ括弧等 → かぎ括弧等(中点削除)		小林
文書・公印	1 - 20	(d)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 20	ウ)a	共に → とともに	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 20	下の方	詰める	往復文書の一般的形式(事例)がおさまるなら1-17~1-20にかけて行間削除等で詰められるのであれば詰める。修正一覧表には載せない。	橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ア) 2文目	且つ → かつ		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 2段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 3段落目	保管 → 保存		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 1段落目	保存文書が保存期間を経過したとき、 → 保存期間を経過した文書を		橋本
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 2段落目	漏洩 → 漏えい		橋本
文書・公印	1 - 22	四角囲み内 最終段落	改行しない	▲また、近年、…の1文は「改行」ではなく、前文に続けられよいのではないか？	小林
文書・公印	1 - 22	※文書管理方法とファイリングシステム ○4つ目	おこない、 → 行い、		橋本
文書・公印	1 - 24	2(2) 2段落目 根拠	(各市町教委公印規則の倍率を90%に)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2行目	(1字分 字下げ)		橋本
文書・公印	1 - 24	2(4)ウ 2文目	改行しない		橋本
文書・公印	1 - 25	3(1) 4段落目	「個人情報保護法(条例)」の後で改行	保護法(条のあとで改行せずに詰める	橋本
文書・公印	1 - 25	3(2)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)の前	行間を詰める		橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)ア 1文目	「情報公開制度」→情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 25	3(3)イ 見出し	「情報公開制度」→情報公開制度	(カギカッコ削除)	橋本
文書・公印	1 - 26	ウ 1文目	文書等に関しては、 <u>石川県情報公開条例</u> … (読点追加)		小林
文書・公印	1 - 26	ウ(イ) 1文目	磁気方式、 <u>その他の</u> … (読点追加)		小林
文書・公印	1 - 26	(イ)	以下同じ。 → (削除)		橋本
文書・公印	1 - 26	(エ)b	個人が識別され、又は識別される情報 → 個人のプライバシーを侵害するおそれのある情報	石川県ホームページ	橋本
文書・公印	1 - 28	(4)ア 1文目	取扱 → 取扱い	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 28	(4)ウ(ア) 1文目	もの <u>、</u> → もの(句点削除)		橋本
文書・公印	1 - 29	イ 3段落目	開示請求が増え、 <u>個人情報保護審査会</u> … (読点追加)		小林
文書・公印	1 - 29	イ 4段落目	請求されていることから、 <u>地方自治体の</u> … (読点追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 1文目	よく話を聞き、 <u>その内容が</u> … (読点追加)		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	ふむ → 踏む		小林
文書・公印	1 - 29	ウ 2段落目	<u>また、</u> 学校において → 学校において		小林
文書・公印	1 - 29	ウ(ア)C	(目的外利用)するときや、 <u>学校以外に提供(外部提出)</u> するときには、 <u>原則として</u> (読点追加)		小林

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
文書・公印	1 - 29	ウ 2文目	手続き → 手続		橋本
文書・公印	1 - 29	ウ 3段落目2文目	関わる → かかわる	公用文の書き方	橋本
文書・公印	1 - 30	(石川県内の事例)	(1字分 字上げ)		橋本
調査統計	1 - 31	(2)	(削除)	地方教育費の調査は用語解説のページに移動	前年度申し送りより
調査統計	1 - 31 32	(3) (4) (5) (6)	(3)学校教員統計調査 → (2)学校教員統計調査 (4)教職員調査書 → (3)教職員調査書 (5)勤務条件等に関する調査 → (4)勤務条件等に関する調査 (6)その他 → (5)その他	(2)削除により変更	
調査統計	1 - 31	(1) 2文目	幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 小学校, 中学校, 義務教育学校, 高等学校, 中等教育学校, 大学, 短期大学, 高等専門学校, 特別支援学校及び各種専修学校等(学校種の追加)		小林
調査統計	1 - 31	四角囲み内 ・1つ目	廃止, 教員養成計画等具体的な → 廃止等具体的な		小林
調査統計	1 - 31	(3) 2文目	幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 小学校, 中学校, 義務教育学校, 高等学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 大学, 高等専門学校及び各種学校(学校種の追加)		小林
調査統計	1 - 31	(3) 根拠	(規則名を1行にする、1行分上げる)		橋本
調査統計	1 - 31	(3) 2段落目	この調査には、以下の調査がある。 → (追加)		橋本
調査統計	1 - 32	(4)	勤務する教職員 → 籍を置く教職員等	校医は・・・?	橋本
学籍	2 - 1	(2)ア	生徒についても、中学校卒業程度…(読点追加)		小林
学籍	2 - 1	1 3段落目	手続き → 手続(2か所)	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 1	2(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 1	2 2段落目	転学の場合は、当該児童…(中略)…指定するなど入学の場合と同じである。 → 転学の場合は、入学の場合と同じく当該児童…(中略)…指定する。	入学の場合と同じであると分かるように変更	橋本
学籍	2 - 2	(4) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(イ)	教科用図書給与証明書を保護者に → 教科用図書給与証明書を保護者に(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	指導要録写 → 指導要録の写		橋本
学籍	2 - 2	(4)イ(エ)	すでに → 既に		橋本
学籍	2 - 3	4	盲・ろう・知的障害・肢体不自由及び病弱者 → 視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者(2か所)	1文の中に及びがたくさんあるので	橋本
学籍	2 - 3	4(1) 見出し	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学籍	2 - 4	5(1)エ	市町教育委員会への 卒業 者 → 市町教育委員会への卒業(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 4	5(2)ア、イ	(できれば文章変更)	H15.3.31号外 文科省令12号	橋本
学籍	2 - 5	6		分かりやすい文になるようにに2文に分割するか？	小林
学籍	2 - 5	6(1)ウ	前項 → イ		橋本
学籍	2 - 5	6(2)ア	転入学の際 、 → 転入学の際(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 5	6(3)	保存期間経過後は 、 廃棄するなど → 保存期間経過後は廃棄するなど(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ア(イ) 1文目	編入学 の 場合 、 又は → 編入学 した 場合又は		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(イ)	退学する場合 、 又は → 退学する場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 6	(2)ウ(ウ)	場合 、 又は → 場合又は(コンマ削除)		橋本
学籍	2 - 9	備考欄記入例等	流行性感冒 → インフルエンザ(2か所)		橋本
学籍	2 - 10	(4)イ 1文目	臨時に 、 学校の → 臨時に学校の(読点削除)		小林
学籍	2 - 10	7(3)イ	児童・生徒・ 学生又は幼児 → 児童・生徒		橋本
就学援助	2 - 13	1	特別支援教育 への → 特別支援教育		小林
就学援助	2 - 13	2(1) 2段落目	窓口を市町教育委員会として → 市町教育委員会が窓口となり		橋本
就学援助	2 - 13	(2)、(3)、(4)の前	行間を詰める		橋本
就学援助	2 - 13	ページ番号	2 二 → 2 ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)表内 修学旅行費	交通費、宿泊費、見学科及び均一に負担すべきこととなるその他経費	▲全文を要綱別記1のとおり置き換えてはどうか？	小林
就学援助	2 - 15	ページ番号	2 二 → 2 ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 15	(5)の前	行間を詰める		橋本
就学援助	2 - 16	注)1	福祉担当課 により → 福祉担当課 から		小林
就学援助	2 - 16	1行目	概ね → おおむね	公用文の書き方	橋本
就学援助	2 - 16	(6)	振り込まれる場合 と → 振り込まれる場合 、		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	行う場合 、 又は → 行う場合又は		橋本
就学援助	2 - 16	(6)	取り扱い → 取扱い		橋本
就学援助	2 - 17	g 2文目	行われることになった場合は 、 補助対象…(読点追加)		小林
就学援助	2 - 17	g 2段落目	ただし市町 → ただし 、 市町(読点追加)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 17	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 18	3	(特別支援学級への → (特別支援教育		
就学援助	2 - 19	(3)表内 修学旅行費	見学科、並びに → 見学科及び		小林
就学援助	2 - 19	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 20	(4)イ	校長はこれを、金銭をもって → 校長は、これを金銭を (読点移動)		小林
就学援助	2 - 20	4(3)	基準によりがたいときは、厚生労働… (読点追加)		小林
就学援助	2 - 20	4(1)	窓口を福祉担当課として → 担当福祉課を窓口として		橋本
就学援助	2 - 21	(3) 表上	令和4年4月現在 → 令和5年4月現在	年度更新	前年度申し送りより
就学援助	2 - 21	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 21	(7) 3段落目	もっとも → 最も		橋本
就学援助	2 - 22	一覧表 タイトル行	市町村 → 市町		小林
就学援助	2 - 22	《生活保護の認定》囲み内	【参考】(2つ) → ? (5) → 削除	【参考】の基準額は改定されています。 頻繁に改定されており、この表は要りますか？	橋本
就学援助	2 - 22	四角囲み内 (5)		過去表記に修正	小林
就学援助	2 - 22の 2	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
就学援助	2 - 22の 3	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 23	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 24	(5)の前	行間を詰める		橋本
教科書	2 - 25	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 25	(6)根拠	第5条 → 第3条		橋本
教科書	2 - 25	(6)※	保管。 → 保管する。		橋本
教科書	2 - 27	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
教科書	2 - 27	(4)※①	学校には控えがなくなるので → 学校の控えとして		橋本
教科書	2 - 29	ページ番号	2二 → 2ニ	マイナス(半角)に	橋本
学校保健・給食	2 - 31	ページ番号	(1行下げる)		橋本
学校保健・給食	2 - 32	(エ)	行う → 行うとともに、		橋本
学校保健・給食	2 - 32	エ(ア) 4文目	(1字分 字下げ)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校保健・給食	2 - 32	エ(イ) 5文目	(1字分 字下げ)		橋本
学校保健・給食	4 - 28	(追加)	(キ) 自動車等の運行における自動の所在確認 a 児童生徒等の通学、校外学習等のために自動車を運行するときは、児童生徒等の自動車への乗降者の際に、点呼等で児童生徒の所在を確認すること。 B 幼稚園及び特別支援学校には、通学用の自動車等を運行するときは、プザーその他の車内児童の見落としを防止する装置を装備し、降車時の①の所在を確認すること。	R4.12.28 教学指第1309号(文部科学省令第41号) 学校保健法安全施行規則(昭和33年文部省令第18号)の一部改正 通学、校外学習等で自動車を運航する際の安全管理の項目として追加	田端
学校保健・給食	2 - 33	ページ番号	(1行下げる)		橋本
学校保健・給食	2 - 34	(3)ア 第2種 咽頭結膜熱の次	新型コロナウイルス感染症、 → (追加)		橋本
学校保健・給食	2 - 34	1(3)ア第2種	ニ 第2種 インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)、百日咳せき、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、 <u>新型コロナウイルス感染症</u> 、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎 → (下線部分の追加)	学校保健安全法施行規則 第18条	北出
学校保健・給食	2 - 34	1(3)イ(イ)b 第2種の感染症にかかったもの 咽頭結膜熱の次	新型コロナウイルス感染症 発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで → (追加)	学校保健安全法施行「規則」 第19条	北出
学校保健・給食	2 - 35	ページ番号	(1行下げる)		橋本
学校保健・給食	2 - 35	咽頭結膜熱の次の行	新型コロナウイルス感染症 発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで → (追加)		橋本
学校保健・給食	2 - 36	イ(イ) 2文目	除く) → 除く _レ) (句点追加)		橋本
学校保健・給食	2 - 37	2(4)	各自治体 → 各市町		橋本
学校保健・給食	2 - 39	(8)	支払い → 支払		橋本
人事	3 - 1	1(1) 3段落目	「定年退職者等の再任用」 → 「暫定再任用」、「定年前再任用短時間勤務」	・暫定再任用とか定年前再任用短時間とか入れたらいいですかね ・臨時的任用は採用ではない・・・	橋本
人事	3 - 4	ウ 根拠	育休法__第6条 → 育休法_第6条		橋本
人事	3 - 4	オ 見出し	定年退職者等の再任用 → 定年退職者等の暫定再任用	R7年度からR10年度まで現行と同様の暫定的な再任用制度が設けられる。 オ 定年退職者等の再任用 で追記するか。	前年度申し送りより 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	第28条の4 → 附則第4条		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 根拠	地方公務員法第28条の5 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 4	オ 2段落目	この制度は、定年等により退職した職員のうち、…〈中略〉…に発揮できるようにしたものである。→ この制度は、定年引上げ期間において、年金受給開始年齢までの継続的な勤務ができるようにしたものである。		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)bの次	c 定年前再任用短時間勤務職員としての任期を満了して退職した者 → (追加)		橋本
人事	3 - 4	オ(ア)c	c → d	c追加のため変更	橋本
人事	3 - 4	オ(ア) 根拠	定年条例附則第3条 → (追加)		橋本 正井

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
人事	3 - 4	オ(ア)の 根拠	再任用条例第2条 → (削除)		橋本 正井
人事	3 - 5	(イ) 根拠	地方公務員法第28条の4 → 定年条例附則第3条	根拠になる条例に変更	橋本 正井
人事	3 - 5	(エ) 根拠 (オ) 根拠	再任用条例第3条 → (削除) 再任用条例第4条 → (削除)	本文の根拠になっていない	橋本 正井
人事	3 - 5		カ 定年前再任用短時間勤務制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の4、第22条の5、附則 定年前再任用短時間勤務制	前年度申し 送りより
人事	3 - 6	(4)ウ 1文目	職員の定年は60歳とする。…(中略)…最初の3月31日に退職する。 → 職員の定年は令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳となる。定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。	(案) 職員の定年は令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年4月に65歳となる。定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。 (下に図を追加する?)	竹原 橋本
人事	3 - 6	(4)ウ	定年年齢の段階的引き上げの表を追加		竹原 橋本
人事	3 - 6		(5)役職定年制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の2～第22条の4 役職定年制による降任	前年度申し 送りより
人事	3 - 6	(5)～(11)	(5) → (6) 以下(11)までを番号繰り下げ	(5)追加のため変更	
服務	3 - 13	1(1)※	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 14	(7) 根拠	(給与規則の文字間隔を標準に)		橋本
服務	3 - 14	(9) 1段落目	平成29年4月1日以降、 → (削除)		橋本
服務	3 - 14	(9) 根拠	H29.3.2 → H29.3.22		橋本
服務	3 - 16	2(1)	正規職員、臨時的任用職員 → 職員 再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員	臨時的任用職員?非常勤、嘱託の職員?再任用は?	橋本
服務	3 - 16	2(1)	除く) → 除く。)		橋本
服務	3 - 16 ～ 37	給与の取扱い 給与上の扱い 給与等の取扱い	給与等の取扱い	統一してはどうか。 3-19ウ、3-24エ、3-27エ、3-32エ、3-34オ、3-34エ、3-35ウ、3-36オ、3-36エ、3-37オ	正井
服務	3 - 16 ～ 37	付与単位・付与される 取得単位・取得できる	付与単位・付与される。	統一してはどうか。 1日、半日又は1時間 ○○の付与単位 など	正井
服務	3 - 17	ウ ※2つ目	再任用短時間勤務職員 → 定年前再任用短時間勤務職員		橋本
服務	3 - 17	(2)ア 中点1つ目	90日以内 → (2字分 字上げ)		橋本
服務	3 - 17	根拠の線	(下まで伸ばす)		橋本
服務	3 - 17	ウ※2つ目		根拠は?	橋本
服務	3 - 20	別表1 親族の死亡欄 備考	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
服務	3 - 20	別表1 妊娠障害欄 備考	(切迫流産含むを1行目に移動)		橋本
服務	3 - 21	別表1 婚姻欄 備考	※「結婚の日」 → 「結婚の日」		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
サービス	3 - 21	別表1 育児参加休暇 期間	産後8週間 → 産後1年	R4.9.30教職355号	橋本
サービス	3 - 22	別表1 配偶者、父母子の祭日 備考欄	(往復日数加算 改行せず詰める)		橋本
サービス	3 - 24	(4)エ※2	休業手当金 → 介護休業手当金		橋本
サービス	3 - 24	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 25	(ウ)		2行目の文字間が詰まっているように見えるので要確認	橋本
サービス	3 - 26	(イ)c	住民票の記載事項証明(市町長の証明) → 住民票		橋本
サービス	3 - 26	(ウ)	という) → という _レ)		橋本
サービス	3 - 26	(5)の前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 26	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 27	ウ	こと → こと _レ		橋本
サービス	3 - 27	(6)ア(ア)	, → , (4か所)		橋本
サービス	3 - 27	(6)ア(イ)	取得可能 _レ) → 取得可能)		橋本
サービス	3 - 27	(6)イの前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 28	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
サービス	3 - 29	ウ(ア)b	6:27、4:51、3:53 → 6:27、4:50、3:53	半角、数字	竹原
サービス	3 - 29	ウの前	行間を詰める		橋本
サービス	3 - 29	ウ 見出し	再任用短時間職員 → 定年前再任用短時間職員		橋本
サービス	3 - 29	ウ(ア)c	1日又は半日※又は時間 → 1日又は半日又は時間	※とは？	橋本
サービス	3 - 29	ウ(イ)a	フルタイム勤務職員 → 再任用フルタイム勤務職員		橋本
サービス	3 - 30の3	(イ)表	産後8週間 → 産後1年	、石川県職員及び石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規則(昭和32年石川県人事委員会規則第4号)の改正。規則第11条第8号に規定する特別 休暇(男性の育児参加のための特別休暇)	田端
サービス	3 - 31	(1)ア	・育児休業短時間勤務代替職員 ・臨任職員 ・育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員 ・定年後勤務を延長した職員 ・60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 ・任期付き短時間勤務職員	1年以内に任期が満了する職員及び定年により退職する職員の根拠は？ R4.9.30教職356号の通りに修正するか。	橋本
サービス	3 - 31	(1)ア 表内 育児休業をとることができない職員 欄	60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 まれに60歳以降も管理職になるパターンもある	前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 31～34		非常勤の育休だけ別項目にする？	R4.9.30教職356号	橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
サービス	3 - 31	(1)ア	育児休業をとることができない職員に追加→非常勤職員	以下例外あり 非常勤職員の育児休業 ①育児休業の対象となる職員 次のいずれにも該当する職員 ア 子が1歳6か月に達する日(以下「1歳6か月到達日」という。)までに任期(任期が更新される場合にあっては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者 ただし、子の出生後8週間(出生の日から57日間以内の期間において育児休業をする場合は、次のいずれにも該当する職員 ア 子の出生後8週間 の期間の末日から6月を経過する日までに任期(任期が更新される場合にあっては、更新後のもの)が満了すること及び引き続き当該職に任用されないことが明らかでない者 イ 1週間の勤務日が3日以上である者又は1年間の勤務日が121日以上である者	前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 31	(1)見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		橋本
	3 - 31	(1)イ 見出し	期間 → 期間差	イに2回までの記述をするなら等を付ける	橋本
サービス	3 - 33	(2)ア	(エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員 → (追加)	R4.9.30教職356号 60歳以降も管理職になるパターン	前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 33	(2)ア(エ)	(エ) → (オ)	通知どおりの順番で書くようになります。	前年度申し送りより
サービス	3 - 33	(2)ア(ウ)(エ)	(ウ)育児休業法第6条の規定により採用された任期付職員(エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督者を占める職員(オ)定年の特例により勤務を延長されている職員	変更、並び替え	竹原
サービス	3 - 36	(6)ア	定年退職前5年以内 → 定年退職前10年以内	R5.3.10教職724号	前年度申し送りより
サービス	3 - 36	(6)ア	定年から10年を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年の4月1日以後ただし、定年退職日が令和13年3月31日以前の職員については、定年から下表の定年退職日に対応する年数を減じた年齢に達した日の属する年度の翌年度の4月1日以後 → (追加)		前年度申し送りより 竹原
サービス	3 - 36	(6)ア	(表を追加) 定年の段階的延長 R5.4.1改正 定年退職日 年数 令和7年3月31日→6年 令和9年3月31日→7年 令和11年3月31日→8年 令和13年3月31日→9年		
サービス	3 - 37	4の前	(1行空ける)		橋本
サービス	3 - 39	ア 根拠	20項 → 第20項		橋本
サービス	3 - 39	【私傷病休職】の図	成人病 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病		橋本
サービス	3 - 41	5(1)ア	(教員免許状更新講習の受講も含める) → (削除)		橋本
サービス	3 - 42	(1)	薄くする。 → 薄くすること又は免除する。 → 免除することである。		橋本
サービス	3 - 43	(2)ア 根拠	(位置を調整)		橋本
サービス	3 - 43	8		電子記録による出勤管理について記載するか。	正井
給与・諸手当	3 - 45～74	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 46	(5) 根拠	給与規則 第2条、第20条 → 第2、20条	原稿作成要領のとおり	前年度申し送りより

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 46	(4)イ(ア)、(イ)、(オ) (6)ア(イ) (6)イ(ア)	(インデントを修正)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	除く) → 除く _レ)		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(8)	成人病等 → 人事委員会規則で定める負傷又は疾病等		橋本
給与・諸手当	3 - 47	(9) 中点2つ目	(上の中点に合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 47		(7)か(8)か(9)あたりに追加?	R4.10.13教職388号 給与条例附則 60歳以降の給料	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 48	(11)	60歳以降の給料の取り扱いについて 国家公務員の定年引き上げにおける取り扱いを踏まえ、 当分の間、特定日(60歳に達した日後の最初の4月1日。 以下同じ)以後、給料月額を7割水準とする措置を講ずる。 (非常勤職員を除く)	追加	竹原
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ 根拠	(第2を右寄せ)		橋本
給与・諸手当	3 - 50	(3)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 51	2(1)ウb	除く) → 除く _レ)		橋本
給与・諸手当	3 - 52	(3)アb(a)～(c) (3)アド(b) (3)アe(a)～(d)	(2行目以降のインデント調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 53	[扶養手当を受けられる範囲図]	この地 → このほか		橋本
給与・諸手当	3 - 53	(イ)f	受けたり、又は → 受けたり、 大学院修学休業 → 大学院修学休業等	自己啓発等休業、配偶者同行休業の間も支給されません	橋本
給与・諸手当	3 - 54	(ア)a	(別表参照) → (削除)	別表はどこに?	橋本
給与・諸手当	3 - 55	(ウ)a、b		この日が事実発生日ということですか?	橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)	(追加)児童手当は一般組合員と短期組合員で申請先が違う		前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 57	(4)ア 2文目	場合は支給。 → 場合も支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)イ(エ)※	優先 _レ → 優先		橋本
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ	額 _レ → 額		橋本
給与・諸手当	3 - 58	ク		臨時的任用職員、短時間再任用職員は居住地の市町から支給される	橋本
給与・諸手当	3 - 59	コ 2段落目	平成24年4月1日改正 → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 60	〈別表2〉	[注1] → ・ [注2] → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 各欄和暦	提出年月日、受付確認年月日 4年 → 5年 所得の合計額 3年 → 4年	ここはX年じゃなくていいんでしたっけ?	橋本
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本
給与・諸手当	3 - 62	児童手当・特例給付額改定 認定請求書 受給者生年月日欄	(昭和を丸で囲む)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 65	c(b) 2文目	インターネット上で公開されている地図ソフト → ウェブ上で公開されている地図サイト		橋本
給与・諸手当	3 - 68	ウ	案分 → 按分		橋本
給与・諸手当	3 - 70	ページ全体	(行間を狭める)	ページ設定or段落の設定で	橋本
給与・諸手当	3 - 70	(エ)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	力の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 74	(7)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 75	[注]3の下	(3の前へ移動、協議のあとで改行)		橋本
給与・諸手当	3 - 75	イ 本文	(1字下げる)		橋本
給与・諸手当	3 - 76	オ 提出書類	(インデント調整)	・添付書類 → (さらに1字下げ) 配偶者との別居の～ → (さらに1字下げ) 配偶者と別居することが～ → (さらに1字下げ) その他～ → (さらに2字下げ)	橋本
給与・諸手当	3 - 77	(7) 根拠	特勤手当条例 → 特勤手当規則		橋本
給与・諸手当	3 - 77	(7) 表内	義務養育学校 → 義務教育学校(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 78	(イ)表内 第1項第2号 業務の種類欄	実施するものに限る → 実施するものに限る。		橋本
給与・諸手当	3 - 80	事例2 手続・処置等欄 中点5つ目	(2行目1字下げ)		橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例6、7勤務の割り振りをしない場合、8 手続・処置等欄	・特殊勤務手当実績簿作成保管 → (削除) ・給与システムで報告 → (削除) ・事例1の4、5に同じ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例7 勤務の割り振りをしない場合 手続・処置等欄	条例第10条の4第1項3号業務 → 対外運動競技等	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 81	事例8 手続・処置等欄	注: 部活動手当の支給対象 → (削除) ・部活動手当のみ → (追加)	中学校の方、確認してほしいです	橋本
給与・諸手当	3 - 83	表	(上の線を調整)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	教員特殊業務手当実績簿 → 教員特殊業務手当		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(細い線を削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 86	教員特殊業務手当実績簿	(○印 → 丸囲みの印)(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)	一律支給される。(出費がかさむ時期の生計補給的な手当) → 出費がかさむ時期の生計補給として、一律支給される。		橋本
給与・諸手当	3 - 87	(9)ア 中点4つ目	含む → 含む。		橋本
給与・諸手当	3 - 88	(ウ)b(c)	育児休業期間の2分の1の期間 → 育児休業期間の2分の1の期間(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く)。		橋本
給与・諸手当	3 - 89	(10)の前	行間を詰める		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 89	(10)	勤務成績に応じて支給される。 <u>(能率給的な手当)</u> → <u>能率給的な手当として、勤務成績に応じて支給される。</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	育児休業期間の全期間。 → 育児休業の全期間 <u>(当該育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。)</u> 。		橋本
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(c)	部分休業をした職員については → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 92	期末手当・勤勉手当の除算について 表		(育児休業の承認に係る期間が1か月以下である職員を除く。)をどこかに入れたいです	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11) 2文目、4文目	(削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)	白山保護自然センター中宮展示館 → 白山保護自然センター中宮展示館 ₁ 白山自然保護センター白峰駐在地 → 白山自然保護センター白峰駐在地 ₁		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(ア)		駐在所とかは載せなくてよいのでは？	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(イ)指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員 → (イ) <u>指定公署からおおむね1km以内の区域に居住する職員</u>		橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ) 1文目	(1字下げる)	「ただし、旧白山麓5村～」です	橋本
給与・諸手当	3 - 97	(11)ア(イ)	(経過措置について記述を削除)	「※支給地域の～」から「H29.11～」まで	橋本
給与・諸手当	3 - 97～100	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	※	場合。 → 場合(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 98	(12)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 98	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)ア	[給料の月額+ 扶養手当] → [給料の月額 ₁ + 扶養手当 ₁]		橋本
給与・諸手当	3 - 99	(14)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(15)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	・算出方法及び支給割合	・ → オ		橋本
給与・諸手当	3 - 100	(16)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 100	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ウ 根拠	第4条 → 第5条	石川県学校職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例	橋本
給与・諸手当	3 - 102	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)の前	詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 104	(18)ア(ア)a	含む) → 含む。)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 104	ページ番号	3二 → 3二	マイナス(半角)、前後に半角スペース	橋本
給与・諸手当	3 - 104	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
給与・諸手当	3 - 105	(19)	60歳に達した日以後、非違によることなく退職した者の退職手当の基本額については、当分の間、退職事由を「定年退職」として算定する。また、職員が特定日から7割水準以下の給料月額となる場合等は、退職手当の基本額の計算方法の特例(ピーク時特例)を適用する。 → (追加)	追加	竹原
給与・諸手当	3 - 105	(19)の前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 105 の2			R4.10.13教職388号 退職手当	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 105 の3	ア、イの前	行間を詰める		橋本
給与・諸手当	3 - 107	期末手当 勤勉手当 表	(勤勉手当の支給率を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①ボーナス支給率	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 107	期末手当勤勉手当表	1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 → 1.150 1.2 0.675 1.00 0.475 2.20 1.150	支給率変更	竹原
給与・諸手当	3 - 107	期末手当 勤勉手当	(支給割合を変更)	定年前再任用短時間勤務職員?	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 特地勤務手当	※経過措置あり(令和2年3月31日まで) → (削除)		橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	所得制限限度額以上所得上限限度額未満 5,000円 → (追加)	特例給付は全部なくなったわけじゃありませんでした・・・昨年のミスです。	橋本
給与・諸手当	3 - 108	表内 児童手当	H24.6～ → R4.10～		橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 時間外勤務手当・休日勤務手当	(縦の線を調整)	微妙にずれています	橋本
給与・諸手当	3 - 109	表内 通勤手当	ア、交通機関等利用者 → ア_交通機関等利用者 イ、交通用具 → イ_交通用具 ウ、併用者 → ウ_併用者		橋本
給与・諸手当	3 - 110 ～ 114 の2	ページ全体	(給料表を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①給料表改正	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 113	ページ番号	3 -113 → 3 _113		橋本
給与・諸手当	3 - 115		3 非常勤職員の報酬等 → (追加)	安江さんから案をいただいています →その場合区分の番号が繰り下がる 会計年度の人(非常勤講師)の報酬を説明したページがない。時間給ですよ、とか、手当はないですよ、とか。例規集に根拠が載ってるような気がします。 P3-31の休暇の部分では、昨年度の改訂作業でこっそり登場してますけどね。給与でなく報酬なので、入れるとしたら、3-115の前か。	前年度申し送りより 橋本
給与・諸手当	3 - 115 118	3 4	3 → 4 4 → 5	非常勤職員の報酬等を追加するなら番号繰り下げ	
給与・諸手当	3 - 115	3(1)ウ(7)	含む) → 含む。)		橋本
給与・諸手当	3 - 115	3(1)エ(イ)	、 → 、(4か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 115 ～ 118 の2	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 116	(エ)	全額 → 税額(2か所)		橋本
給与・諸手当	3 - 116	(エ)	退職手当等に対しては、退職所得控除額の → 退職手当等に対しては、「退職所得の受給に関する申告書」を提出した場合、退職所得控除額の		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(2) 3文目	125万円 → 135万円		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(3)	という) → という _レ)		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4) 2文目	均等割を合計して計算する。 → 均等割がある。		橋本
給与・諸手当	3 - 118	4(4)イ	均等割の計算 → 均等割の税額		橋本
旅費	3 - 119	1(1)	エ 同一地域(追加)		橋本
旅費	3 - 119	1(3) 1行目	旅 _ロ 費 → 旅費		北出 橋本
旅費	3 - ¹¹⁹ ~ 128	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
旅費	3 - 120	(6)ア	時刻表等参照のこと → 時刻表等を参照のこと		橋本
旅費	3 - 120	(キ) 見出し	往復フリーきっぷ → 往復割引きっぷ		橋本
旅費	3 - 120	(キ)		ほかに使える割引きっぷってないんですね?	橋本
旅費	3 - 121	(7) 1文目	(同一地域についての解説を追加)	Ver.4.2の申し送りの積み残し	橋本
旅費	3 - 123	ウ 囲み内	(交通費規定額+宿泊料規定額のフォントの色)		橋本
旅費	3 - 124	(10) 根拠	旅費のキャンセル支給に係る運用の → H28.10.6(県教委)旅費のキャンセル料見直しについて H28.10.6 県教委	キャンセル料の「料」がない。文書の発信日と発信者を先に示す。発信者はカッコ書き。	前年度申し送りより
旅費	3 - 124	(10)、(11)の前	行間を詰める		橋本
旅費	3 - 125	(12)イ	取扱 → 取扱い		橋本
旅費	3 - 125	1(12)ウ)その月の月末まで(土・日・祝日を除く)に、旅費領収証を教育事務所に提出する。	その月の月末まで → 支給後5日以内(遅くとも月末まで)	直す必要なし?	北出
旅費	3 - 126	※ウ		金沢教育事務所管内もバス代証明書が必要です。修学旅行の添付書類は?です...	橋本
旅費	3 - 127	(イ)	----- → -----	もう少し点線っぽくなったらいいかな 半角ハイフンと半角スペースで	橋本
旅費	3 - 128	ウ(ア)	支給しない → 支給しない _レ		橋本
福利厚生	3 - 131	(1)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 131	(2)の前	行間を詰める		橋本
福利厚生	3 - 131	(2)表 長期給付欄	(リフレッシュ給付金を追加)	概要欄「リフレッシュ休暇取得者に給付を行う。」 内容欄「リフレッシュ給付金」	橋本 正井

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 132	互助会会員の規定変更	会員から除く 2ヶ月以内の期間を定めて使用される教職員であって当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれないもの	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員○	臨任職員 2ヶ月を超える任用期間が要件であることや、臨任職員に係る経過措置があるが、共済組合員となれば、同時に互助会員となる。	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	組合員資格要件の変更 共済短期組合員○ 互助会員×	再任用短時間職員(週31時間勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務) 会計年度任用職員(月18日勤務で3月のみ17日<旧嘱託職員>) 会計年度任用職員(週29時間～週20時間勤務<旧臨時職員・旧パート職員>)	R4.9.30 石川県教職員互助会運営規定の一部改正	田端
福利厚生	3 - 132	臨任職員 (育休代替職員は変更なし)	組合員種別:一般組合員 → 短期組合員 長期給付(厚生年金):共済組合 → 日本年金機構 短期給付(健康保険):共済組合 → 共済組合	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	2ヶ月以内の期間を超えないもの	組合員種別:一般組合員 → 組合員資格なし 長期給付(厚生年金):共済組合 → なし(国民年金) 短期給付(健康保険):共済組合 → なし(国民健康保険)	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	2ヶ月の取扱い	①2ヶ月以内に期間を定めて使用される者であって、当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれない者 ②2ヶ月以内の期間を定めて使用されるものであって、当該定めた期間を超えて引き続き使用されることが見込まれるもの → 当初(採用時)から組合員資格を取得する ③上記①に該当した方が、引き続き使用され、合わせて2ヶ月を超えることが見込まれた場合→引き続き使用された時点から組合員資格を取得する	R4.9.27 臨時的任用職員及び育児休業代替職員に係る令和4年10月からの変更点について	田端
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(3文目に追加) 組合員には、主に一般組合員と短期組合員の2つの組合員種別がある。		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	(追加)	(案) (ア) 一般組合員 主にフルタイムで勤務している常勤職員が該当する(臨時的任用職員を除く。)。共済組合が実施する全ての事業が適用される。 (イ) 短期組合員 臨時的任用職員等が該当する。短期給付、福祉事業が適用される。長期給付は適用されないため、日本年金機構の厚生年金に加入し、日本年金機構に保険料を納める。	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[共済組合] → ア 共済組合	講師・非常勤の共済組合 一般組合員／短期組合員	橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[共済組合]	任期付任用職員・臨時的任用職員等 → 任期付職員等		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 132	(3)[互助会]	任期付任用職員 → 任期付職員		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 132	(4)	[共済組合] → ア 共済組合		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 2段落目	(徴収されるのあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 132	(4) 3段落目	(徴収されるのあとに3文目を挿入し改行する)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 132	(4)	[互助会] → イ 互助会		橋本
福利厚生	3 - 132		育休中の掛金免除について追加で記載するか？	R4.9.16 公共石669号	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)	ついて → ついても		橋本
福利厚生	3 - 133	(5) 提出書類	・被扶養者の認定申告書 → ・被扶養者認定申告書		橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表内 共済組合の被扶養者の所得制限欄	障害年金受給者又は60歳以上の公的年金等の受給者 → 障害年金を受給する程度の障害がある又は60歳以上	R5.3.3 公共石1039号 ←で合ってますか？	橋本
福利厚生	3 - 133	(5)表	パート勤務を始めた → パート勤務を始めた被扶養者__取消し → 被扶養者取消し		橋本
福利厚生	3 - 135	(6)	死亡したとき、又は → 死亡したとき又は		橋本
福利厚生	3 - 135	(7)、(8)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄 被扶養者出産欄	42万円 → 50万円(それぞれ2か所)	要確認	橋本
福利厚生	3 - 136	(9)表 本人出産後欄	母子手帳(写) → 母子手帳笠(写)		橋本
福利厚生	3 - 137	(10)、(11)、(12)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 137	(11)、(12)	(11)災害にあったとき → (11)災害にあったとき (12)交通事故にあったとき → (12)交通事故にあったとき		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 1文目	(ただし、昭和19年4月1日までに生まれた方は1割) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ア 2段落目	また、自己負担部分が一定の金額を越えた場合には、後日共済組合から一部負担金払戻金又は家族療養費附加金として給付される。 → (2文目に追加)		橋本
福利厚生	3 - 138	(13)ウ 中点1つ目	「2_地方公務員の災害補償制度」 → 「2_地方公務員の災害補償制度」		橋本
福利厚生	3 - 139	オの前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)	医療費の自己負担補助については、 → (削除) 以下で求めた金額が給付される。 → (追加)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(ア)b	が給付される。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	(給付される。のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 139	オ(イ)	(提出書類のあとで改行する)		橋本
福利厚生	3 - 139	キ	健康保険法適用外で病氣治療の目的で、はり・きゅう・あんま・指圧・マッサージを受けたとき → 健康保険法適用外で、はり・灸・あんま・指圧・マッサージ(病氣治療)を受けたとき		橋本
福利厚生	3 - 140	(14)、(15)	(14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき → (14)子どもが小中学校へ入学、中学校を卒業したとき (15)給料が支給されなくなったとき → (15)給料が支給されなくなったとき		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 140	(15)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 141	(16)表 教育貸付欄	(文章変更)	R4.8.8 事務連絡 「組合員、被扶養者又は被扶養者でない子、孫若しくは兄弟姉妹が小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校又は各種学校に入学又は修学するため資金を必要とする場合」	橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 142	(17)、(18)	(17)永年勤続をしたとき → (17)永年勤続をしたとき (18)退職後の療養について → (18)退職後の療養について		橋本
福利厚生	3 - 143	2 3段落目	非常勤職員の場合は地方公務員災害補償法に基づく条例_労働者災害補償保険法、 → 非常勤職員の場合は労働者災害補償保険法により国が、		橋本
福利厚生	3 - 144	(2) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		前年度申し送りより
福利厚生	3 - 144	表 天災地変欄	公務上 → 公務上とする	←いるか？	橋本
福利厚生	3 - 144	(2)見出し	(2)をゴシック体に		橋本
福利厚生	3 - 144	(2)	往_復 → 往復		橋本
福利厚生	3 - 144	(2) 表内 勤務場所欄	限る) → 限る。)		橋本
福利厚生	3 - 148	表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等(2か所)		橋本
福利厚生	3 - 149	(4)表内	講師(臨任・非常勤)等 → 講師等(2か所)		橋本
福利厚生	3 - 150 の3	根拠との間の線	(ほかのページに合わせる)		橋本
福利厚生	3 - 154 ～ 160	ページ番号	(下げる)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	昭和61年4月の改正で、国民年金はその他の公的年金制度の基礎となる年金制度となり、 → 国民年金は公的年金制度の基礎となる年金制度で、		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 2段落目	厚生年金に二重に加入している。 → 厚生年金保険にも加入している。		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図	退職等年金給付 → 年金払い退職給付		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図	(定額部分) → (削除)	基礎年金＝定額部分ではない	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図 民間サラリーマン	(報酬比例) → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 図	厚生年金(報酬比例部分) → 厚生年金(報酬比例)	民間も公務員も厚生年金が報酬比例なのは同じ。	橋本
福利厚生	3 - 155	(2) 表下	国民年金及び年金 → 国民年金及び厚生年金		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(ア)、(イ)、(ウ)	国民年金制度による年金 → (削除し、文末に句点追加)(3か所)		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)ア(イ)	者に対して → 場合に		橋本
福利厚生	3 - 155	(2)イ(ア)	共済年金制度による年金 → (削除)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 156	(イ)	(文章変更)	本来、老齢厚生年金は65歳からの受給となっているが、受給開始年齢が引き上げられたことの経過措置として特別支給の老齢厚生年金が支給されている。受給開始年齢は生年月日と性別に応じて異なる。	橋本
福利厚生	3 - 156	(イ) 2文目	(削除し、受給要件を箇条書き)	受給要件 ・厚生年金被保険者期間(注1)が1年以上あること ・受給資格期間が10年以上あること	橋本
福利厚生	3 - 156		経過的職域加算、年金払い退職給付についての記述がない		橋本
福利厚生	3 - 156	(3)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目	60歳から65歳までの間支給。 → (削除)		橋本
福利厚生	3 - 157	1段落目		(文の終わりに3-157(イ)参照？を追加)	橋本
福利厚生	3 - 157	エ	繰り上げ支給 → 繰り上げて受給		橋本
福利厚生	3 - 157	オ	年金受給開始年齢になっても年金の受給を先延ばし → 年金の受給開始を66歳から75歳までの間に先延ばし		橋本
福利厚生	3 - 157	オ	(することができる。のあとで改行せずに詰める)		橋本
福利厚生	3 - 157	オ	1ヶ月 → 1ヵ月		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 157	(4)ア	老齢基礎年金の支給額は777,800円(令和4年度水準)。 → 令和5年度の支給額は67歳以下は795,000円、68歳以上は792,600円。	(1文すべて変更)	橋本
福利厚生	3 - 157	(6)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(7)ア	老齢厚生年金 → 老齢年金		橋本
福利厚生	3 - 158	(8)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(9)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(10)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 158	(10)イ 4行目?	但し、 → ただし、		橋本
福利厚生	3 - 159	(2)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)ア	臨時的任用職員を除く → 短時間再任用職員、会計年度任用職員を除く。		橋本
福利厚生	3 - 159	(3)イ	できるものであること → できる。		橋本
福利厚生	3 - 159	(4)の前	詰める		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
福利厚生	3 - 159	(4) 2段落目	通帳はなく契約証書のみで → 通帳の発行に代えて契約証書が交付される。 財形貯蓄残高報告書が年2回契約金融機関より → また、年2回財形貯蓄残高報告書が金融機関より		橋本
福利厚生	3 - 160	中点2つ目	又は_ → 又は(コンマ削除)		橋本
福利厚生	3 - 160	3行目	預金 → 預入		橋本
福利厚生	3 - 160	(5)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(5) 表内 一般財形貯蓄 要件違反の課税	(斜線入れる)		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)の前	詰める		橋本
福利厚生	3 - 160	(6)	雇用・能力開発機構 → 勤労者退職金共済機構		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)〇2つ目	特に定められている。 → 定められている。		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(2)ア〜ウ	もの_ → もの(3か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 1	1(3)ア 根拠	(義務教育費国庫負担法の倍率を80%に)(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	下部表内 交付金 6行目	__ 改築 → <u>学校給食施設</u> 改築	▲「__」ではなく具体的に表記してはどうか？	小林
校費・学校予算	4 - 2	イ 根拠	(学校職員給与負担法の倍率を90%に)		橋本
校費・学校予算	4 - 2	※表内 交付金	地震防災(耐震補強) → 補強 地域学校連携施設整備1/3 → (削除) 木の教育環境整備1/3 → (削除)		橋本
校費・学校予算	4 - 3	(3) ア 根拠	地方自治法 第209. 209条 2 → 第209条	209条全体が本文の根拠になっていますので、包括的に。 どうせ、209条は1項と2項しかないのです。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア 根拠	地教行法 第25. 25条 4 → 第25条 1. 4	この表記の方がスマート。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	(4)	概ね → おおむね		橋本
校費・学校予算	4 - 5	(3)	保証 → 保障		橋本
校費・学校予算	4 - 6	(5)	はかり → 図り		橋本
校費・学校予算	4 - 7	イ	かかる → 係る		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ	行う。 → <u>行うことである。</u>		橋本
校費・学校予算	4 - 8	エ 3文目	支払い → 支払		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2段落目	手続き → 手続(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2〜3段落目	支払い → 支払(2か所)		橋本
校費・学校予算	4 - 8	(10)	おこなわれて → 行われて		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11)	すでに → 既に		橋本
校費・学校予算	4 - 9	(11) 2文目	石川県公立小中学校教育事務研究会 → (文の始めに追加)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
校費・学校予算	4 - 9	4(1)ア	備え付け → 備付け		橋本
校費・学校予算	4 - 10	1行目	とする) → とする。)		橋本
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 1段落目	お慶び → お喜び		小林
校費・学校予算	4 - 11	ウ 例内 3段落目	致します → いたします		小林
校費・学校予算	4 - 12	エ 例内 2段落目	致します → いたします		小林
校費・学校予算	4 - 12	(4)ア	含む) → 含む。)		橋本
校費・学校予算	4 - 13	イ(イ)※	ある) → ある。)		橋本
学校の施設・設備	4 - 15	(2) 根拠	(削除)	「H14(文科省)第14.15号」は、あまりにもざっくりし過ぎたいい加減な書き方。何という通知の14号、15号なんでしょう？いまさら追跡できないのであれば、消しませんか。20年も前の通知ですし。 →「H14(文科省)第14.15号」はそれぞれ「小学校設置基準」「中学校設置基準」のことなので根拠は削除しましょう(橋本)	前年度申し送りより
学校の施設・設備	4 - 15	1(2)ア(ウ)	(文章変更)	(校舎には少なくとも教室(普通教室、特別教室等)、図書室、保健室及び職員室を備えるものとする。また、必要に応じて特別支援学級のための教室を備えるものとする。)	橋本
学校の施設・設備	4 - 16	イ	(削除)	もういない	橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)e、i	(削除)		橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f～o	(繰り上げる)	訂正箇所、変更内容はこの書き方で良いか	橋本
学校の施設・設備	4 - 17	(イ)f	(d) バリアフリー化等施設整備工事(追加) (d) 防犯対策施設整備工事 → (e) 防犯対策施設整備工事 (f) 特別防犯対策施設整備工事(追加)		橋本
学校の施設・設備	4 - 18	(b)1文目	チームティーチング → ティーム・ティーチング (中点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 18	イ(ア) 根拠	(理科教育振興法施行令を倍率80%に)		橋本
学校の施設・設備	4 - 19	ウ(エ)	利用するときは、学校の管理機関と… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 19	カ(イ)a	改_造 → 改造(スペース削除)		小林
学校の施設・設備	4 - 19	カ		内容が古いので更新したい	橋本
学校の施設・設備	4 - 20	エの前	詰める		橋本
学校の施設・設備	4 - 21	キ 2行目	反する結果にもなるので、学校構内に… (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)エ(エ)	明確にする → 明確にする。)		小林
学校の施設・設備	4 - 21	(7)ア	除く) → 除く。)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	いう) → いう。)		橋本
学校の施設・設備	4 - 22	(イ)	手続き → 手続	公用文の書き方	橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校の施設・設備	4 - 23	(エ) 1文目	場合があるので、 <u>注意</u> が必要である。 (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 23	(ウ)e※	kℓ → kL(2か所)		橋本
学校の施設・設備	4 - 24	キ(イ)	学校の実態に応じて定め、 <u>実施する</u> … (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 25	四角囲み 左から2個目	学校内で処理できる <u>こと</u> → 学校内で処理できる <u>もの</u>		小林
学校の施設・設備	4 - 25	(8)ウ 1文目	健康上よい環境ではないため、 <u>学校などの</u> … (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 25	(8)イ	含む) → 含む <u>。</u>		橋本
学校の施設・設備	4 - 26	オ(ア)	<u>上司</u> の指揮 → <u>校長？管理職？</u> の指揮	▲上司ではない、文言に言い換え？	小林
学校の施設・設備	4 - 26	(10)	(10)児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理 → (10) <u>児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理</u>		橋本
学校の施設・設備	4 - 27	同ページ内(11か所)	こと → こと <u>。</u> (句点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 27	ア(ウ)b	非常時においては、 <u>常に</u> 複数の教職員で対応する体制をとるなど、 <u>あらゆる</u> … (読点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 27	2段落目	(2行目を1字上げる)		橋本
学校の施設・設備	4 - 28	同ページ内(7か所)	こと → こと <u>。</u> (句点追加)		小林
学校の施設・設備	4 - 28	※3	火災以外の緊急時において使用したときは、 <u>その緊急内容と火災でない旨を当該報知を受けた人々に早急に周知するとともに、消防機関に速やかに連絡する等の配慮がなされること。</u> (読点追加)	読点が一つも無い文章のため、入れました。	小林
学校の施設・設備	4 - 28	(カ)c	取り組み → 取組		橋本
物品	4 - 29	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 29	1(1)ア	除く) → 除く <u>。</u>		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	1万円 → 5万円		橋本
物品	4 - 29	1(3)ア	考古資料並びに図書館等で保存する蔵書を除く。) → 考古資料を除く。)又は2年以内に消費するもの		橋本
物品	4 - 29	1(3)イ	物 → もの		橋本
物品	4 - 30	見出し	(4) <u>物品・分類</u> → (4) <u>分類・整理</u>	目次の文言に合わせる	前年度申し送りより
物品	4 - 30	(4)	物品出納員又は物品取扱員 → 物品出納員		橋本
物品	4 - 30	2(1) 囲み内(2)、(3)	(文章1字ずつ下げる)		橋本
物品	4 - 31	(2)の前	詰める		橋本
物品	4 - 31	ページ番号	(下げる)		橋本
物品	4 - 33	ページ番号	(下げる)		橋本
校費・学校予算	4 - 10～12	(3)全体		まだ要りますか？	橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校の施設・設備	4 - 27～28	ア～イ		内容が古いので更新したい	橋本
給与・共済互助会システム	5 - 1	2(1)	2行目先頭に中点「・」があるので、前の行の最語尾に移動する。(中点の移動)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 1	(1)、(2)の前	詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 3	(3)の前	詰める		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 5～28の2			ページによって表記がバラバラなのが気になります (職員の選択欄にチェックが良いかな?) (職員? 職員の確定?)	橋本
給与・共済互助会システム	5 - 7	⑤	画面がでる → 画面が出る		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 8	③	クリック。 → クリック		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 10	④	(フォント修正)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 18			金沢教育事務所は様式集の申出書 × と言われているが...	橋本
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部の四角囲み内 1行目	1部を保管する _△ (句点追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点1つ目	保管する → 保管する _△		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点2つ目、3つ目	(受け取るのあとで改行せずに詰める、中点3つ目削除)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部の四角囲み内 2行目	申告書を出力 _△ → 申告書を出力する _△		小林
給与・共済互助会システム	5 - 22	⑩の前	「 → [橋本
給与・共済互助会システム	5 - 24	③	イメージ図に実行ボタンに伸びる矢印を追加する		小林
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	(2, 3行目を1字下げ)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 29	一覧表内 その他 ・2つ目	変更があったときは _△ 変更内容を記載して... (読点追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 30	一覧表内 3月	削除	空欄になっている。残しておく必要はあるか?	小林
給与・共済互助会システム	5 - 32	一覧 29～31	用途等欄 3つとも「職員記入用」に訂正		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(力)2文目	読点を「,」に訂正		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	所属別帳票を選択し _△ 各種帳票を忘れずに出力する。特に給付金等支払通知書は _△ マシン線入りの用紙に印刷し _△ ... (読点追加)		小林
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)ア(エ)	連絡する) → 連絡する _△)		橋本
給与・共済互助会システム	5 - 35	(3)イ	忘れずに出力する → 出力する		橋本
学校事務用語の解説	5 - 36	「及び」と「並びに」 2文目	ふつう → 普通		小林
学校事務用語の解説	5 - 37	ガイドライン	(説明文1字下げる)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	中学校・高等学校 → 中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校		橋本
学校事務用語の解説	5 - 37	学習指導要領	新学習指導要領のスケジュール～令和3年4月から中学校で全面实施 → (削除) 現行の学習指導要領は平成29年3月31日に告示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から実施されている。 → (追加)	移行スケジュールのうち、周知・徹底、移行措置開始は削除しても良いのでは	橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	課税対象給与額	除く) → 除く。)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 38	寡婦・寡夫	又は妻(夫) → 又は夫(妻)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 41	教員免許更新制 5行目	仕組みが始まる → 仕組みが始まった		小林
学校事務用語の解説	5 - 41	教員免許更新制	始まる → 始まった		橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 1文目	含む) → 含む。)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 42	国民年金の被保険者 3文目	(削除)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 43	(追加)	36協定 → (追加)		前年度申し送りより
学校事務用語の解説	5 - 43	36協定 追加	労働者に法定労働時間を超えて労働させる場合や、休日労働をさせる場合に、労働者と結ぶ取り決めのことであり、労働基準法第36条に定められた労使協定であることから、通称「36(サブブロック)協定」と呼ばれている。		竹原
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法 4行目	施行される → 施行されている		小林
学校事務用語の解説	5 - 43	こども基本法	(国庫補助金とコンプライアンスの間に移動、インデント調整)		橋本
学校事務用語の解説	5 - 46	(追加)	地方教育費調査 → (追加)		前年度申し送りより
学校事務用語の解説	5 - 47	チーム・ティーチング	チーム・ティーチングに訂正する		小林
学校事務用語の解説	5 - 48	ねんきん定期便	(文章変更)	修正案考え中	橋本
学校事務用語の解説	5 - 50	メンタルヘルス	このため、産業界や労働組合でも身体の健康と合わせ、心身の健康に…(読点追加)		小林
学校事務用語の解説	5 50の2	(追加)	リフレッシュ休暇 (追加)	互助会にリフレッシュ給付金があるが、リフレッシュ休暇については一切記載がない。	
学校事務用語の解説	5 -	(追加)	G4th → (追加)	▲追加すればよいか?	小林
学校事務用語の解説	5	(追加)		▲用語の他にも「G4th」について、載せなくてよいか?	小林
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 56	大分類-人事 表内各種手当認定簿(退職/異動者)欄	現況届等通勤届 → 現況届等通勤届		橋本
物品分類表	5 - 62～66	物品分類表	(改正)	修正案確認中	橋本
教科書事務・質疑応答	5 - 72	4つ目の【答】	冒頭スペース 1文字分削除		小林
教科書事務・質疑応答	5 - 73	1つ目の【答】	削除	▲現在は理科の給与の仕方が学年ごとの給与になっている。削除してもよいのではないか?	小林
事務職員研修体系(通知)	5 - 75	ページ番号	(中央揃えにする)		橋本

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
		全体		要確認 各担当箇所を確認し、必要があれば修正一覧表に追加する。	次年度 申し送り
調査統計	1 - 32	根拠		地方公務員法第14条 1、第24条 4は勤務条件調査の根拠なので下へ移動	次年度 申し送り
学籍	2 - 4	5(2)ア、イ	(できれば文章変更)	H15.3.31号外 文科省令12号 可能であれば文章を変更し、できなければ次年度へ申し送り	次年度 申し送り
人事	3 - 5	オ(カ)		暫定再任用と定年前再任用短時間勤務制は別	次年度申し 送り
人事	3 - 5		カ 定年前再任用短時間勤務制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の4、第22条の5、附則	次年度申し 送り
服務	3 - 16 ~ 37	付与単位・付与される 取得単位・取得できる	付与単位・付与される。	統一してはどうか。 1日、半日又は1時間 ○○の付与単位 など 付与されると取得できるでは意味が違うので修正しました。	正井 次年度申し 送り
服務	3 - 17	ウ ※2つ目		根拠は？ 例規集等でも根拠は見つかりませんでした。例規集の 条文を解釈してハンドブックに記載した？	橋本 次年度申し 送り
服務	3 - 29	ウ(ア)d 年休の繰越日数	根拠の記載	根拠となる通知文・規則等がない。各市教委に事務職員 が確認し回答が記載されていると思いますが、その 旨を記載した方がいいのではないかと指摘をいただきました。(橋本さんにも連絡済みです)	次年度 申し送り
服務	3 - 32	中点3、4つ目	(削除)？	最新の通知には見当たりません。確認をお願いします。	次年度 申し送り
服務	3 - 32	ウ(ア)b	(削除)？	最新の通知には見当たりません。確認をお願いします。	次年度 申し送り
服務	3 - 43	8		電子記録による出勤管理について記載するか。	次年度 申し送り
給与・諸手当	3 -	(11) 見出し	(ゴシック体 → 明朝体)		次年度申し 送り
給与・諸手当	3 - 51	2(1)ウ	a → (ア) b → (イ)		次年度申し 送り
給与・諸手当	3 - 51	2(2)	(ア) → ア (イ) → イ		次年度申し 送り
福利厚生		(5) 表内 共済組合の被扶養 者の所得制限欄 ②	60歳以上の <u>公的年金等の受給者</u> → 60歳以上		次年度申し 送り
福利厚生	3 -	(9) 表内 被扶養者出産	42万円 → 50万円(産科医療補償制度対象分娩でない 場合は48万8千円)(2か所)	本人出産後と揃える	次年度申し 送り
福利厚生	3 -	(10)ア 見出し	(ゴシック体 → 明朝体)	掛金免除要件について	
福利厚生	3 -	キ	健康保険法適用外で <u>病氣治療の目的で</u> → 健康保険 法適用外で、		次年度申し 送り
福利厚生	3 - 156			経過的職域加算、年金払い退職給付についての記述 がない 可能であれば文章を追加し、できなければ次年度へ申し送り	次年度申し 送り
福利厚生	3 -	1段落目 文末		(イ)特別支給の老齢厚生年金は3-154です。 次年度改訂で移動することも考えられるので、該当の ページに変更してください	次年度申し 送り
学校の施設・設備	4 - 27~ 28	ア～イ		内容が古いので更新したい	次年度 申し送り
学校の施設・設備	4 - 27	2段落目	(2行目を1字分字上げ)		橋本 次年度申し 送り
学校保健・給食	4 - 28	(追加)	(キ) 自動車等の運行における自動の所在確認 a 児童生徒等の通学、校外学習等のために自動車を運 行するときは、児童生徒等の自動車への乗降者の際に、 点呼等で児童生徒の所在を確認すること。 B 幼稚園及び特別支援学校には、通学用の自動車等を 運行するときは、プザーその他の車内児童の見落としを 防止する装置を装備し、降車時の①の所在を確認するこ と。	R4.12.28 教学指第1309号(文部科学省令第41号) 学校保健法安全施行規則(昭和33年文部省令第18号) の一部改正 通学、校外学習等で自動車を運航する際の安全管理 の項目として追加 →このページでよいか確認	田端 次年度申し 送り
学校事務用語の 解説	5 -	キャリア教育の前		2行空いているので1行削除	次年度 申し送り

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
学校事務用語の解説	5 50の2	(追加)	リフレッシュ休暇 (追加)	互助会にリフレッシュ給付金があるが、リフレッシュ休暇については一切記載がない。 可能であれば文章を追加、できれば次年度へ申し送り	次年度 申し送り

Ver. 4.4 修正箇所一覧

R5.3.31

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
就学援助	2 - 20	4(3)基準額表内 学級費等	小学校 <u>850円</u> → <u>1,080円</u> 、中学校 <u>770円</u> → <u>1,000円</u>	生活保護法による保護の基準表(令和3年4月～)	
人事	3 - 6	(4)ウ	職員の定年は60歳とする。	来年度から61歳になる、どのように記載するか？→ R5年度要申し送り	竹原
給与・諸手当	3 - 115			会計年度の人(非常勤講師)の報酬を説明したページがない。 時間給ですよ、とか、手当はないですよ、とか。 例規集に根拠が載ってるような気がします。 P3-31の休暇の部分では、昨年度の改訂作業でこっそり登場してますけどね。 給与でなく報酬なので、入れるとしたら、3-115の前かなあ。 大分類の3番として。で、年末調整を4に？ 来年度へ	前年度申し送りより
学校及び学校事務	1 - 3	小・中学校学級編成の基準(抜粋)表内 学級編制の区分	第 <u>1, 2</u> 学年 → 第 <u>1, 2, 3</u> 学年 第 <u>3</u> ～6学年 → 第 <u>4</u> ～6学年	「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律等の施行について(通知)」(R3.3.31 文科省)→ 令和7年度まで毎年修正必要※要申し送り	橋本
就学援助	2 - 21	(3) 表上	令和 <u>3</u> 年4月現在 → 令和 <u>4</u> 年4月現在	年度更新	前年度申し送りより
調査統計	1 - 31	(2)	(削除) これにより、 (3)学校教員統計調査 → (2)学校教員統計調査 (4)教職員調査書 → (3)教職員調査書 (5)勤務条件等に関する調査 → (4)勤務条件等に関する調査 (6)その他 → (5)その他	地方教育費の調査は用語解説のページに移動	前年度申し送りより
人事	3 - 1	1(1) 3段落目		定年退職者等の再任用	前年度申し送りより
人事	3 - 4	オ 見出し、本文、根拠		R4.10.13教職388号 地方公務員法附則 定年退職者等の再任用→暫定再任用制度	前年度申し送りより
人事	3 - 5		カ 定年前再任用短時間勤務制 → (追加)	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の4、第22条の5、附則 定年前再任用短時間勤務制	前年度申し送りより
人事	3 - 6		(5)として追加する？ その場合、(5)～(11)の項番号は繰り下げる	R4.10.13教職388号 地方公務員法第22条の2～第22条の4 役職定年制による降任	前年度申し送りより
服務	3 - 31	(1) ア育児休業をとることができない職員 欄	60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員(追加)	R4.9.30教職356号 まれに60歳以降も管理職になるパターン、あるみたいですよ。	前年度申し送りより
服務	3 - 31	(1) ア育児休業をとることができない職員 欄	非常勤職員(追加)	これには但し書きが必要で、例外もあります。 別途、整理してください。	前年度申し送りより
服務	3 - 31			R4.9.30教職356号 非常勤の育休改正	前年度申し送りより
服務	3 - 31			R4.9.30教職356号 育休制度改正(2回までOK)	前年度申し送りより
服務	3 - 33	(2) ア	短時間勤務ができない職員として次を追加 (エ)60歳に達した日後の最初の4月1日以降も引き続き管理監督職を占める職員	R4.9.30教職356号 まれに60歳以降も管理職になるパターン、あるみたいですよ。	前年度申し送りより
服務	3 - 33	(2) ア	(エ)任期付職員 → (オ)	通知どおりの順番で書くようになります。	前年度申し送りより
服務	3 - 36	(6) ア	定年退職前 <u>5</u> 年以内の職員 → <u>10</u> 年	R5.3.10教職724号	前年度申し送りより
服務	3 - 36	(6) ア	ただし定年退職日が令和13年3月31日以前の職員については、 <u>10年</u> を下表のとおり読み替える。 (追加)	令和7年3月31日→6年 令和9年3月31日→7年 令和11年3月31日→8年 令和13年3月31日→9年 表で示すようにと思われます。R5.4.1改正	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 46	(5) 根拠	給与規則 第 <u>2</u> 条、第 <u>20</u> 条 → 第2, 20条	原稿作成要領のとおり	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 47		(7)か(8)か(9)あたりに追加？	R4.10.13教職388号 給与条例附則 60歳以降の給料	前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 57	(4)	(追加)児童手当は一般組合員と短期組合員で申請先が違う		前年度申し送りより
給与・諸手当	3 - 105の2			R4.10.13教職388号 退職手当	前年度申し送りより

項目	ページ	訂正箇所	変更内容	コメント(根拠法令・確認したいこと等)	担当者名
給与・諸手当	3 - 107	期末手当 勤勉手当 表	(勤勉手当の支給率を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①ボーナス支給率	前年度申し送りより
給与・諸手当	110 3 - 114 の2	ページ全体	(給料表を改正)	R4年12月の給与条例改正にともなう変更 ①給料表改正	前年度申し送りより
旅費	3 - 121	(7) 1文目	(同一地域についての解説を追加)	Ver.4.2の申し送りの積み残し	橋本
旅費	3 - 124	(10) 根拠	旅費のキャンセル 支給に係る運用の 見直しについて H28.10.6 県教委 → 旅費のキャンセル料 支給に係る運用の 見直しについて H28.10.6 県教委	キャンセル料の「料」がない。 文書の発信日と発信者を先に示す。 発信者はカッコ書き。	前年度申し送りより
福利厚生	3 - 144	(2) 見出し	数字のフォント変更(明朝体→ゴシック体)		前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 3	(3) ア 根拠	地方自治法 第209. 209条 2 → 第209条	209条全体が本文の根拠になっていますので、包括的に。 どうせ、209条は1項と2項しかないのです。	前年度申し送りより
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア 根拠	地教行法 第25. 25条 4 → 第25条 1, 4	この表記の方がスマート。	前年度申し送りより
学校の施設・設備	4 - 15	(2) 根拠	(削除)	「H14(文科省)第14.15 号」は、あまりにもざっくりし過ぎ たいい加減な書き方。何という通知の14号、15号なん でしょう？いまさら追跡できないのであれば、消しません か。20年も前の通知ですし。 →「H14(文科省)第14.15 号」はそれぞれ「小学校設置 基準」「中学校設置基準」のことなので根拠は削除しま しょう(橋本)	前年度申し送りより
物品	4 - 30	見出し	(4)物品・分類 → (4)分類・整理	目次の文言に合わせる	前年度申し送りより
学校事務用語の 解説	5 - 43	(追加)	36協定 → (追加)		前年度申し送りより
学校事務用語の 解説	5 - 46	(追加)	地方教育費調査 → (追加)		前年度申し送りより
		全体	括弧書きの数字の前で空いている箇所があるので詰める	ゴシック体のカッコ書きタイトル行の上は1行空けるの か。現状、大部分が詰めて表示されているが、1行空け ているページもある。	前年度申し送りより

教育事務ハンドブック

1～2行:40 3行:55 4行:70 5行:90 9行:145

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学校及び学校事務	1 - 1	1	一定の教育課程にもとづき、 → 一定の教育課程に基づき、
学校及び学校事務	1 - 2	小・中学校設置基準(抜粋)表内 学校の位置	第1条 → 第1条(半角)
学校及び学校事務	1 - 2	小・中学校設置基準(抜粋)表内 学級の編成	学級の編成 → 学級の編制
学校及び学校事務	1 - 2	小・中学校設置基準(抜粋)表内 学級の編成	同学年編制原則 → 同学年の児童での編制を原則
学校及び学校事務	1 - 2	小・中学校設置基準(抜粋)表内 校具・教具	必要な種類 → 指導上・保健衛生上・安全上必要な種類
学校及び学校事務	1 - 3	小・中学校学級編成の基準(抜 粋)表内 学級編制の区分	第1, 2学年 → 第1, 2, 3学年 第3～6学年 → 第4～6学年
学校及び学校事務	1 - 3	小・中学校学級編制の基準 (抜粋)表欄外	小学校における学級編制の標準人数の段階的引き下げについ ての解説 → (削除)
学校及び学校事務	1 - 3	イ 2段落目	削除し、◎◇を箇条書き
学校及び学校事務	1 - 4	学校職員一覧表内	教育法施行規則 → 学校教育法施行規則
学校及び学校事務	1 - 5	(3) 2文目	教育長、又は → 教育長又は (コンマ削除)
学校及び学校事務	1 - 6	(4) 3段落目、4段落目	設置者の判断により、 → (コンマ削除) 当該学校の職員以外で、 → (コンマ削除)
学校及び学校事務	1 - 6	(5) 4段落目	おかれている → 置かれている
学校及び学校事務	1 - 7	(6)イ 1段落目	取り組み → 取組
学校及び学校事務	1 - 7	ページ内 最終段落	(文章修正)
学校及び学校事務	1 - 8	(2)ア 中点1番目 2段落目	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 → 地教行法
学校及び学校事務	1 - 9	破線の四角囲みの下 1段落目	(削除)
学校及び学校事務	1 - 9	服務表の下 1段目2か所	事務職員は事務に → 事務職員は、事務に 事務職員は事務を → 事務職員は、事務を
学校及び学校事務	1 - 10	(4) 2段落目	職務の例外 → 職務の例 遂行に関する要綱 → 遂行に関する要綱
学校及び学校事務	1 - 14	ページ全体	2 初初企第15号 令和2年7月17日 文科省通知 事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考 例 別表第一・別表第二
文書・公印	1 - 16	(3)イ(イ)e(b)	伺い事務引継書 → 伺い・事務引継書(中点追加)
文書・公印	1 - 18	(ウ)※公文書の流れの例	受付→校長→教頭→教務 → (追加)
文書・公印	1 - 21	エ(ア) 3文目	整然と整理され、適確に → 整然と分類・
文書・公印	1 - 21	エ(イ) 1文目	供覧、又は → 供覧又は (コンマ削除)
文書・公印	1 - 21	エ(ウ) 2段落目	手続き → 手続

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学校及び学校事務	1 - 24	ページ番号	中央揃え
文書・公印	1 - 26	イ 2段落目	されたり, → され,
文書・公印	1 - 26	イ 2段落目	市町 → 市町村
文書・公印	1 - 26	ウ(ア)	・消防長 (1字分 字下げ)
文書・公印	1 - 26	ウ(ウ)	(例 小松市) → (例 石川県)
文書・公印	1 - 26	ウ(ウ)a～e	(すべて削除) 誰でも請求可能 → (追加)
文書・公印	1 - 28	(4)イ	地方自治体 → 地方公共団体
文書・公印	1 - 29	ウ 3段落目	取り扱い → 取扱い
学校及び学校事務	1 - 29	ウ(ア)b 文末	(句点追加)
文書・公印	1 - 29	ウ(ア)c	越えて → 超えて
調査統計	1 - 31	(1) 1段落目 文頭 (3) 1段落目 文頭	この調査は、総務大臣により指定された基幹統計調査である。 → (追加)
調査統計	1 - 31	(1) 根拠 (3) 根拠	統計法 第3条第2項 → 統計法 第2条 4 統計法施行令 第4条
調査統計	1 - 32	(5) 根拠	地方公務員法 第14条_1, 第24条_4 → (追加)
学籍	2 - 1 2	2(2)～(5)	(3) → (4) (4)ア、イ → (2)ウ、エ (5) → (3)
学籍	2 - 2	(3)イとウの間	小中学校と特別支援学校間の異動 → (削除)
学籍	2 - 5	6(2)ア 3文目	(削除)
学籍	2 - 5	6(2)ア 根拠	平成3年発文部省通知(2つ) → (削除)
学籍	2 - 5	【指導要録の記入上の留意点】 (1)ア	入学前の経歴入学編入学等 → 入学前の経歴・編入学等 (削除)(中点追加)
学籍	2 - 8	同ページ内(3カ所)	カッコ → 括弧
学籍	2 - 10	(3)の上 根拠	(削除)
学籍	2 - 10	(3)ア	(2文目を追加) その場合は、保護者への聴取と文書での通知をしなくてはならない。
学籍	2 - 10	(3)イ	かかっている, 又は → かかっている, あるいは → 又は
学籍	2 - 11	(6) 1段落目	(削除)
学籍	2 - 11	(6) 2段落目	(文章修正)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学籍	2 - 11	出席簿の記入等の留意事項 4	帳簿 → 表簿
就学援助	2 - 13	1義務教育にかかる援助 系統図	2特別支援学校等への就学奨励費 → 特別支援教育
就学援助	2 - 13	1義務教育にかかる援助 系統図	(特別支援学級への就学奨励費) → (削除)
学籍	2 - 13	2(4)ア(ア) 根拠	生活保護法 第13,32条 → (追加)
学籍	2 - 14	イ 根拠	市町就学援助規則等 → (追加)
就学援助	2 - 14	イ(ウ)a(i)	世帯更生貸付補助金 → 生活福祉金貸付制度
就学援助	2 - 16	就学援助費の表 教育扶助受給者欄	※と斜線の重なりを解消 (斜線を削除)
就学援助	2 - 16	就学援助費の表内	列幅を縮小
就学援助	2 - 16	(6) 1文目	場合と_ → 場合と (コンマ削除)
学籍	2 - 16	(6) 根拠	市町就学援助規則等 → (追加)
就学援助	2 - 17	(ア)g (イ)d	すでに → 既に(2か所)
就学援助	2 - 17 18	(7) 見出し	改行し、P2-18に送る。
就学援助	2 - 18	(8) 提出書類の世帯票	世帯票の行 → (削除)
就学援助	2 - 19	3(1) 2段落目 根拠	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費 補助金交付要綱 → (追加)
就学援助	2 - 19	(3) 表内 費目欄	学用品費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、通学 用品購入費 → 学用品・通学用品購入費 (4費目を合体)
就学援助	2 - 19	(3) 表内 校外活動費 対象費目欄	宿泊費 → (追加)
就学援助	2 - 19	(3) 表内 費目欄	校外活動費 → 校外活動等参加費
就学援助	2 - 19	(3) 表内	交流及び共同学習交通費 → (費目追加)
就学援助	2 - 19	(3) 表内 オンライン学習通信費 補助対象経費欄	半額 → 半額(第Ⅱ区分は補助なし)
就学援助	2 - 19	(3) 表	費目を並べ替える
就学援助	2 - 19	(4)ア	経費は校長に対して交付される。 → 特別支援学校において は、経費は校長に対して交付される。特別支援学級等に就学 する児童生徒に係る経費は、別途、市町で規定された方法によ る。
就学援助	2 - 20	4(3) 表上	令和3年4月現在 → 令和4年4月現在
就学援助	2 - 21	(7) 1文目	通学がきわめて → 通学が極めて

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
教科書	2 - 23	1 1文目	文部科学 の後で改行
教科書	2 - 23	1(1) 1文目	あるときは、 の後で改行
教科書	2 - 23	1(4)ア 根拠	地教行法 第23条 → 21条
教科書	2 - 24	(5) 2文目	教科書を国が _レ → 教科書を _レ 国が(コンマの位置変更)
教科書	2 - 25	(6)エ 1文目	ないよう の後で改行
教科書	2 - 25	(6)エ 2段落目	協力を得ているので → 委託している。 給付申請 → 給与申請
教科書	2 - 26	カ 見出し	おいて → おける
教科書	2 - 26	カ(ア)	教科書無償制度の趣旨 → 教科書無償給与制度の趣旨
教科書	2 - 26 27	○転学用の事務処理について	○ → キ ①、② → (ア)、(イ)
教科書	2 - 27	②※①	市町教育委員会のため、 → 市町教育委員会に渡すため、
教科書	2 - 27	②※④	継続して学年にまたがって → 多学年にわたって
教科書	2 - 28	教科用図書給与事務 表内 教科用図書給与児童生徒名簿 付記	学年ごと、 の後で改行
教科書	2 - 28	教科用図書給与事務 表内 教科用図書給与児童生徒名簿 (転学用) 付記	教科用 の後で改行
学校保健・給食	2 - 31	1 学校保健 根拠	学校教育法 第12条 → (追加) 学校保健安全法 第1条 → (追加)
学校保健・給食	2 - 31	1(1)イ(イ) 3文目	その他 → そのほか
学校保健・給食	2 - 31	1(1)イ(イ)	(検査するもの) 教室等の環境(換気・保温等, 採光・照明, 騒音), 飲料水(水質, 施設・設備), 学校の清潔, ネズミ・衛生害虫等, 教室等の備品の管理, 水泳プール(水質, 施設・設備の衛生状態)
学校保健・給食	2 - 31	1(1)イ(イ) 根拠	学校環境衛生の基準 → 学校環境衛生基準
学校保健・給食	2 - 32	(ウ) 2段落目	判断 _レ 解決し, → 判断 _レ 解決し,
学校保健・給食	2 - 32	(オ) 1文目	はかる → 図る
学校保健・給食	2 - 35	(5) 1文目	はかり → 図り
学校保健・給食	2 - 37	2 1文目	はかるう → 図ろう
学校保健・給食	2 - 38	(5)ア 1段落目	(1字分 字下げ)
人事	3 - 1	(1) 1文目	都道府県委員会 → 都道府県教育委員会

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
人事	3 - 2	表内 給与システム入力備考欄	// 被扶養者がある場合は → // _被扶養者がある場合は(スペース空ける)
人事	3 - 2	(ウ)のあと	(エ)サービスの宣誓 新たに職員となったものは宣誓書に署名してからでなければ、その職務を行ってはならない。 サービスの宣誓条例・規則 → (追加)
人事	3 - 2	イ	次の場合に、臨時的に職員を任用することができる。 → (削除)
人事	3 - 2	イ(ア)	(見出しを削除)
人事	3 - 2	イ(ア) 1文目	緊急の場合、又は、1年以内に → 緊急の場合、1年以内に 関する場合、若しくは、補充 → 関する場合又は補充
人事	3 - 2 3	表内 共済組合・互助会提出書類欄	履歴書写 → (削除)
人事	3 - 3	表内 給与システム入力備考欄	// 被扶養者がある場合は → // _被扶養者がある場合は(スペース空ける) さらに個人番号(本人)の行へ移動
人事	3 - 3	ウ	次の場合に任期付きで、職員を任用することができる。 → 育児休業を取得する教職員の代替として、任期付職員を採用することができる。
人事	3 - 3 4	ウ(ア)	(削除)
人事	3 - 4	ウ(ウ)a	育児休業が失効し、又は → 育児休業が失効又は
人事	3 - 4	オ 根拠	地方公務員法 第28条の5 → (追加)
人事	3 - 5	(オ)	3月31日以前、 → 3月31日以前
人事	3 - 6	(2)イ 見出し、本文	引き継ぎ → 引継ぎ (2か所)
人事	3 - 6	(2)イ(ア)	引き継ぎ書 → 引継書
人事	3 - 6	(3) 提出書類欄	(削除)
人事	3 - 6	(4)ア 【提出書類】	(オ) 組合員証返却・希望者は共済組合任意継続組合員の手続き → (追加)
人事	3 - 6	(4)ア(エ)	生協 → 学校生協 (2か所)
人事	3 - 6	(4)イ 根拠	退職手当条例 第5条の3 → (削除)
人事	3 - 7	(4)エ(ア)e	生協 → 学校生協
人事	3 - 7	(5)ア(イ)	県費負担職員 → 県費負担教職員 (2か所)
人事	3 - 8	(5)ア(イ)	手続き → 手続
人事	3 - 8	(5)エ(ア) 2行目	(1字分 字下げ)
人事	3 - 8	(5)エ(イ)	政党、その他の → 政党その他の (コンマ削除)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
人事	3 - 10	(9)ア※	その他に → そのほかに
人事	3 - 10	(9) (10)	(9)内地留学 → (9)内地留学 (10)教育職員免許状 → (10)教育職員免許状 (半角スペース追加)
人事	3 - 10～12	(11)	(削除)
人事	3 - 12	(12) 見出し	(12)教職員人事評価制度 → (11)教職員人事評価制度 (半角スペース追加)
人事	3 - 14	(8)ア 根拠	勤務時間条例 第6条の2 → (追加)
人事	3 - 14	(8)ア(ウ)a 根拠	H7.4.1(県教委)休暇制度の改正について → (追加)
サービス	3 - 15	(3) 1文目	労働基準法上で → 労働基準法上、
サービス	3 - 15	(4)イ 週休日	行事日の前後 → 行事日を起算日とし前後
サービス	3 - 15	(4)イ 勤務時間	ただし、勤務日が…(以下略) ↓ ※ 勤務日が引き続き12日を超えてはならない ※ 1回の勤務時間が16時間を超えてはならない
サービス	3 - 15	(4)ウ (5)ウ	市町により異なる。 → 市町の学校管理規則等に従う。
サービス	3 - 15	(5)イ	起算日の前8週間…(以下略) ↓ 全日勤務を命じた日を起算日とし前8週間…(以下略)
サービス	3 - 16	(8)ア(ウ) 2文目	当該起算日から8週間 → 当該起算日から後8週間
サービス	3 - 16	(8)ア(ウ) 根拠	勤務時間規則 第5条 → (追加)
サービス	3 - 16	(8)イ	市町により異なる。 → 市町の学校管理規則等に従う。
サービス	3 - 16	(9) 1文目の2行目	(1字分 字下げ)
サービス	3 - 16	(9)ア	(削除) 本文全て (追加) ア対象業務 学芸的行事, 体育的行事, 修学旅行的行事(宿泊を伴うものに限る。) ※いずれも年度当初に計画され, その学校の実施する教育課程に組み入れられた当日の行事をいう。なお, 修学旅行的行事には, 林間, 臨海学校等が含まれる。
サービス	3 - 16	(9)ア 根拠	給与特別措置条例の運用 → (追加)
サービス	3 - 18	2 休暇 見出し	休暇 → 休暇等
サービス	3 - 18	2 2段落目	年次有給休暇・病欠休暇・特別休暇・介護時間及び介護休暇 → 年次有給休暇、病欠休暇、特別休暇、介護休暇及び介護時間
サービス	3 - 18	2 休暇 ※	講師等の休暇については後述 → 後述(6)
サービス	3 - 19	(1)ウ 2文目	従って → したがって

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
サービス	3 - 19	(1)ウ※ 文末	※その期間にある週休日及び休日は含まない。 → (追加)
サービス	3 - 19	(2)ア	「人事委員会規則で定める負傷又は疾病」と「6か月以内」の間にスペース
サービス	3 - 21	イ(ア) 全文	(1字分 字上げ)
サービス	3 - 21	ウ(ア)	又は、 → 又は (コンマ削除)
サービス	3 - 22	妊婦の通勤緩和	初め → 始め
サービス	3 - 22	妊娠障害	7日以上は診断書切迫流産含む → 7日以上は医師の診断書添付(改行)切迫流産含む
サービス	3 - 22 23	(別表1)内 種類右欄	公民権行使 労基法7条 → (追加) 産前産後の休養 労基法65条 → (追加) 生理休暇 労基法68条 → (追加) 生児の授乳等 労基法67条 → (追加)
サービス	3 - 23 24	(別表1) 1行目	行タイトルを追加
サービス	3 - 23	表内 結婚休暇と出産補助休暇の間	出生サポート休暇 → (追加)
サービス	3 - 23 24	種類欄 右側	規則11-6～規則11-15 → 規則11-7～規則11-16 (項番号を1番繰り下げ)
サービス	3 - 24	表内 ボランティア休暇下 ロ	身体障害者療護施設 → 障害者支援施設
サービス	3 - 24	表内 ボランティア休暇下 ハ	介護_その他の → 介護その他の (コンマ削除)
サービス	3 - 26	エ(ア) ※2	給料日額の40%×1.25 → 標準報酬日額の67%
サービス	3 - 28	(5)イ	介護休暇の期間 → 介護時間の期間
サービス	3 - 29	(5)オ	職員は、介護休暇の → 職員は、介護時間の
サービス	3 - 29	(6)講師等の休暇	(1行分 字下げ)
サービス	3 - 29～ 31の4	(6)ア～エの項目名	ア臨時的任用講師 → ア任期付職員 イ非常勤講師 → イ臨時的任用講師 ウ任期付職員 → ウ再任用短時間職員 エ再任用短時間職員 → エ非常勤講師
サービス	3 - 30	表下 注2	読点をコンマに変更
サービス	3 - 31	イ(ア)b 1、2文目	(1字分 字上げ)
サービス	3 - 31の2	(ウ) 表内	(ウ)産前産後 → (イ)有給の特別休暇 (移動)
サービス	3 - 31の2	(イ) 表内	出生サポート休暇、出産補助休暇、男性の育児参加休暇 (追加)
サービス	3 - 31の3	エ	4時間50分 → 4時間51分(3か所)
サービス	3 - 31の4	(イ)○	読点をコンマに変更

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
サービス	3 - 32	3 休業	3 休業 → 3 休業等（追加）
サービス	3 - 32	イ(ア)	復職後の → 復職後に
サービス	3 - 32	イ(ア) 図	図とく再度の育児休業をすることができる特別の事情の重なりを解消
サービス	3 - 34	(1)オ	(削除)
サービス	3 - 35	(2)カ	(削除)
サービス	3 - 35	(3)ウ(イ)	住民票の記載事項証明(市町村長の証明) → (削除)
サービス	3 - 36	(3)オ	(削除)
サービス	3 - 36	(4) 1文目	上に → 向上に
サービス	3 - 36	(4)イ 文末	承認を受けるものであること。 → (削除)
サービス	3 - 36	(4)イ 根拠	修学休業規則 第2条_1 → (追加)
サービス	3 - 36	(4)ウ(ア)	調整額及び教職員調整額を含む → 調整額及び教職調整額を含む
サービス	3 - 37	(5)ウ	經由して、の後で改行
サービス	3 - 37	(5)ウ 文末	承認を受けること。 → (削除)
サービス	3 - 37	(5)ウ 根拠	修学休業規則 第6条_1 → (追加)
サービス	3 - 37	(5)エ	こととする → こととする（助詞を追加）
サービス	3 - 37	(5)カ	復職時の給与調整 → 復職後
サービス	3 - 37	(5)カ(ア)(イ)	号級 → 号給（2か所）
サービス	3 - 37	(6)ア、イ	定年退職日から5年以内 → 定年退職前5年以内
サービス	3 - 37	(6)ウ 文末	承認を受けるものであること。 → (削除)
サービス	3 - 37	(6)ウ 根拠	修学休業規則 第2条_2 → (追加)
サービス	3 - 37	(6)エ	修学部分休業制度と同じ。 → (削除)
サービス	3 - 37	(7) 1文目	(1字分 字上げ)
サービス	3 - 37	(7) 文頭	配偶者同行休業制度は、 → (削除)
サービス	3 - 37	(7) 文末	(文章追加)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
サービス	3 - 36 37	(4) (5) (6) (7) 見出し	修学部分休業制度 → (削除) 自己啓発等休業制度 → (削除) 高齢者部分休業制度 → (削除) 配偶者同行休業制度 → (削除)
サービス	3 - 38	(7)エ 2文目	までの → までに
サービス	3 - 38	(7)エの後	(追加) オ 給与の取扱い カ 復職後の給与調整
サービス	3 - 38	4 1文目後	職員は地方公務員法と条例で定める事由でなければ、その意に反して休職されない。 → (追加)
サービス	3 - 38	4 1文目後 根拠	地方公務員法 第27条_2 → (追加)
サービス	3 - 38	4(1) 1文目	(条文に従う)
サービス	3 - 38	4(1) 1文目 根拠	地方公務員法 第45条 → (追加)
サービス	3 - 38	4(1)イ	結核休職、その他私傷病休職も同様。 → 結核休職その他私傷病休職も同様 (コンマ、句点削除)
サービス	3 - 38	4(3) 1文目	越えない → 超えない
サービス	3 - 39	(3)ア～オ 根拠	(追加)
サービス	3 - 39	(3)エ(ア) 1文目	県教育長が指定する医師に2名の診断を → (助詞削除)
サービス	3 - 39	(3)オ 2文目	実施して の後で改行
サービス	3 - 40	(6)【私傷病休職】	(図の修正)
サービス	3 - 42	5 根拠	職専免条例 → 職務専念義務特例条例
サービス	3 - 42	(1)イ 例1 中点2番目	一般人間ドック 女性検診 一日ドック 脳ドック へき地巡回診断 → 人間ドック, 脳ドック, 女性検診
サービス	3 - 42	(1)イ	例2 → 例2(全角) 例3 → 例3(全角)
サービス	3 - 42	(1)オ(ア)	申立て → 申し立て
サービス	3 - 42	(1)イ 根拠	職員のサービスの取扱いについて → (削除)
サービス	3 - 42	(1)オ 根拠	学校管理規則 → 学校管理必携
サービス	3 - 42	(1)オ(ウ)	不服申立てをし、 → 審査請求をし、
サービス	3 - 42	(1)オ(カ)	その他 → その他の
サービス	3 - 43	6 1文目	命じないようにすること → しなければならない
サービス	3 - 43	6 2文目	講ずるようにすること → (削除)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
服務	3 - 43	6(1) 根拠	給与措置条例の運用について 第三の3 → 給与措置条例の運用について 第三 同 第三の2 → (削除) 同 第三の3 → (削除)
服務	3 - 43	6(3)ア	平日における時間外勤務 → 平日における時間外勤務が30分単位 → (30分単位)(カッコつける)
服務	3 - 43	6(3)ア	※ 時間外勤務の時間が1時間30分以下の場合は、軽減措置を講ずる必要はない → (追加)
服務	3 - 43	6(3)ウ 文末	以下の通りの措置を講ずることによっても、時間外勤務ができるものとする。 → 時間外勤務命令の措置を講ずることができる
服務	3 - 43	6(3)ウ 根拠	H29.3.22 県教委 → (発令日及び発令庁を追加)
服務	3 - 44	7(2)ウ(ア) 文末 7(2)ウ(イ) 文末	できること → (削除)
服務	3 - 44	7(3) 根拠	地教行法 第45条 → (3)の横まで上げる
服務	3 - 44	8 見出し	出勤簿 → 出勤簿の整理
服務	3 - 44	8 1行目 及び (1)見出し	(削除)
服務	3 - 44の2	(2)	病欠 → (削除)
給与・諸手当	3 - 45～51	ページ全体	(字間の詰まり解消)
給与・諸手当	3 - 45	(3)	(表の幅拡大)
給与・諸手当	3 - 46	(4)イ(オ) 日割計算	1ヶ月 → 1か月
給与・諸手当	3 - 46	(6) 1文目	(1字分 字上げ)
給与・諸手当	3 - 46	(6)イ(ア) (6)イ(イ) (6)イ(ウ) (6)ウ 1段落目 (6)エ	(句点削除)(5か所)
給与・諸手当	3 - 46	(6)イ(ア)、(イ)	昇給期間 → 昇給日前1年間(2か所)
給与・諸手当	3 - 47	(7)	(図の幅拡大)
給与・諸手当	3 - 47	(7) 1文目	(1字分 字下げ)
給与・諸手当	3 - 47	(7)※	初任給調整手当, 地域手当, 等々 → 地域手当, 特地・へき地手当, 特勤手当(月額), 寒冷地手当, 教員特別手当, 定通手当, 産業教育手当等
給与・諸手当	3 - 47	(9) 1文目	(1字分 字上げ)
給与・諸手当	3 - 47	(9) 囲み内	一覧表参照 → 一覧表参照 (カギカッコの位置修正)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 47	(9) 枠内	学校教育法施行規則第140条に定める特別の教育課程による教育に直接従事することを本務とする職員（通級指導） → （追加）
給与・諸手当	3 - 48	(10)ア	ア <u>教職調整額は、教育職員の...</u> （中略）...給与として支給される。 → ア <u>教職調整額</u> 教育職員の...（中略）...給与として <u>教職調整額</u> が支給される。
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ 1文目	（1字分 字上げ）
給与・諸手当	3 - 48	(10)イ	この → 教職（2か所）
給与・諸手当	3 - 49	表内 給与の種類	特勤手当（日額） → 特殊勤務手当（日額）
給与・諸手当	3 - 51	(1)ア(ウ)	第10条 → 第10
給与・諸手当	3 - 51	(1)ア(ウ)	場合_又は → 場合又は（コンマ削除）
給与・諸手当	3 - 51	(1)イ(ア)	(ア) 給料の支払方法に準じて支給する。 → （削除）
給与・諸手当	3 - 51	(1)イ(イ)	a と b の行頭をそろえる
給与・諸手当	3 - 51	(2)イ(イ)	(イ)支給停止 → ウ
給与・諸手当	3 - 51	(1)ウ	ウ その他 → エ
給与・諸手当	3 - 51	(2)	読点をコンマに変更
給与・諸手当	3 - 51	(2)(2)※	読点をコンマに変更（3か所）
給与・諸手当	3 - 51	(2) 2文目、(1)(2)	次の(1)又は(2) → 次の(ア)又は(イ)
給与・諸手当	3 - 52	(3)ア(ア)e	尊属, → 尊属で,
給与・諸手当	3 - 52	(3)ア(ア)e(c)	父母又は_継父母 → 父母又は継父母（コンマ削除）
給与・諸手当	3 - 54	オ(ア)b	婚姻日_又は事実上 → 婚姻日又は事実上（コンマ削除）
給与・諸手当	3 - 53～55	本文と根拠の境界線	太線 → 細線
給与・諸手当	3 - 56	表内 所得等の証明欄	在学証明書（生徒手帳の写しでも可） → 在学証明書（当該年度の生徒手帳の写しでも可）
給与・諸手当	3 - 56	表内 所得等の証明欄	高校生 → 所得証明（アルバイト等の収入がある場合）（追加） 大学・各種学校等 → 所得証明（追加）
給与・諸手当	3 - 56	表内 その他欄	22歳年度末までの子、孫、弟、妹 → （削除）
給与・諸手当	3 - 56	表欄外 中点5、9番目	・別居の場合 → （点 削除） ・被扶養者を他の者と共同して扶養する場合 → （点 削除）
給与・諸手当	3 - 57	(4) 1文目と2文目の間	県の給与条例に基づくものではなく、国の社会福祉施策（子育て支援）に基づくもので、給付金としての要素を持つため、所得税の課税対象とならない。 → （追加）
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ	その世帯の中の18歳未満の児童について年齢や出生の区分に応じた額。（追加）

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 57	(4)ウ 根拠	児童手当法 第6条 (1行下げる)
給与・諸手当	3 - 57	(4)エ 根拠	児童手当法 第8条 (2行上げる)
給与・諸手当	3 - 57	(4)オ(ウ) 根拠	児童手当法 第9条 (4行下げる)
給与・諸手当	3 - 57	(4)オ 根拠 第8条	削除
給与・諸手当	3 - 58	カ(エ) 根拠	児童手当法施行規則 第7条 → (追加)
給与・諸手当	3 - 58	キ 根拠	児童手当法 第26条 → (追加)
給与・諸手当	3 - 58	ク 根拠	児童手当法 第17条 → (追加)
給与・諸手当	3 - 58	ケのあと	ページ調整のため1行改行
給与・諸手当	3 - 58	ケ 根拠	児童手当法施行規則 第12条の9 → (追加)
給与・諸手当	3 - 58	コ	体裁調整のため1行削除
給与・諸手当	3 - 58	コ 根拠	児童手当法 第21条 → (追加)
給与・諸手当	3 - 59	サ 表内	譲渡条件 順番換え
給与・諸手当	3 - 59	サ 表内	最大控除額の金額 中央揃え → 右揃え
給与・諸手当	3 - 59	本文全体	(字間の詰まり解消)
給与・諸手当	3 - 60	<別表1>	所得制限限度額一覧 → 所得制限限度額・上限限度額一覧
給与・諸手当	3 - 60	<別表1>	所得上限限度額 → (追加)
給与・諸手当	3 - 60	<別表1>	H24年6月～ → 令和4年6月～
給与・諸手当	3 - 60	<別表1>欄外 中点1番目	1人につき38万円を加算した額 → 5人を超えた1人につき38万円(扶養親族等が70歳以上の同一生計配偶者又は老人扶養親族であるときは44万円)を加算した額 (追加)
給与・諸手当	3 - 60	市民税・県民税(所得)証明書	令和2年→令和_年
給与・諸手当	3 - 61	児童手当・特例給付現況届 各欄和暦	提出年月日、受付確認年月日 3年 → 4年 所得の合計額 2年 → 3年 支給開始年月、生年月日(3カ所) → X年
給与・諸手当	3 - 61	記入例	請求者 → 受給者(4カ所)
給与・諸手当	3 - 62	児童手当・特例給付額改定認定 請求書	提出年月日、受付確認年月日、生年月日、事実の発生した年月日、増額支給開始年月日 3年 → X年
給与・諸手当	3 - 63	(5)※2 2行目	(2字分 字下げ)
給与・諸手当	3 - 63	(5)※2 根拠	給与規則 第76条の22の2_1 → (追加)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 63	(5)ア(ア)a [注] 根拠	給与規則 第76条13の2 → 第76条 <u>の</u> 13の2
給与・諸手当	3 - 63	(5)ア(ア)a(b)[注] 2行目	(1字分 字下げ)
給与・諸手当	3 - 64	(イ)C(c)と(ウ)間	行間を詰める
給与・諸手当	3 - 64	(ウ)a(a) ※のあと	2行改行
給与・諸手当	3 - 64	(ウ)a 根拠	給与規則 第76条の18_1 → (追加)
給与・諸手当	3 - 66	(例2)	60,000 × <u>420,000</u> → 60,000 × <u>6月</u>
給与・諸手当	3 - 68	イ(イ)b(b)※ 2行目	(3字分 字下げ)
給与・諸手当	3 - 68	イ(イ)b(b)※2	(半角分 字上げ)
給与・諸手当	3 - 68	ウ(ア)a※	読点をコンマに変更(2か所) 読点の位置変更
給与・諸手当	3 - 69	c(例) 前後各1行	削除
給与・諸手当	3 - 69	非課税限度額一覧表 根拠	所得税法 第9条 → (追加) 所得税法施行令 第20条の2 → (追加)
給与・諸手当	3 - 70	エ(ア) エ(ア)a エ(ア)b エ(イ)	旧能登有料道路(のと里山海道) → のと里山海道(旧能登有料道路) (4か所)
給与・諸手当	3 - 70	オ(ウ)e	読点をコンマに変更(2か所)
給与・諸手当	3 - 71	表下 ※	読点をコンマに変更(3か所)
給与・諸手当	3 - 73	ア(ア)b 根拠	給与規則 第57条の4 → (追加)
給与・諸手当	3 - 73	ア(ア)c 根拠	給与条例の運用第14 (条例第10条の5) → (追加)
給与・諸手当	3 - 73	イ(ア)a(a)	保証金_その他 → 保証金その他 (コンマ削除)
給与・諸手当	3 - 73	ウ 前後各1行	削除
給与・諸手当	3 - 74	(6)オ	届出なければ → 届け出なければ
給与・諸手当	3 - 74	(7)	かつ_単身で → かつ単身で (コンマ削除)
給与・諸手当	3 - 74	(7)ア	全て → すべて
給与・諸手当	3 - 76	(8)ア(ア)	(追加)ただし、多学年学級であっても、給料の調整を受ける者(特学調整)と管理職手当受給者は支給対象にならない。 (追加)根拠 → 特勤規則 第3条_1
給与・諸手当	3 - 77	(ア) 表内	小学校 → 小学校及び義務教育学校の前期課程 中学校 → 中学校及び義務教育学校の後期課程
給与・諸手当	3 - 78	(イ)(注) 根拠	特勤条例等の施行について 3 → (追加)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 79	(エ)c 中点4番目	又は ₁ → 又は (コンマ削除)
給与・諸手当	3 - 83	表	上の線の位置を調整
給与・諸手当	3 - 87	(9)ア の前	一律支給される。(出費がかさむ時期の生計補給的な手当) → (追加)
給与・諸手当	3 - 88	(エ)bとcの間	給料の月額 → (削除)
給与・諸手当	3 - 87～ 90	各ページ一番下	項目見出しを一行次ページへ送る
給与・諸手当	3 - 88	(エ)a 根拠	教職調整額の運用について → (追加)
給与・諸手当	3 - 88	(オ) 根拠	給与条例の運用第23 → (追加)
給与・諸手当	3 - 89	(カ) 根拠	給与条例の運用第23 → (追加)
給与・諸手当	3 - 90	(ウ) 表 根拠	給与規則69条の2 → (追加)
給与・諸手当	3 - 90	(ウ)b(k)	通勤災害を除く) → 通勤災害を除く ₂)
給与・諸手当	3 - 91	(オ) 根拠	給与条例の運用第23 → (追加)
給与・諸手当	3 - 92	ページ 見出し	<期末勤勉手当の除算について> → 期末手当・勤勉手当
給与・諸手当	3 - 93	例3 網掛け内	中央揃え
給与・諸手当	3 - 94	例4 網掛け内	中央揃え
給与・諸手当	3 - 94	例5 日付け数直線 除算期間 在職期間	2/12～2/15 1日 → 3日 2月13日～15日を1日 → 3日 1月と19日 → 1月と21日 4月11日 → 4月9日
給与・諸手当	3 - 94	例6 除算期間	6月1日は ₁ 21日 → 6月1日を21日
給与・諸手当	3 - 95	例8 除算期間 在職期間	切り捨て → 切捨て (2か所)
給与・諸手当	3 - 96	期末勤勉手当期間率報告書 摘要欄	R2 → RO R3 → RO
給与・諸手当	3 - 97	ア(ア) 金沢市	犀川ダム管理事務所, のあとで改行せずに詰める
給与・諸手当	3 - 99	(13)イ	(削除)
給与・諸手当	3 - 99	(13)ウ	ウ → イ 本文と表の間を1行空ける
給与・諸手当	3 - 99	ページ下部 別表1	別表1 → (削除) (ただし表は削除しない) 表名を「へき地等学校表」とする 本文と表の間を1行空ける
給与・諸手当	3 - 99	別表1 町野小学校、東陽中学校 白峰小学校	準へき地 → 1級(2か所) 2級 → 3級
給与・諸手当	3 - 100	(15)イ 根拠	給与規則 別表第16 → (追加)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 101	イ(ア) 根拠	給与条例 第16条 → (追加) 給与規則 第60条の2 → (追加)
給与・諸手当	3 - 101	イ(ウ)	切り捨て → 切捨て 切り上げ → 切上げ
給与・諸手当	3 - 103	エ 根拠	給与規則 第59条 → (追加)
給与・諸手当	3 - 103	エ 文末	押印しなければならない。 → 自署、押印等しなければならない。
給与・諸手当	3 - 103	時間外勤務等命令整理簿	様式 → (更新)
給与・諸手当	3 - 104	(17)ウの前	行間を詰める
給与・諸手当	3 - 104	(17)ウ(イ) 2文目	切り捨て → 切捨て 切り上げ → 切上げ
給与・諸手当	3 - 104	(18)アの前	行間を詰める
給与・諸手当	3 - 105	ウ(イ)	生徒指導_又は → 生徒指導又は (コンマ削除)
給与・諸手当	3 - 105	(18)ウ表と(ア)の間	行間を詰める
給与・諸手当	3 - 105	(19) 2段落目	原則支給差止 → 差止め
給与・諸手当	3 - 105	(19)イ※	給与月額には含まない → 給料
給与・諸手当	3 - 105	(19)イ 根拠	退職手当条例 第2条の4 → (追加)
給与・諸手当	3 - 105の2	早見表 平成29年12月31日まで	(削除) 平成30年1月1日以降のものを2列にし、下に別表2を入れる。
給与・諸手当	3 - 105の3	※別表2	1日 → 1日(全角)
給与・諸手当	3 - 105の3	(20) 1文目、2文目括弧内	職員等に支給 (2か所) → (削除)
給与・諸手当	3 - 105の3	(20)ア	見出しを「支給地域及び支給率」とし、各級地と支給割合を表形式で表す。
給与・諸手当	3 - 105の3	(20) イ 計算式 末尾	支給率(3/100) → (削除)
給与・諸手当	3 - 105の3	(20)オ	手当を参照』 → 手当』参照 (カギカッコの位置修正)
給与・諸手当	3 - 106～109	表全体	線の太さを揃える
給与・諸手当	3 - 106	管理職手当 副校長	五種(旧12%) → (1字分 字下げ)
給与・諸手当	3 - 106	特殊勤務手当 教員特殊業務手当	2級又は_1級 → 2級又は1級 (コンマ削除)
給与・諸手当	3 - 107	表内 種類欄	期末勤勉手当 → 期末手当 勤勉手当
給与・諸手当	3 - 107	表内 期末手当の支給割合 表内 合計支給割合	6/30、12/10とも 1.275 → 1.2 0.725 → 0.675 2.225 → 2.15 1.175 → 1.125

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・諸手当	3 - 108	児童手当	所得限度額をこえる場合 → (削除)
給与・諸手当	3 - 109	通勤手当 ◎ 1文目	60km以上 _、 又は →60km以上又は (コンマ削除)
給与・諸手当	3 - 114 の2	ヘッダー	左寄せ → 右寄せ
給与・諸手当	3 - 115	(1)エ(ア)～(エ)	(ア)実質弁償的な性格のもの (イ)社会政策的配慮に基づくもの (ウ)その他 とし、それぞれに具体例を示す。
給与・諸手当	3 - 115	(1)オ(イ)	その月の給与の総額(課税される給与)から控除すべき社会保険料を差し引いた金額 → その月の給与の総額(課税される給与)から控除すべき社会保険料を差し引き、その金額と扶養親族等の人数を(ア)「給与所得の源泉徴収税額表(月額表)」に当てはめ、税額を算出する。
給与・諸手当	3 - 115	(1)イ 根拠 追加	所得税法 第6,183条
給与・諸手当	3 - 115	(1)オ(ウ) 1文目	甲覧 → 甲欄
給与・諸手当	3 - 115	(1)オ(ウ) 1文目	「賞与に対する源泉徴収税額の算出率の表」の甲覧により → (ア)「賞与に対する源泉徴収税額の算出率の表」の甲欄により
給与・諸手当	3 - 117	ウ フローチャート内	「基礎控除申告書 兼 配偶者控除等申告書 兼 所得金額調整控除申告書 → 末尾に カギカッコ閉じる(」) を追加
給与・諸手当	3 - 118	4 1文目	(1字分 字下げ)
給与・諸手当	3 - 118	4	インデント設定・ページ数増
給与・諸手当	3 - 118	4(3) 根拠	地方税法 第321条の3 → (追加)
旅費	3 - 120	(6)ア	時刻表参照のこと → 時刻表等を参照のこと
旅費	3 - 120	(6)ア(カ)※	割引引かれる → 割引かれる
旅費	3 - 120	(6)ア(キ) 名古屋往復割引きっぷ 2文目	乗り継ぎ利用ができ → 乗継ぎ
旅費	3 - 121	イ 根拠 差替	旅費条例 第6条3項 → 旅費条例 第16条
旅費	3 - 121	(6)エ 文末	1km未満切り捨て → 切捨て
旅費	3 - 123	ウ 1文目	みなし規定額を → みなし _、 規定額を
旅費	3 - 124	* 公用の施設一覧	金沢市キゴ山ふれあいの里 → 金沢市キゴ山ふれあい研修センター青少年交流棟 金沢市キゴ山少年自然の家 → 金沢市キゴ山ふれあい研修センターこども交流棟
旅費	3 - 124	* 公用の施設一覧	小松市立少年自然の家 → 里山自然学校大杉みどりの里
旅費	3 - 124	根拠 旅費条例	数字のフォント変更(ゴシック体→明朝体)
旅費	3 - 125	(12)※	旅費巻末表 → 下表

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
旅費	3 - 127	(13) 根拠	旅費条例 第7条 → 旅費条例 第7条 <u>2.3.4</u>
旅費	3 - 128	ウ 全文	(3字分 字上げ)
旅費	3 - 128	エ 全文	(3字分 字上げ)
旅費	3 - 129	表内 特急料金欄	※B特急は時刻表参照 → ※B特急は時刻表等参照
旅費	3 - 129	表内 車賃欄 2文目以下	(削除)
旅費	3 - 130 131 132	自家用車公務使用承認申請書兼 運航日誌・出張命令簿兼復命書・ 自家用車公務使用承認申出書 様式	(削除)
福利厚生	3 - 133	(1) 表内 福祉 内容	住宅_一般_教育等 → 住宅・一般・教育等
福利厚生	3 - 134	(4)[共済組合] 3段落目1文目の後	ただしこれらの掛金は、本人の申し出により、産前6週(多胎妊娠時は14週)から産後8週の間および育児休業期間中、免除される。 → (追加)
福利厚生	3 - 135	表内 行見出し	左寄り → 中央揃え
福利厚生	3 - 140	(13)ア(ア)	組合員の場合 → 組合員の場合(一部負担金払戻金) a 一部負担金払戻金 → (削除)
福利厚生	3 - 141	オ	互助会からの医療補助金 → 医療補助金(互助会)
福利厚生	3 - 142	(15) 表内 無給与休職者見舞金	場合 _a → 場合 (句点削除)
福利厚生	3 - 149	*	* → ※
福利厚生	3 - 157	(2)ア(ア)	納めた方 → 納めた者
福利厚生	3 - 158	イ(イ)	経過措置により61 歳から支給される年金。→経過措置により6 支給開始年齢が61歳から段階的に引き上げられる。
福利厚生	3 - 159	(4)ア	780,900円 → 777,800円
福利厚生	3 - 159	(4)ア	令和3年度水準 → 令和4年度水準
福利厚生	3 - 159	(4)②	1,628円 → 1,621円
福利厚生	3 - 159	(4)②	780,900円 → 777,800円
福利厚生	3 - 159	(4)③	子_又は → 子又は (コンマ削除)
福利厚生	3 - 161	(10)イ	次の公的年金制度 → 厚生年金や私学共済
福利厚生	3 - 161	(10)イ	(文末に説明追加)
校費・学校予算	4 - 1	1(2)イ	又は_地方公共団体 → 又は地方公共団体 (コンマ削除)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
校費・学校予算	4 - 3	(2)ウ 根拠	地方自治法 第216条 → (追加)
校費・学校予算	4 - 4	3(1)イ タイトル、1、2文目	(1字分 字上げ)
校費・学校予算	4 - 4	2(3)ウ	<u>一</u> 年度会計 → <u>1</u> 会計年度
校費・学校予算	4 - 4	3(1)ア	委任, → 委任し,
校費・学校予算	4 - 5	(2) 2文目	経費をとまなうものは → 経費を伴うものは
校費・学校予算	4 - 5	(3) 2段落目	保障 → 保証
校費・学校予算	4 - 6	(5) 根拠	地方自治法 第2条 <u>14</u> → (追加)
校費・学校予算	4 - 8	(8) 2段落目	務める → 努める
校費・学校予算	4 - 9	4(1)イ(イ)	学級又は学年、もしくは特定の集団 → 学級若しくは学年又は特定の集団
校費・学校予算	4 - 9	4(1)イ(ウ)	もの、又は → もの又は (コンマ削除)
校費・学校予算	4 - 12	(4) 3段落目	資金前渡職員口座預金 → 資金前渡職員口座
校費・学校予算	4 - 12	(4) 3段落目	決済型預金 → 決済用預金
学校の施設・設備	4 - 16	(3)ア(ア)a 根拠	学校施設国庫負担法施行令 → 施設費負担法施行令
学校の施設・設備	4 - 16	(3)	(文章修正)
学校の施設・設備	4 - 17～20	(ア)、(イ)	(項目及び内容を整理)
校費・学校予算	4 - 21	(c) 見出し	(変更) エコスクール・プラス
校費・学校予算	4 - 21	(c) 本文	(文章修正)
校費・学校予算	4 - 21	(c) ※	文科省・農水省・経済産業省及び国土交通省 → 文科省、農水省、 <u>国</u> 交省及び環境省
学校の施設・設備	4 - 21	b 災害復旧 根拠	災害復旧費負担法 第3条 → (追加)
学校の施設・設備	4 - 21	c	電源立地促進対策交付金 → 電源立地地域対策交付金
学校の施設・設備	4 - 21	e	(防衛省) → (防衛省所管)
学校の施設・設備	4 - 21	(5)	利用させ <u>る</u> ことが → 利用させ <u>たりする</u> ことが
学校の施設・設備	4 - 22	カ(イ)a	これらの → これらに
学校の施設・設備	4 - 23	(5)カb	・撤去) →)・撤去 (カッコの位置)
学校の施設・設備	4 - 23	(6)ウ 表内 備考	あるいは、消防団長 → (削除)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学校の施設・設備	4 - 23	(6)エ	(1字分 字下げ)
学校の施設・設備	4 - 24	(7)オ(ア))設備台帳 →) <u>設備</u> 台帳
学校の施設・設備	4 - 25	根拠 各 条番号(7か所)	数字のフォント変更(Century→明朝体)
学校の施設・設備	4 - 27	キ(イ)c(a)～(d)	フォントを修正
学校の施設・設備	4 - 28	(8)イ	まもるために → <u>守る</u> ために
学校の施設・設備	4 - 28	(9)ア(イ)	解任した → 解任をした
物品	4 - 33～ 38	ページ番号	前章のページ数変更のため、ページ番号を詰める
物品	4 - 33	1	取 <u>り</u> 扱い → 取扱い
物品	4 - 33	1(1)オ	ウ <u>動</u> 物 → 動物
物品	4 - 33	1(3)ア	民族 → 民俗
物品	4 - 33～ 34	1(1)～(4)	金沢市の例 → 例 金沢市 (4か所)
物品	4 - 35	図「作成」 中点1番目	伺 <u>い</u> 書 → 伺書
物品	4 - 35	図「作成」 中点1番目 文末	句点 → (追加)
物品	4 - 35	図「協議」	又は, → (削除)
物品	4 - 35	(2) 3文目	及び, → 並びに
物品	4 - 35	『備品管理の流れ』	納品された備品を → 納品された備品 <u>が</u>
物品	4 - 36	図 登録から保管・活用	保管・活用と矢印の重なりを解消
物品	4 - 37	点検・検査 3つ目の・ 廃棄処分 (廃棄に係る提出書類 例)以下	行間を調整
物品	4 - 37	図「点検・検査」	上寄せ → 中央揃え
物品	4 - 37	図「修繕欄」 1つ目の・と2つ目の・の間	空白解消
物品	4 - 37	図「廃棄処分」 中点2番目	計る → 図る
物品	4 - 37	図「廃棄処分」 (廃棄に係る提出 書類例)以下	行間を詰める
物品	4 - 38	(4)	決裁を <u>う</u> ける → 決裁を受ける
給与・共済互助会システム	5 - 1	1(5)	及び <u>、</u> → 及び (コンマ削除)
給与・共済互助会システム	5 - 2	ア(ア)	及び <u>、</u> → 及び (コンマ削除)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・共済互助会システム	5 - 3	(3)6	時間外手当 → 時間外勤務手当
給与・共済互助会システム	5 - 3	(3)7	個別・合計 → 合計・個別
給与・共済互助会システム	5 - 3	(3)12	期末・勤勉手当 → (削除)
給与・共済互助会システム	5 - 6	下の囲み	住所が → 住所を
給与・共済互助会システム	5 - 7	見出し	扶養親族手当 → 届
給与・共済互助会システム	5 - 7	2つ目の画面イメージ	「職員情報管理」を○囲み → 「認定情報管理」を○囲み
給与・共済互助会システム	5 - 11	本文全体	行間をほかのページに合わせる
給与・共済互助会システム	5 - 11	④	従事時間 → 従事時間、 宿泊有無等 → 宿泊有無
給与・共済互助会システム	5 - 16	下の四角囲み内 中点1番目	控除 → 除算
給与・共済互助会システム	5 - 17	下部 四角囲み内 中点1番目 文末	(教育事務所によって異なるので確認する。) → (追加)
給与・共済互助会システム	5 - 18	④⑤	「④更新をクリック」を⑤, 「⑤申出年月日, 更新内容を入力」を④とし、位置を調整
給与・共済互助会システム	5 - 19	⑤	(全文修正)パスワードを入力すると表示される。
給与・共済互助会システム	5 - 19	5つ目の画面イメージ	標準報酬制移行後の給与明細画面に変更
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点2番目 文末	出力する。 → し、北國銀行に提出して現金を受け取る。
給与・共済互助会システム	5 - 19	下部 四角囲み内 中点3番目	職員の現金受領印は、「現金支給受領書」を出力し、印を受けて保管する。 → 「現金支給受領書」を出力し、職員の現金受領印を
給与・共済互助会システム	5 - 21	③	扶養控除申告書又は保険料等控除申告書 → 該当の申告書
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部 四角囲み内 ※	(削除)
給与・共済互助会システム	5 - 21	下部 四角囲み内	朱書き → 二重線
給与・共済互助会システム	5 - 21	ページ全体	印刷する帳票として基礎控除 兼 配偶者控除等 兼 所得金額調整控除申告書を追加
給与・共済互助会システム	5 - 22	4つ目の画面イメージ	更新
給与・共済互助会システム	5 - 22	5つ目の画面イメージ	更新
給与・共済互助会システム	5 - 22	④コメント	配特控除→削除
給与・共済互助会システム	5 - 22	⑤コメント	扶養控除の修正→配偶者控除の修正
給与・共済互助会システム	5 - 22	下部 四角囲み内 中点2番目	・入力したら、各申告書を教育事務所へ提出する。 → ・提出された申告書どおりにデータ入力をする。
給与・共済互助会システム	5 - 23	1つ目の画面イメージ	更新

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
給与・共済互助会システム	5 - 23	3つ目の画面イメージ	更新
給与・共済互助会システム	5 - 23	5つ目の画面イメージ	標準報酬制移行後の給与明細画面に変更
給与・共済互助会システム	5 - 23	ヘッダー	左寄せ → 右寄せ
給与・共済互助会システム	5 - 24	下の四角囲み内	職員に配布 → 配付
給与・共済互助会システム	5 - 25	ヘッダー	左寄せ → 右寄せ
給与・共済互助会システム	5 - 25	見出し	履歴追加__・修正 → 履歴追加・修正（スペース削除）
給与・共済互助会システム	5 - 26	③の下	・ → （削除）
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	画面イメージ 2～5つ目	（図を変更）
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	図 矢印、丸囲み	黒色 → 赤色
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	③	（「適用年月日は」から「採用年月日」を削除）
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	⑥	（「適用年月日は、」から「認定年月日」を削除）
給与・共済互助会システム	5 - 28の2	ページ番号	-28 → -_28
給与・共済互助会システム	5 - 29	表内 4月	住居手当データ入力（新採該当者） → 住居手当データ入力（新採者）
給与・共済互助会システム	5 - 30	表内 4月	行幅を縮小
給与・共済互助会システム	5 - 34	(2)〇ア 互助会欄	◆傷病見舞金請求書 の下に ◆無給与休職者見舞金請求書 → （追加）
給与・共済互助会システム	5 - 35	エ 中点1番目	◆一部負担金払戻金・家族療養費附加金等請求書 → （削除）
学校事務用語の解説	5 - 37	会計年度任用職員	読点をコンマに変更(8か所)
学校事務用語の解説	5 - 38	確定申告	（前の項目との間を1行空ける）
学校事務用語の解説	5 - 38	確定申告	医療費 <u>や</u> → 医療費 <u>、</u>
学校事務用語の解説	5 - 38	寡婦・寡夫	死別した人、又は → 死別した人若しくは 婚姻をしていない人、あるいは → 婚姻をしていない人又は
学校事務用語の解説	5 - 39	期間	・ → 、（3か所）
学校事務用語の解説	5 - 39	（追加）	義務教育 → （追加）
学校事務用語の解説	5 - 39	キャリア教育	（文章修正）
学校事務用語の解説	5 - 39	休憩時間	越える → 超える(2か所)
関連用語の解説	5 - 40	給特法 2段落目	昭和_46_年 → 昭和46年（スペース削除）

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
学校事務用語の解説	5 - 41	(追加)	教員免許更新制度 → (追加)
学校事務用語の解説	5 - 41	「契印」と「割印」	できている場合、あるいは、数個の → できている場合や数個の
学校事務用語の解説	5 - 41	「契印」と「割印」	、又は、 → (コンマ削除)
学校事務用語の解説	5 - 41	兼職 2段落目	役員、 → 役員を兼ね、
学校事務用語の解説	5 - 41	後期高齢者医療制度	見出し (通称 長寿医療制度) → (削除) 3段落目 (従来の老人医療と同じ) → (削除)
学校事務用語の解説	5 - 41	後期高齢者医療制度 3段落目	現役並み所得者は3割の後ろ → 一定以上所得のある方は2割 (追加)
学校事務用語の解説	5 - 42	個人情報保護法	取り扱い → 取扱い
学校事務用語の解説	5 - 42	(追加)	子ども基本法 → (追加)
学校事務用語の解説	5 - 43	三位一体の改革	(削除)
学校事務用語の解説	5 - 43～44	「少年」と「児童」と「年少者」	ただ「未成年者」は～ → (削除)
学校事務用語の解説	5 - 44	条例 2	科する → 科したりする
学校事務用語の解説	5 - 46	地方公務員災害補償法	保障 → 補償(5か所)
学校事務用語の解説	5 - 48	(追加)	働き方改革推進関連法 → (追加)
学校事務用語の解説	5 - 48	標準報酬	読点をコンマに変更(7か所)
学校事務用語の解説	5 - 48～49	服務	丸囲み数字のフォントを修正(6か所)
学校事務用語の解説	5 - 49	「法定控除金」と「法定外控除金」	教互預金、 → (削除)
関連用語の解説	5 - 49	マイナンバー制度	国民に12桁の番号 → 12 (全角 → 半角)
学校事務用語の解説	5 - 49	マイナンバー制度	読点をコンマに変更(4か所)
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 51	頁欄	ページ番号を入れる
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 52～60	根拠法規等	(根拠法令等の数字をすべて半角に)
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 53	教科書・補助教材関係	根拠法令の位置調整
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 54	大分類-研究 表内 職員研修	(中分類のフォントサイズを縮小)
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 54	大分類-研究 表内 職員研修欄	指定(要請)訪問の一方を削除
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 59	根拠法規等 保健調査票	行幅を拡大
文書の分類及び保存年数一覧表	5 - 61	大分類-福利厚生 表内 共済組合欄	一部負担金払戻金請求書 → (削除)

Ver. 4.3 修正箇所一覧

項目	ページ	訂正箇所	変更内容
指導要録・質疑応答	5 - 70	2つめの【答】	行間を狭める
指導要録・質疑応答	5 - 70～73	各 問 文末	? → 。 問番号 → (削除) 問カッコ → (追加)
教科書事務・質疑応答	5 - 73	問5 答	(半角1字分 字下げ)
教科書事務・質疑応答	5 - 73	問6 答	(半角1字分 字上げ)
事務職員研修体系(通知)	5 - 74	第1 1文目	21 → 21 (全角 → 半角)
事務職員研修体系(通知)	5 - 74	第2ア	4月, 10月, 3月 → 4月, 10月, 3月 (半角 → 全角)
事務職員研修体系(通知)	5 - 74	第2イ	4月 → 4月 (半角 → 全角)
事務職員研修体系(通知)	5 - 75	(3)(4) 年齢4か所	全角 → 半角